

◆コード01◆ その時歴史が動いた など 特別番組

コード	題名	内容	時間(分)
01 06 01	その時 歴史が動いた 母の灯火 小さきものを照らして 石井筆子・知的障害児教育の道	明治から昭和にかけて日本初の障害児教育の施設、「滝乃川学園」を築き、偏見や学園火災など幾多の困難を乗り越えその運営に心を砕いた教育者・石井筆子の不屈の闘いを描く。(2006年12月20日放送)	42
01 07 01	プロフェッショナル 仕事の流儀 イヌは人生のパートナー 盲導犬訓練士 多和田悟 ※	「犬語を話す」と言われ、どんな犬でも素直に従うという日本屈指の盲導犬訓練士・多和田悟さん(54)。映画やドラマとなった盲導犬・クイールをはじめ、これまで200頭以上の盲導犬を育ててきた。盲導犬訓練士の指導も行う多和田さんの仕事ぶりに迫る。(2007年4月17日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	44
01 07 02	ドキュメント につぼんの現場 ことば あふれ出る教室 ※	小学4年生から6年生まで、6人の全盲児童が学ぶ「横浜市立盲学校」では、全国の盲学校に先駆けて、授業に漢字を取り入れた。日ごとに表現力が豊かになり、コミュニケーションの楽しさに夢中になる子どもたち。言葉に出会い、世界を広げていく子どもたちの姿を追ったドキュメント。(2007年5月10日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
01 07 03	新日曜美術館 誕生！ねむの木こども美術館 ※	障害のある子どもたちの絵を飾るため、女優の宮城まり子さん(80)が設立した「ねむの木こども美術館」。宮城さんは肢体不自由児療護施設「ねむの木学園」で、40年間に渡りユニークな美術教育を行ってきた。絵を通じて心を通わせてきた宮城さんと子ども達が、美術館を誕生させるまでの道のりをたどる。(2007年6月3日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	45
01 07 04	BSフォーラム 認知症をあきらめない 最新医療と社会の支え ※	認知症は、記憶が失われる脳の病気だが、人格や気持ちといった「心」は残る。医療、介護の専門家を招き開催された「認知症フォーラム」の様相を紹介し、最新医療と介護の両側面から、認知症とどう向き合っていくか考える。(NHK厚生文化事業団主催フォーラム) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	54
01 07 05	ふるさと発 “わが家”での暮らしを支えたい ～がん患者とおばちゃんたちの日々～ ※	「“がん”を患っても、自宅で過ごしたい」。そんな思いを抱く患者を地域で支えようという取り組みが広島県竹原市で始まっている。2007年に立ち上げられた、がん患者のためのサロン「つむぎの路」。ボランティアの活動とがん患者の交流を通して、がん患者が地域で過ごすには何が必要かを考える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	25
01 07 07	プロフェッショナル 仕事の流儀 見えない心に、よりそって ～自閉症支援・服巻智子～	自閉症支援のエキスパート・服巻智子さんのもとには「自閉症」の子どもやその家族が全国から相談に訪れる。自分の感情を伝えたり、他人の気持ちを理解することが苦手な“自閉症”の子どもにコミュニケーションの方法を、一つ一つ教えている。“自閉症”の人々と向き合う服巻さんの“現場”に密着する。(2007年10月30日放送)	44
01 07 08	プロフェッショナル 仕事の流儀 魂の職人 希望の道具 ～義肢装具士 佐喜眞保～ ※	沖縄県で義足や義手などを作る装具職人、佐喜眞保さん。従来のものより格段に軽く、動きやすい装具を開発し、「文部科学大臣賞」「ものづくり日本大賞」を立て続けに受賞した。希望を与えるための道具作りに挑み続ける佐喜眞さんの仕事の流儀に迫る。(2007年11月13日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	44
01 08 01	土よう親じかん クラスメートは「発達障害」	LDやADHDなどのいわゆる「発達障害」の子どもたちを、通常の学級を含めたすべての学校で支援することになった。しかし、番組の掲示板には、親たちから「先生の理解がなく無関心」「相談しても何もできないといわれた」などの声が寄せられる。発達障害のある子を持つ親の学校への不安、クラスメートとなる子を持つ親の疑問に答えながら、一緒に育っていくために、どんな知恵を出し合っていけばいいのか、を話し合う。(2008年2月14日放送)	29

◆コード01◆ その時歴史が動いた など 特別番組

コード	題名	内容	時間(分)
01 09 01	ヒューマンドキュメンタリー 大きな いちよしの 木の下で ～いちよ団地に生きる子どもたち～	横浜市立いちよ小学校では、半数以上の児童が外国にルーツをもつ。近くに難民定住促進センターがあったため、ベトナム、カンボジア、ラオスなどの家族の子どもが多い。しかし、日本で生まれ育った子どもたちは、なぜ日本にいるのかをよく知らない。6年1組では「ルーツ」と「平和」について考える授業がはじまる。アジア各地で、時代にほんろうされながら生き抜いてきた親と、未来を信じて力強く生きる子どもを見つめる。(2009年7月15日放送)	43
01 09 02	ヒューマンドキュメンタリー 最期の家で 「ホームホスピス 入居者と家族の 日々」	宮崎市にあるホームホスピス「かあさんの家」は、病院に受け入れてもらえなかったり、自宅で最期を迎えるのが難しいお年寄りたちが暮らす、共同の終(つい)の住みかだ。入居者とその家族はさまざまな思いを抱える。充実した最期の過ごし方とは何か?お年寄りと家族の日々を見つめる。(2009年7月16日放送)	43
01 09 03	ヒューマンドキュメンタリー ふたりの14歳 ～ポッチャ 自立への階段～	重度の障害のある子供を抱え苦悩の日々を送っていたとき、ある競技に出会ったことで、希望を見いだした2組の親子がいる。松永楓さんは脳性まひ、高阪大喜くんは筋ジストロフィーという難病を抱え、日常生活のほとんどすべてに親の介護が必要だ。ポッチャを通して成長する親子の日々を追う。(2009年11月5日放送)	43
01 09 04	土曜ドラマ チャレンジド(1) 「熱血教師、再び!」	<あらすじ> 塙啓一郎(佐々木蔵之介)は熱血中学教師だったが、難病で失明したが、必死のリハビリで再び壇上に立とうとする。妻の幸江(富田靖子)の恩師・花村(西郷輝彦)の中学校に採用が決まる。(2009年10月10日放送)	53
01 09 05	土曜ドラマ チャレンジド(2) 「パートナー」	<あらすじ> 啓一郎(佐々木蔵之介)は、副担任の京子(村川絵梨)に手伝ってもらって授業をしようとするが、啓一郎に担任を奪われた京子に反発され、独力で授業を進めることに。啓一郎からテストの採点を頼まれた京子は、答案を紛失。夜の川で必死に答案を探す啓一郎の姿に心を打たれた京子は、啓一郎に協力し始める。(2009年10月17日放送)	53
01 09 06	土曜ドラマ チャレンジド(3) 「14歳のメロス」	<あらすじ> 生徒の父母が啓一郎(佐々木蔵之介)の授業に不安を感じているので、啓一郎は授業参観を行う。ある程度父母の理解を得られるようになるが、秀彦(竹内寿)の母親は秀彦を私立の中学に転校させると言う。啓一郎は秀彦と一緒に走り、秀彦が父親の家庭内暴力に悩んでいると知る。秀彦と母親を守る為、啓一郎は2人を自宅に泊める。2人は父親と話し合い、父親は家庭内暴力を克服する為、心療内科に通うことになる。(2009年10月24日放送)	53
01 09 07	土曜ドラマ チャレンジド(4) 「悲鳴が聞こえない」	<あらすじ> 修学旅行に同行することが許されない啓一郎(佐々木蔵之介)は、有給休暇を取って強引に旅行へ合流する。旅行中、生徒の友坂真鈴(藤本七海)がいじめを受けて山中で行方不明になる。身投げしようとしていた真鈴を見つけ、無事に連れ戻すことができた。啓一郎は真鈴をいじめていた月本麗(夏未エレナ)と話をしようとするが、麗は拒絶する。(2009年10月31日放送)	53
01 09 08	土曜ドラマ チャレンジド(5) 「さよなら、先生」<終>	<あらすじ> 真鈴(藤本七海)を遭難させた啓一郎(佐々木蔵之介)は教師として適格かどうか、教育委員会が審議を始める。一方、真鈴をいじめていた麗(夏未エレナ)が学校を休む。啓一郎はフルマラソンに挑戦し、完走できたらクラスに戻るという賭けを麗とする。クラス全員に迎えられるゴールする啓一郎。そして、教育委員会から届いた結果は…。(2009年11月7日放送)	52
01 10 01	こころの遺伝子 病だけではなく まるごとの人間を診る 鎌田實	東京生まれの鎌田實さんが長野の諏訪中央病院で医師人生をスタートさせたのは、医師不足と聞いたからだ。当時、大幅な赤字を抱えていた病院は、新しい医療機器の購入もままならず、患者離れが進んでいた。地元の小林一江さんとの出会いを転機に、地元へ溶け込んでいくことができた。36年前の一江さんとの出会いをきっかけに、鎌田さんは、人がつながりながら生きていくことの大切さ、そして、そこに寄りそう地域医療のあり方を深く考えるようになった。(2010年5月24日放送)	48

◆コード01◆ その時歴史が動いた など 特別番組

コード	題名	内容	時間(分)
01 10 02	オーケストラ 生まれる ～コバケンとその仲間たちスペシャル ～	“炎のコバケン”こと指揮者・小林研一郎さんが、新たな挑戦を行った。障害のある人となない人がともにオーケストラの一員となって演じるというコンサート。コバケンの思いに賛同したプロアマの演奏家と、およそ30人の障害のある人たち。総勢150人が、2010年3月に、東京・NHKホールで開かれたコンサートに向けて猛練習を積んだ。オーケストラの結成から演奏会までを、音楽家たちの心の交流を交えて追う音楽ドキュメント。 (NHK厚生文化事業団創立50周年記念コンサート)	89
01 10 03	炎のコバケン ころこコンサート	「障害のある人もない人も、一緒に音楽を奏で、一緒に音楽を聞いて心をつなぎあいたい」「炎のコバケン」として知られる指揮者の小林研一郎の思いに、仲間たちが応え、障害のある演奏家も加わったオーケストラが結成された。また、視覚障害者のプロの演奏家、バイオリニストとして国際的な活動を続ける川島成道と、昨年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝した辻井伸行の2人がゲストソリストとして華を添える。 (NHK厚生文化事業団創立50周年記念コンサート・NHKホールでの全曲収録)	82
01 10 04	ヒューマンドキュメンタリー 私の“家族”	小学生と中学生の3人の子どもを育てるある一家。家族の間に血のつながりはない。子どもに恵まれなかった夫婦は15年前、NPOを通して生後数ヶ月の赤ちゃんと特別養子縁組を行い、さらに2人を迎え育ててきた。子どもたちには産みの親が別にいることは隠さず伝えてきたが、最近12歳の長女が「産みの母に会いたい」と言い始めた。親子とは、家族のきずなとは何なのか？子どもが成長の節目を迎えた家族の姿を通して見つめる。(2010年5月7日放送)	43
01 10 05	地球ドキュメント ミッション 車いす革命で人生を変える	日本の車いす利用者の多くは、その多くの人たちが自分の体に合っていない既製品を使っている。そんな人々を、ひとりひとりの体に最適に調整した車いすを使って良い姿勢で座らせる「シーティング」と呼ばれる技術で救い、生きる希望を取り戻してもらおうというのが今回のミッション。チャレンジャーは自らも車いすを利用する山崎泰広さん。既製品でない車椅子は非常に高価で、なかなか利用者が広がらない。その根底にある車いす利用者自身のあきらめの気持ちを払拭し、快適な日々をより多くの人たちに届けることができるのだろうか？(2010年6月6日放送)	45
01 10 06	ドラマスペシャル 心の糸(全編字幕版) ●字幕付	<あらすじ> 耳の聞こえない人生のために、息子の人生に大きな期待を寄せる母。母の人生を理解しつつもその束縛から逃れ、自分の道を進みたいと思う息子。強い絆のために、ぶつかり合う親子。激しい対立の末に訪れる自立の瞬間__耳の聞こえない母・玲子と、その息子・明人の純粋で激しくも深い親子の絆と愛情を描く。(2010年11月27日放送)	73
01 10 07	ヒューマンドキュメンタリー 風の画家“いのちを描く”	2010年5月放送「クローズアップ現代」で、反響を呼んだ“風の画家”中島潔(67)。約1200年の歴史を持つ京都・清水寺で、日本画家なら誰もが“一生に一度は手がけたい”と願う、ふすま絵46面を描き上げる過程に密着した。しかし放送後、中島を病魔が襲う。闘病後、再び筆をとり、新たな作品に挑んだ。全身全霊で、“いのち”のすさまじさ、輝きを切り取ろうとする画家の世界を見つめる。(2010年5月31日放送)	48
01 11 01	特集ドラマ 風をあつめて	<あらすじ> 熊本に暮らす浦上家。老人ホームに勤務する誠(安田顕)と攝(中越典子)に生まれた待望の第一子に、医師から福山型筋ジストロフィーであるとの診断が下される。誠と攝は衝撃を受け、二人のコミュニケーションにぎこちなさが生まれはじめる。父母それぞれの遺伝子の特性ゆえ二人目の子供ができたとしても同じ病になる可能性は高い。しかし、誠は健康な子どもを持つことへの希望を捨てきれない。二人の選択は…。 【第32回NHK障害福祉賞 最優秀作品のドラマ化】(2011年2月11日放送)	59
01 11 02	追跡! AtoZ 広がる“新しい心の病”～混乱する 精神科医療～	睡眠薬や抗うつ薬など医師から処方される向精神薬を大量服薬して搬送される患者が急増している。その背景には症状が改善しないため、薬の量を増やさざるを得ない「大量処方」の実態がある。また、従来のうつ病の枠組みに収まらない、新しいタイプの“心の病”が増加している。北里大学の救命救急センターを舞台に、広がりを見せる「現代型うつ」の知られざる実態、その対応に苦悩する医療現場を徹底追跡する。(2011年3月5日放送)	29
01 11 03	プロフェッショナル 仕事の流儀 涙も笑いも、力になる 院内学級教師・副島賢和 ●字幕付	病気が怪我で入院中の子どものために、病院で授業を行う「院内学級」のエキスパート教師・副島賢和。子どもの心を励ます独特の手腕で注目される。病気で入院する子供の多くが、家族に迷惑をかけたと考え、自分を責めてしまう。そんな子供たちに、道化師のようなテクニックと、心理学の手法を駆使し、笑顔を呼び起こす。副島の熱い現場に密着する。(2011年1月24日放送)	48

◆コード01◆ その時歴史が動いた など 特別番組

コード	題名	内容	時間(分)
01 11 04	ヒューマンドキュメンタリー 登山1万回の約束 ～認知症を抱える夫婦の記憶～	大阪の金剛山に毎日登り続ける老夫婦がいる。妻は重い認知症だが、山に登ることで体力を維持し、病の進行を食い止めようとしている。目指しているのは、2人合わせての登山1万回。しかし病状は日々悪化し、途中で引き返さなければならぬことも増えてきた。かつて夫婦が交わした、登山1万回の約束を果すことはできるのか。2人の山登りを1年半にわたって見つめる。(2011年8月25日放送)	48
01 11 05	スペシャルオリンピックスを撮る ビリーブクルー、ギリシャに行く	知的障害のある人たちのスポーツの祭典、スペシャルオリンピックス世界大会。夏の大会が6月、ギリシャのアテネで世界185の国と地域から7000人の選手が参加して開催された。日本からは52人の選手が、水泳、テニス、体操、バレーボールなど9つの競技に挑んだ。選手たちと同じ知的障害がある9人が撮影、録音、インタビューなどを行う。「当事者の目線」からどう大会を記録するのか？撮影やインタビューに奮戦する姿を、日本人選手の活躍とともに伝える。(2011年8月21日放送)	40
01 11 06	響け！笑顔のスウィング ～気仙沼 小中学生ジャズバンド～	長引く避難所生活、先行きの見えない不安、家族にまん延する重苦しい空気。そんな中、ジャズスウィングで人々に勇気を与えている小中学生がいる。宮城県気仙沼市の小中学生ジャズバンド「スウィング・ドルフィンズ」だ。楽器を津波で流され、避難所や仮設住宅で練習もままならない中、街の復興を信じて練習を重ねる彼女たちのひと夏を追う。(2011年10月11日放送)	26
01 11 07	ドラマ やさしい花	平成23年度文化庁芸術祭参加作品。つい我が子に手を上げて虐待してしまう若い母親(谷村美月)と、その親子を理解し、何とか手を差し伸べようと格闘する、ひとりの女性(石野真子)の物語。(2011年10月10日放送)	43
01 12 01	土曜ドラマスペシャル あつこと僕らが生きた夏(前編)	2007年夏の甲子園の実話を元にドラマ化。大分県代表校が初出場ながら全国ベスト8という快挙を成し遂げた。その背景には高2のときに「上咽頭がん」と診断された女子マネージャー「あっこ」の存在が大きかった。あっこは、甲子園を目指して練習する部員たちの姿に、自分も治療を頑張っ、よくなって帰ってくることを誓う。また野球部もあつこを甲子園へ連れて行くことを約束するのだった。(2012年4月14日放送)	73
01 12 02	土曜ドラマスペシャル あつこと僕らが生きた夏(後編)	治療が一区切りつき、あつことの再会を喜ぶ野球部員たち。修学旅行に参加するなど、つかの間の学生生活をお謳歌するが、間もなくがんの転移が発覚する。治療を続けること次の夏も病院で暮らすことになると知らされ、「死」を現実のものとして見つめなおしたあっこはある決断をする。一方、再び甲子園を目指す野球部だが、エース・良幸は肩にかすかな異変を感じていた。そして大会初日を迎える。(2012年4月21日放送)	73
01 12 03	プロフェッショナル 仕事の流儀 闘う介護 覚悟の現場 介護福祉士・和田行男 ●字幕付	認知症介護のエキスパートとして注目されている和田行男(56)。認知症であっても“普通に生きいきと暮らす姿”を支えることを目指してきた。新たに立ち上げた名古屋の施設では、施設の入居者であっても、料理や買い物、洗濯など自ら出来ることは進んで行い、介護者にはできない事だけを支えている。お年寄りが生きいきとした姿を見せ始めたある時、起きてはならない事態が発生する。介護最前線で生かされる和田の介護哲学に迫る。(2012年6月25日放送)	48
01 12 04	アスリートの魂 私はもっとはやくなる ～車いすマラソン 土田和歌子～ ●字幕付	パラリンピック車いすマラソン日本代表、土田和歌子選手。17歳で足の自由を失った後、幾多の苦難においても常に前を向いて走り続けてきた。夏と冬のパラリンピック両方で金メダルを獲得。まだ手にしていないのが、車いすマラソンでの金メダルだ。レース中の事故で大けがを負った北京大会から4年。37歳の肉体は衰えを隠せないが、「最後のチャンス」と臨むロンドンに向けた激闘の日々に密着した。(2012年9月3日放送)	43
01 12 05	子どもを守れ！ 虐待、どう減らしますか ～アメリカから探る虐待対策～	増え続ける児童虐待。今、児童相談所が年間6万件の虐待相談によって、追いつめられている。虐待をどう減らせばいいのか？日本よりも30年先を行くといわれるアメリカでは、再虐待を防ぐための最先端の治療や地域をあげての予防活動で虐待を減らしている。アメリカから日本のとるべき道を探る。(2012年11月22日放送)	48

◆コード01◆ その時歴史が動いた など 特別番組

コード	題名	内容	時間(分)
01 12 06	パパとママがほしい ～大阪・乳児院の1年～	虐待や育児放棄で親と一緒に暮らせない子どもたちが育つ、大阪のある乳児院。育児を放棄する親が増えたため、乳児院は満杯の状態が続いている。養子縁組で新しい親を求めるが、養子を望む夫婦は多いのに条件のミスマッチで、なかなか親は見つからない。番組では乳児院に1年間密着、その生活や施設の職員の奮闘を追った。(2012年12月16日放送)	48
01 13 01	プロフェッショナル 仕事の流儀 希望のリハビリ、ともに闘い抜く リハビリ医・酒向正春 ●字幕付	全国で280万人にのぼる脳卒中患者。多くが手足のまひなどの後遺症に苦しんでいる。そのリハビリの分野で闘う一人が、元脳神経外科医の酒向正春だ。脳画像診断のエキスパートとして働いていたが、その経験をリハビリ患者に役立てたいと、43歳で転身。損傷した脳に残された可能性を洗い出し、患者を励ましながらリハビリを指導する。人生の再出発を目指す患者と、その家族に寄り添う日々を長期密着した。(2013年5月13日放送)	48
01 13 02	アスリートの魂 最強であるために 車いすテニス 国枝慎吾	車いすテニスでの史上初のグランドスラムに加え、パラリンピックも連覇、世界ランク1位に君臨する国枝慎吾選手(29)。若手が成長する中、さらに進化するため一人で考え一人で答えを出す闘いを始めた。攻撃的なテニスへと進化し、USオープン優勝とパラリンピック3連覇を目指す。最強になるため挑み続ける世界王者の姿に迫る。(2013年10月3日放送)	44
01 13 03	アスリートの魂 限界は考えない トライアスロン 古畑俊男	21歳の時に右足ひざ下を切断しながらも、自分の限界に挑みたいと、最も過酷なアイアンマンレースにあえて一般ランナーとして出場し続けてきた“義足の鉄人”古畑俊男選手(51)。東京都職員として働きながら練習に励み、競技人生の集大成として2016年リオ・パラリンピックのパラトライアスロン出場を目指している。リオ挑戦への第一歩、今年9月のロンドン世界選手権での闘いを通して古畑選手の魂を見つける。(2013年11月7日放送)	44
01 15 01	アスリートの魂 生きる証のバックスピン 片腕のゴルファー 小山田雅人	小山田選手は2歳の時に右腕を切断。さらに38歳の時に脳腫瘍を患い、今も命の危機を感じ続けている。それでも左手一本での飛距離はプロ顔負けの270ヤードを誇る。4歳の娘に「健常者のプレーヤーに負けなかったという姿を記憶に焼き付けておいてほしい」と、厳しい練習に取り組んでいる。健常者に勝つためカギとなるのが「バックスピン」。片手では不可能と言われる技を身につけることはできるのか。命をかけて戦う姿に迫る。(2015年8月27日放送)	44

◆コード02◆ NHKスペシャル・にんげんドキュメント・ETV特集・きょうの健康など

コード	題名	内容	時間(分)
02 95 02	NHKプライム11 ようこそ私の世界へ “自閉症”ドナ・ウィリアムズ	自閉症の女性ドナ・ウィリアムズは自らの少女時代を描いた物語(邦題「自閉症だったわたしへ」)を記した。自閉症の人自身が描いた世界初の自伝として話題になり、世界12ヶ国でベストセラーとなった。彼女の3つの著作に描かれた心の軌跡と現在の彼女の生活を取材した。(1995年8月26日放送)	45
02 98 01	ETV特集 ボクのスケジュールがほしい ～自閉症・ヒロ君の世界～	自閉症の若者とその家族が駆け込み寺のようにやってくる施設が福岡県大野城市の「すばる園」である。ドキュメンタリー映画を撮っている西山正啓監督の映像を通して行動障害の現実や施設、家族のあり方を問いかける。	45
02 99 18	列島スペシャル お仕事がんばります ～自閉症からの自立～	川崎市の老人ホームで働く明石徹之さん(26)は6年前、市の公務員試験に合格した。自閉症で知的障害のある明石さんが、社会の中で公務員として自立していく姿を、母親の育児記録や周囲の人々との交流を通じて描く。	50
02 00 05	NHKスペシャル 嫁はん大事やもん ～介護を始めた男たち～ ※	高槻市長の江村利雄さん(75)は寝たきりの妻を介護するために市長を辞職した。慣れない食事作り、一日5回のおむつ換えなど、介護に奮闘する江村さんを中心に、不安や悩みを抱えながら妻を介護する男達を取材。(2000年4月9日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	50
02 00 14	にんげんドキュメント さよならレザン ～盲導犬とテノール歌手～ ※	全盲のテノール歌手・天野亨さん(36)は5年前に盲導犬のレザンと出会った後、片時も離れずに暮らしてきた。そのレザンが引退する。天野さんとレザンとの最後の2週間を追い、人と動物の間に築かれた深い信頼関係を見つめる。(2000年9月14日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	45
02 00 15	きょうの健康 注目されるアスペルガー症候群 ※	「アスペルガー症候群」は他人とのコミュニケーションがうまくできず、その結果として社会生活上の問題が起こりやすいというものです。最近、テレビや新聞などでも取り上げられ注目されるようになったこの症候群を解説。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	15
02 00 16	教育トゥデイ 増え続ける児童虐待 ～子どもを守るネットワーク作り～	閉ざされた空間で子育てに自信を持てず虐待に走ってしまう親を救うため、様々な機関の連携が緊急課題である。弁護士などが中心になって結成された「子どもの虐待防止ネットワーク・あいち」の取り組みから効果的な虐待防止策を考える。	29
02 01 03	ETV2001 シリーズ「老いをどう生きるか」 第2回 中坊公平・赤松良子 ※	「老年期」は人生の仕上げであると同時に、不安の時期でもある。第2回は、老いや死が怖いと素直に吐露する弁護士の中坊公平さんと、一時は人生の冬を感じたという元文部大臣の赤松良子さん。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	45
02 01 12	にんげんドキュメント 俺たちヘルパー4人組 ※	4人の男性ヘルパーが、介護サービス会社を東京の下町に発足させた。男のヘルパーゆえの難しさなどに悩みながら、お年寄りの笑顔を見たいと介護の仕事に夢をかける、4人の若者とお歳よりのふれあいを描く。(2001年5月3日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	43

◆コード02◆ NHKスペシャル・にんげんドキュメント・ETV特集・きょうの健康など

コード	題名	内容	時間(分)
02 02 01	ETV2002 永六輔一家の選択 ～家で迎える幸せな最期～ ※	永六輔さんの妻・昌子さんは最後の50日間は在宅ホスピスに挑み、胃がんで亡くなった。かねてから在宅医療の大切さを訴えてきた永さんは、実際に妻を自宅で看取って何を感じたのか。永さんと二人の娘さんに聞く。(2002年12月11日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	45
02 02 02	ETV2002 命をみつめて ～在宅ホスピス医・内藤いづみ～	内藤医師は、30歳の時にホスピスの本場イギリスで研修。母の病気や父親の死に立ち会う中で、在宅ホスピスをめざすようになった。診療所を開いて7年間多くの患者たちの生と死を見つめる中で学んだことを語る。(2002年10月7日放送)	45
02 02 06	NHKスペシャル 車いすから立ち上がれ ～脳卒中のリハビリ革命～	車いすを介護の過程で使わずに、患者本人の力で歩いてもらう試みが行われている。自立に向かう患者の変化や医師・看護師のかっとうを見つめながら、将来の介護のあり方について考える。(2002年2月23日放送)	50
02 02 08	にんげんドキュメント 笑顔の“大家族” ～富山・デイケアハウスの日々～	民間介護施設「このゆびとーまれ」。預けられている人たちが一方的に介護を受けるだけでなく、自分も子どもの世話等をする。必要とされる喜び、誇り、お年寄り子どもの笑顔があふれるデイケアハウスの日々を見つめる。(2002年5月9日放送)	45
02 02 12	ナビゲーション 自分の力で暮らしたい ～問われる障害者支援制度～ ※	マンションに身障者が最大1週間1人で暮らすという体験施設が始まった。この体験を乗り越えて障害者は1人暮らしのノウハウや自信を身につけ、自立への一歩を踏み出していく。始まった障害者自立支援の課題を探る。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	25
02 03 01	NHKスペシャル 子ども・輝けいのち 15歳・拓(ひらく) の旅立ち ～長野・義足のエースと仲間たち～ ※	投、打、走、どれも義足は大きなハンディキャップだが仲間に励まされエースピッチャーにまで登りつめた。野球を通して仲間と助け合うことを学び、更に今後はスキーで大きな夢に向けて挑戦する拓君を追う。(2003年3月9日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	50
02 03 02	NHKスペシャル 65歳からの食卓 食事調査で見る長寿の秘けつ ※	高齢者対象の食事調査では、半数以上が栄養バランスを崩し、日々の食事がおろそかになっている実態が浮かび上がった。65歳を過ぎても食事改善はまだ間に合う。食事調査をもとに問いかけていく。 (2003年6月14日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	50
02 05 01	にんげんドキュメント がんばりよ健太 高知6人兄弟の物語 ※	小松家は今どき珍しい6人兄弟。互いに支え合って成長してきた。脳性まひで車いすの健太くんは、自ら養護学校の寄宿舎に入ることを決断。悩みとまどいながら成長する少年と後押しする兄弟たちの姿を伝える。(2005年5月27日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	43
02 06 04	にんげんドキュメント 山里ふれあい診療所 ※	医師の十枝紀巳代さん(64)は、主婦から一念発起、42歳で医師になった。患者の平均年齢が80歳を超える徳島県の山里で一人奔走する。モットーは“最期まで楽しく、その人らしく”。十枝さんと診療所に集うお年寄りたちの1年を見つめる。(2006年3月12日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	43

◆コード02◆ NHKスペシャル・にんげんドキュメント・ETV特集・きょうの健康など

コード	題名	内容	時間(分)
02 06 05	にんげんドキュメント いのちの言葉 ありがとう 北海道 少女の遺した詩 ※	2003年北海道、豊島加純さん(当時11歳)が脳しゅようで亡くなった。死が迫る中、少女は詩を書きながら「生きる喜び」を実感し、「ひたむきに努力するすばらしさ」を発見していった。死を前にやさしさを加えていく少女の心の世界に迫る。(2006年7月7日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	45
02 06 08	ナビゲーション 車が見えない 高齢歩行者の事故は防げるか ※	交通死者数が年々減少している一方、高齢者の全事故に占める割合は40%を越えた。2005年、事故に遭った高齢歩行者に初めてアンケートを実施した結果、74%が道路を横断するときに“車を見ていない”と“車が見えていなかった”という事実が浮かび上がった。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	25
02 06 10	きょうの健康 認知症 予防・治療の最前線 もの忘れ? アルツハイマー病? ※	認知症の原因として最も多いアルツハイマー病は、出来事自体を忘れてしまう「もの忘れ」から始まり、日常生活に支障がでるのが特徴。その診断・治療・予防などを紹介する。(2007年3月5日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	15
02 06 11	きょうの健康 認知症 予防・治療の最前線 増えているレビー小体型認知症 ※	記憶、見当識・判断の障害の他、幻視、抑うつ、被害・しつと妄想などの精神症状、浅い眠りのときに暴れるなどの異常行動を伴うレビー小体型認知症。また筋肉のこわばりなどパーキンソン症状や自律神経症状がでるのが特徴。治療、家族の心得などを紹介する。(2007年3月6日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)(2007年3月6日放送)	15
02 06 12	きょうの健康 認知症 予防・治療の最前線 ここまで防げる 脳血管性認知症 ※	脳血管障害(脳卒中)でおこる脳血管性認知症は、記憶障害などが病気の基盤としてあるが、それ以外の症状は血管障害が脳のどこで起こったかで変わる。症状悪化の原因となる再発を防ぐことが大切だ。治療方法・予防方法などを紹介する。(2007年3月7日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	15
02 06 13	きょうの健康 認知症 予防・治療の最前線 早期診断が大切 ※	認知症の診断の際に、「SPECT」「MRI」などの画像検査を併せて行うことで、より詳しく、正確に診断することができる。認知症の画像診断について紹介する。(2007年3月8日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	15
02 06 14	NHKスペシャル 脳を鍛えて人生を再び 福岡 高齢者たちの挑戦 ※	福岡県の老人介護施設で、高齢者の脳機能が、文章の音読や簡単な計算によって改善する事例が報告され注目を集めている。生き甲斐を取り戻そうと挑戦する高齢者の姿を追う。(2007年2月25日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	49
02 07 02	NHKスペシャル シリーズ 認知症 その時、あなたは 第1回 “常識”を変えよう	多くの人が不安に感じている認知症だが、治療薬と生活面でのサポートによって、症状を抑え穏やかに暮らすことが可能だ。徘徊(はいかい)や暴力などの症状を抑える介護の方法論や、世界中で開発が進む治療薬の情報など、認知症についての“新常識”を紹介する。(2006年12月17日放送)	59
02 07 03	NHKスペシャル シリーズ 認知症 その時、あなたは 第2回 介護の孤立を防ぐために	認知症介護の現場を徹底ルポ。多くの人が理想のケアにたどり着けず、孤立に追い込まれている現実を浮き彫りにする。そして認知症とともに生きていくためのあり方を考える。(2006年12月18日放送)	74

◆コード02◆ NHKスペシャル・にんげんドキュメント・ETV特集・きょうの健康など

コード	題名	内容	時間(分)
02 07 04	日曜フォーラム 認知症 私らしく暮らせる社会へ ※	2035年には350万人に達するといわれている認知症。フォーラムでは、最新の治療薬の情報や認知症になった人の思い、介護サポートの仕組みを紹介。また、地域全体で認知症を受け入れ、ともに暮らしていく新たな地域づくりについて議論する。(NHK厚生文化事業団主催フォーラム) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	60
02 07 05	にんげんドキュメント これからもあなたのままで ～若年認知症 ある夫婦の物語～	仙波康雄さんは52歳の時に“若年認知症”と診断され、家に閉じこもる日々だったが、妻の支えと高校の仲間たちの温かい励ましで、徐々に自分らしさを取り戻してきた。仙波さんと周囲の人々の変わらぬ交流を通して、“認知症”になっても自分らしく生きることのすばらしさと家庭や社会がどう支えていくべきかを考える。(2007年3月16日放送)	45
02 07 06	ETV特集 誇りをもって 笑顔を見せて ～認知症を生きる夫婦の物語～	“認知症”は「本人」が思いを語り「私らしい生き方」を模索する時代へと転換しつつある。番組では2組の夫婦に密着し、その日々を記録。「認知症」になっても自分らしく生きたいと願う本人の“認知症”との格闘と、それを支える妻や夫の切なる思いを描く。(2007年11月25日放送)	59
02 07 07	ETV特集 里山保育が子どもを変える ※	子育てに神経質な親が増え、教育現場では安全・安心を最優先させることが求められている。そんななか、危険の潜む里山で、のびのびと子どもを育てている保育園がある。里山という環境で子どもたちはどう変わっていくのか？美しい四季の変化とともに、子どもたちがゆったりと成長していく姿を伝える。(2007年10月28日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	89
02 07 09	生活ほっとモーニング 問題あっても大丈夫 ～統合失調症と生きる～	北海道にある社会福祉法人「浦河でてるの家」では、“統合失調症”など精神障害のある人たちが、独特なアイデアや感性を生かして、ヒット商品を生み出している。その活動取材し、精神障害者と地域との関わり方や、困難を抱えながらも前向きに生きていく秘訣を探る。(2007年7月10日放送)	50
02 07 10	生活ほっとモーニング これが私の仕事場です ～ある障害者支援の取り組み～ ※	愛知県にある社会福祉法人「むそう」では、ラーメン屋から養鶏場まで、さまざまな事業を市内各地で運営している。その多角的な職場作りで“障害をかかえていてもいきいきと働き、地域の中で自立した生活を営みたい。”という障害者と家族の願いを実現している。その取り組みによって生まれた地域の人たちと障害者の交流を見つめた。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	50
02 07 11	NHKスペシャル あなたの笑顔を覚えていたい ※	交通事故で重い記憶障害を負った岡本紀美さんは、去年春、男の子を出産した。ひどいときには数分前に自分が何をしていたのかも忘れてしまう岡本さん。記憶が保てない中でどうやって親子の絆を育んでいくのか。メモや家族の助けを得ながら、懸命に我が子と向き合おうとする岡本さんの姿を1年にわたって記録した感動のドキュメンタリー。(2007年10月29日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	49
02 08 01	生活ほっとモーニング にぎやかな“大家族” ～宅老所“井戸端げんき”の人々～	認知症や、統合失調症、失語症など、さまざまな人が通う、千葉県木更津市の宅老所“井戸端げんき”。ここでは、精神障害や心の病など、自分自身に悩みを抱える人たちが介護スタッフに加わっている。介護する側、される側の垣根をこえ、互いに支えあい、「自分らしさ」を取り戻していく人々の姿を描く。(2008年3月6日放送)	50
02 08 02	クローズアップ現代 秘められた能力を引き出せ ～広がる知的障害者の雇用～	就労が難しかった知的障害者の雇用が、今急速に伸びている。去年、静岡で開かれた障害者の技能オリンピック「国際アビリンピック」で、健常者にも勝る能力の高さを証明し、その動きに弾みをつけた。知的障害者を取り巻く新たな動きを取材する。(2008年2月20日放送)	26

◆コード02◆ NHKスペシャル・にんげんドキュメント・ETV特集・きょうの健康など

コード	題名	内容	時間(分)
02 08 03	課外授業 ようこそ先輩 みんな生きていればいい	今回の先輩は、「全盲ろう」のバリアフリー研究者・福島智さん。目が見えず、音も聞こえない「全盲ろう」は、自殺を考える人も少なくないという。福島さんも「絶望のドン底」に陥った。しかし、彼はそこから這い上がり、今を生きる。課外授業で“生きるとは何か”を子どもたちに問いかける。(2008年6月22日放送)	29
02 08 04	きょうの健康 正しく知ろう 統合失調症(1) 症状や原因を知る ●字幕付	100人に1人が発症するほど身近な病気、統合失調症。幻覚や妄想といった陽性症状のほかに、感情表現が乏しくなったり、引きこもったりする意欲が減退するといった陰性症状を現れる。だが、早期に治療することで回復が可能な病気であることは、意外に知られていない。病気の症状や前兆にいち早く気づく方法などをお伝えする。(2008年11月24日放送)	15
02 08 05	きょうの健康 正しく知ろう 統合失調症(2) 最新の薬物治療 ●字幕付	統合失調症の薬物治療は患者自身が薬を長時間飲み続ける理由、薬の効果や副作用を十分に理解していることが必要となる。薬の種類や飲み続ける為のコツなどをお伝えする。(2008年11月25日放送)	15
02 08 06	きょうの健康 正しく知ろう 統合失調症(3) 自立した社会生活に向けて ●字幕付	薬物治療だけでなく精神治療や心理社会療法などの治療を組み合わせると、統合失調症の再発率を大きく減らすことができる。治療の詳細や家族の対応の仕方などをお伝えする。(2008年11月26日放送)	15
02 08 07	きょうの健康 正しく知ろう 統合失調症(4) Q&A	統合失調症の治療には、早期に発見して適切な治療を行うことが、社会復帰する上では欠かせない。統合失調症の正しい知識について、専門医が視聴者からの質問にお答えする。(2008年11月28日放送)	15
02 09 01	生活ほっとモーニング リハビリ 回復をあきらめない！	病院を退院した後、自力でリハビリを続け驚異的な回復を遂げた人の例、さらにはリハビリや介護予防の効果が期待できる「シルバーリハビリ体操」をご紹介。専門家・大田仁史さんがリハビリの原理を応用して作られており、リハビリ、そして介護予防の効果が期待される。(2009年2月25日放送)	50
02 09 02	難問解決！ご近所の底力 認知症を予防して楽しくいきいき	誰もがなる可能性があるといわれる「認知症」。25年後には現在の倍、445万人に急増すると予測されるなど、その対策は待たなしの状況。一番効果がある予防法は、「ご近所の底力」による取り組みだということが最新の研究でわかってきた。そこで、「楽しく」「前向き」に、地域ですぐできる、選りすぐりの妙案をご紹介。(2009年4月3日放送)	43
02 09 03	ためしてガッテン！ 歩けた！話せた！脳がめざめる新 発想介護術	ある日突然大切な家族が倒れ直面する“介護”の現実。しかし最新の研究で“介護の仕方”ひとつで、脳の機能が大きく改善されることがわかってきた。成功のカギは、介護の発想にひと工夫を取り入れること。「今日より明日が楽になる」新発想の介護術を大公開。(2009年4月9日放送)	43
02 09 04	ためしてガッテン！ 断然ラク！自宅の介護負担激減の ミラクル技	体に想像以上の負担を強いる“介護”。介護を仕事としている人の実に8割が、腰痛を抱えている。そこで、介護する人の負担を少しでも減らすための方法を徹底追求。様々な最新研究から判明した、たった一つの“あること”さえすれば、介護のあらゆることがほとんど力をいれずにできるのだ。介護職のプロも注目する驚きの技の数々を伝授。(2009年4月15日放送)	43

◆コード02◆ NHKスペシャル・にんげんドキュメント・ETV特集・きょうの健康など

コード	題名	内容	時間(分)
02 10 01	教育テレビ特集 うちは、一人じゃない ～虐待の傷 再生への500日～	長崎県にある「大村村の森学園」。ここには親から虐待を受け、心に深い傷を負った子どもたちが暮らしている。子どもたちは虐待のトラウマから、時に心を閉ざし、時におさえられない感情を暴力として噴出させる。番組では、高校生のアオイさんが施設の職員・鳥羽瀬さんと少しずつ信頼関係を結びながら心の闇とたたかう姿を、500日間にわたり密着取材。(2010年10月21日放送)	60
02 10 02	NHKスペシャル ふしぎがり ～まど・みちお 百歳の詩～	童謡「ぞうさん」の作詞家まど・みちおさんが2009年11月、100歳の誕生日を迎えた。子どもを楽しませ、大人をふと立ち止まらせてくれる独創的な詩はどのように生まれるのか。老いや死、そしていのちの尊さを、今どのように受け止めているのか。まどさんの詩作の日々を見つめながら、いのちを詠いつづけてきた100歳の大詩人から生きるヒントをもらおう。(2010年1月3日放送)	49
02 11 01	ETV特集 思い出の街が甦(よみがえ)る ～写真家・井上幸治の世界～ ● 字幕付	昭和30年頃の街と人々の暮らしを取った井上幸治さん(大正8年～平成5年)。生涯、カメラ店を経営する傍ら写真を撮り続けたアマチュアカメラマンで、18年前に74歳で亡くなるまでに3枚万の写真を残した。幼い時の事故が原因で耳が不自由であった井上さんは、音のない世界で、時代と風景を見つめ続けた。写真作品と、残された日記、そして家族・関係者の証言などから、井上幸治さんの生涯をたどる。(2011年3月20日放送)	59
02 11 02	ETV特集 福祉の真価が問われている ～障害者 震災1か月の記録～	東日本大震災では犠牲者の半数以上が65歳以上の高齢者で、これに障害のある人を加えた「災害弱者」の割合が非常に高いことがわかってきた。自らの力で判断したり移動することができない「災害弱者」たちの生死を分けたものは何だったのか。どのように避難したのか。震災発生から表には出てこない「災害弱者」たちが、どのように命をつないできたのかを克明に追い、福祉の真価を見つめ直す。(2011年4月24日放送)	59
02 11 03	資格☆はばたく ケアマネージャー 第1回 ケアマネってどんな仕事？	福祉系の資格における人気ナンバーワン「ケアマネージャー」を取り上げる。介護保険制度に基づくケアプランを作成、要介護者の生活アドバイザーになる“介護サービスの司令塔”。高齢化社会において、ますますニーズが高まる資格。将来性のあるこの資格に、いかにチャレンジするかを伝える。(2011年5月4日放送) ※内容は放送当時の情報であり、現在とは異なる部分がございます。ご了承下さい。	24
02 11 04	資格☆はばたく ケアマネージャー 第2回 どんな試験をどんな人が受けるの？	福祉系の資格における人気ナンバーワン「ケアマネージャー」を取り上げる。介護保険制度に基づくケアプランを作成、要介護者の生活アドバイザーになる“介護サービスの司令塔”。高齢化社会において、ますますニーズが高まる資格。将来性のあるこの資格に、いかにチャレンジするかを伝える。(2011年5月11日放送) ※内容は放送当時の情報であり、現在とは異なる部分がございます。ご了承下さい。	24
02 11 05	資格☆はばたく ケアマネージャー 第3回 どんな勉強をすればいいの？	福祉系の資格における人気ナンバーワン「ケアマネージャー」を取り上げる。介護保険制度に基づくケアプランを作成、要介護者の生活アドバイザーになる“介護サービスの司令塔”。高齢化社会において、ますますニーズが高まる資格。将来性のあるこの資格に、いかにチャレンジするかを伝える。(2011年5月18日放送) ※内容は放送当時の情報であり、現在とは異なる部分がございます。ご了承下さい。	24
02 11 06	資格☆はばたく ケアマネージャー 第4回 合格者に聞くマイ勉強法	福祉系の資格における人気ナンバーワン「ケアマネージャー」を取り上げる。介護保険制度に基づくケアプランを作成、要介護者の生活アドバイザーになる“介護サービスの司令塔”。高齢化社会において、ますますニーズが高まる資格。将来性のあるこの資格に、いかにチャレンジするかを伝える。(2011年5月25日放送) ※内容は放送当時の情報であり、現在とは異なる部分がございます。ご了承下さい。	24
02 11 07	きょうの健康 うつ病 あなたはまだ知らない つらい症状とサイン	憂うつな気分がずっと続いたり、何も楽しめなくなったりする「うつ病」。眠れない・集中できない・死にたいと思うなど、他にもさまざまな症状が現れる。しかし本人は、つらさを表に出さないことも多く、周囲の人は気づきにくい。仕事でミスが増える、飲酒量が増えるなどのサインに周囲も注意する必要がある。(2011年6月13日放送)	15

◆コード02◆ NHKスペシャル・にんげんドキュメント・ETV特集・きょうの健康など

コード	題名	内容	時間(分)
02 11 08	きょうの健康 うつ病 あなたはまだ知らない 治療はあせらず確実に	うつ病の治療法には「薬物治療」「精神療法」「環境調整」がある。薬は抗うつ薬が中心だが、効果が現れるまでには日数がかかるのであせらないこと。精神療法とはカウンセリングなどで心理状態に働き掛ける治療法。落ち込んだ時の自分の考え方を見つめ直す「認知行動療法」の効果が注目されている。また、うつ病につながった、ストレスの多い環境を改善することも忘れずに。(2011年6月14日放送)	15
02 11 09	きょうの健康 うつ病 あなたはまだ知らない これもうつ病	「うつ病」でも一時的に気分が良くなるケースを「非定形うつ病」と呼ぶ。うつ病らしく見えなくても、うつ病であることを周囲の人が理解する必要がある。また、「統合失調症」「認知症」「双極性障害」は、うつ病に似た症状はあるが、別の病気である。薬など治療法が異なるので十分な診断を受けること。(2011年6月15日放送)	15
02 11 10	きょうの健康 うつ病 あなたはまだ知らない 双極性障害の可能性	「双極性障害(そううつ病)」はうつ病ではないが、そう状態とうつ状態が交互に現れ、うつ状態の時期に受診するとうつ病と診断されることがある。うつ病と診断されていても「自分が偉くなったように感じる」「声がかれるほど話し続ける」など、そう状態を経験していれば、双極性障害の可能性がある。双極性障害は抗うつ薬では改善しにくく、治療薬が異なるので、主治医にそう状態の経験を告げ、改めて診断の受けること。(2011年6月16日放送)	15
02 11 11	ETV特集 今こそ、力を束ねるとき ～神戸発・災害ボランティアの記録～	甚大な被害をもたらした東日本大震災。いち早く現地に入り、支援の手を差し伸べたのは、阪神・淡路大震災を経験した神戸の災害NGOやボランティアだった。圧倒的な人手と物資の不足に苦しむ被災地に向けて、どのようにして支援の“点”を“面”へと広げていったのか。災害直後から始まった3か月の活動の記録映像をもとに、被災地支援のあり方をあらためて問いかける。(2011年6月12日放送)	89
02 11 12	NHKスペシャル 日野原重明 100歳 いのちのメッセージ	医師・日野原重明さんは2011年10月で100歳。今も精力的に様々な活動を行い「スーパー老人」ぶりを発揮する。番組は1年にわたってプライベートや家族にも密着。患者とのドラマ、東北での被災者との出会い。そして、突然の病に倒れた最愛の妻との日々…。いのちと向き合う中で紡ぎだされる日野原さんのメッセージを見つめる。(2011年10月8日放送)	73
02 11 13	課外授業 ようこそ先輩 今こそ大切 “笑いの力” サンドウィッチマン ●字幕付	お笑い芸人・サンドウィッチマンの「ツッコミ」担当、伊達みきおさんの故郷は、宮城県石巻市。港町は津波で被害を受け、小学校は隣町の仮設校舎で授業を行っている。サンドウィッチマンから子どもたちへの課題は「お笑い」づくり。復興に向けて長い道のりを進み始めた町の人たちに届けようと、子どもたちは、それぞれ笑顔になってほしい人に思いをこめて、ネタづくりに励みます。果たして、子どもたちは笑いを届けることができるのでしょうか。(2011年12月17日放送)	30
02 12 01	ためしてガッテン! まさか!!もの忘れに効く薬があった なんて	認知症と診断されるほど、ひどい物忘れの原因が、生活慣習病から引き起こるある意外な病気であることが判明。その治療薬を飲むと、もの忘れが劇的に無くなるというのだ。同様のケースで、国内に100万人の患者がいると推定されるが、その多くが適切な治療を受けていないという。薬で治る「もの忘れ」を引き起こす病気とは一体何なのか?もの忘れに悩む人にぜひ伝えたい!(2012年1月18日放送)	42
02 12 02	きょうの健康 震災後のこころのケア 大切な人を失った悲しみ	東日本大震災の被災地の状況は依然として厳しく、人々の心の傷は、いまだ癒えていない。悲しみを心の奥底に封じ込め、長い間ため込んでおくと、PTSD・うつ病・アルコール依存症といった健康の問題に発展することもある。大切な人を失った悲しみを、どう受け止め回復していくのか、阪神淡路大震災の例をもとに、被災地で必要とされている“こころのケア”について考える。(2012年3月3日放送)	15
02 12 03	きょうの健康 震災後のこころのケア 生活の変化によるストレス	東日本大震災では地震・津波・原発事故という複合災害が被災地の人々に甚大な影響を及ぼし、家や土地を失ったことでの転居・職の喪失といった大きな生活の変化を強いられている。過剰なストレスにより糖尿病や高血圧などの持病管理がうまくいかない、不眠、うつ病、アルコール依存症といった問題も生じる。被災者の方を支える“こころのケア”や対処法について考える。(2012年3月8日放送)	15

◆コード02◆ NHKスペシャル・にんげんドキュメント・ETV特集・きょうの健康など

コード	題名	内容	時間(分)
02 12 04	きょうの健康 認知症 あなたはまだよく知らない 認知症 どんな病気？	脳の記憶や判断力などの働きが障害され、日常生活に支障を来す認知症。そんな認知症にはさまざまなタイプがあり、どのタイプか早期診断できれば、その後のよりよい対処につながる。代表的な3つの病気、アルツハイマー病、レビー小体型認知症、血管性認知症についてそれぞれの特徴的な症状を中心に解説。さらに、認知症が気になったらどう対応すべきかポイントを踏まえて解説する。(2012年4月2日放送)	15
02 12 05	きょうの健康 認知症 あなたはまだよく知らない アルツハイマー病の治療	認知症の中で約6割を占めるアルツハイマー病を取り上げる。現在は根本的には治せないが、症状を改善する治療法はある。昨年からの3種類の新薬も使われ始め、患者さんの進行具合などの状態にあわせ、薬の形状や種類を選べるようになってきた。薬の副作用と対応方法、服用の開始時期のポイントなどについて解説する。(2012年4月3日放送)	15
02 12 06	きょうの健康 認知症 あなたはまだよく知らない 認知症とわかったときのケア	65歳以上の10人に1人が認知症の時代。認知症の治療には非薬物療法の「ケア」も、薬物療法と同じように重要な役割を持つ。軽度・中等度の認知症の患者さんに起こりやすい「もの盗られ妄想」「意欲の低下」などの具体例で認知機能の低下から、妄想・興奮などに至る流れを解説するとともに、ケアに大切な「やりたいことをかなえるケア」を実践するクリニックのノウハウも紹介する。(2012年4月4日放送)	15
02 12 07	きょうの健康 認知症 あなたはまだよく知らない 進行したときのケア	認知症が進行すると、お風呂で体を洗えない、トイレに行けない、ご飯が食べられないなど、日常生活でできないことが一気に増えてくる。高度の認知症ケアで重要なのは「できなくなったこと」を「できるだけ自分でできるようにする」ということ。マットの上を歩けなくなった場合やお茶わんにご飯が盛られていないように見える症状があった場合など、高度の認知症患者が困る具体例をもとに、どのようにケアしていくとよいかを紹介する。(2012年4月5日放送)	15
02 12 08	NHKスペシャル 職場を襲う“新型うつ”	仕事には行けなくても趣味や旅行は楽しめる。従来の概念を覆す新たな心の病「新型(現代型)うつ」の若者が急増している。新型うつは一見、怠けと捉えられがちで、治療法も確立していないため、企業だけでなく医療現場も対応に苦慮している。企業への大規模なアンケート調査とともに、メンタルヘルス問題に格闘する企業の最前線取材。さらに典型的な若者の事例をドラマ化し、新型うつの特徴と対策について探っていく。(2012年4月29日放送)	49
02 12 09	サキどり↑ 驚きの足こぎ車いす	「脳卒中で5年間、寝たきりだった女性が自力で移動」「けい椎損傷で立てなかった男性が、つかまり立ち」…そんな驚異の回復を生んだのは“足こぎ車いす”。15年前に東北大によって開発されたものの、重くて実用化できなかった。その後「少しでも社会を良くしたい」と複数の会社が次々と連携し、実用化に成功した。熱き思いで結びついた中小企業を紹介するとともに、足こぎ車いすで体の機能がどこまで回復するのか、科学的に検証する。(2012年3月19日放送)	43
02 12 10	目撃！日本列島 ロープに再起をかけて～伴走ランナーの挑戦～	視覚障害者を一本のロープで支える「伴走」。新潟市の小林昌範さん(43)は、駅伝選手として活躍していたが、体力が落ち、第一線から遠ざかった。仲間と共にゴールを目指す喜びをもう一度味わいたいと、伴走ランナーに挑む。体力が限界に達する中でいかにパートナーを支えていけるか、伴走に再起をかけた中年ランナーの奮闘の日々を追う。(2012年5月12日放送)	23
02 13 01	クローズアップ現代 “大人の発達障害” 個性を生かせる職場とは？	上司の指示が正確に伝わらずミスが多発する、同僚とうまくコミュニケーションがとれない…。その原因の一つとして指摘されはじめてるのが“大人の発達障害”。かつては“少し変わっている”とされるだけで問題なく職場に溶け込んでいたこうした人たちが、今、孤立し、うつ病になるケースが増えている。背景にあるのは、成果主義の導入などでゆとりを失い不寛容になった職場環境。どうすればよりよい職場環境を実現できるのか。職場のあり方を考える。(2013年3月13日放送)	26
02 13 02	サキどり↑ バリア“アリー”で介護に革命！	福祉施設内にあえて段差や坂道を設け、要介護者の能力を引き出すというバリア“アリー”。要介護度5の人が2まで回復するなど目覚ましい効果を上げ、介護の未来を変えると期待されている。その手法は、「ごろ寝」「ポーとする」などの不思議なリハビリメニューが並び、どれも介護の常識を変えるものだ。山口県のデイサービスセンター「夢のみずみ村」で始まったこの独創的な手法を徹底解剖する。(2013年4月14日放送)	32

◆コード02◆ NHKスペシャル・にんげんドキュメント・ETV特集・きょうの健康など

コード	題名	内容	時間(分)
02 13 03	目撃！日本列島 50歳成長中！ ～読み書き困難と向き合って～	鳥取県で工務店を営む50歳の男性は「ディスレクシア」という発達性の読み書き障害がある。全般的な知的発達に遅れはないが、音読や、字を書く能力は小学校低学年程度だ。これまで読み書きが困難なことを周囲に隠して生きてきたが、最近になって障害が原因とわかり、前向きに生きて行こうと決意した。同じ悩みで苦しむ子どもや若者のために活動を始めた男性の半年間を追う。(2013年6月15日放送)	23
02 13 04	目撃！日本列島 服は人生を輝かせる	大分市にある洋服店「服は着る薬」では、服飾デザイナーの鶴丸礼子さんが、からだに障害がある人たちのためのオーダーメイドの服作りに取り組んでいる。独自の製図法で体の隅々まで細かく採寸し、デザインに趣向を凝らした鶴丸さんの服は、大きな人気を呼んでいる。おしゃれ心を満足させたいと、鶴丸さんの店を訪れる常連の女性、鶴丸さんのショーツで「自立」をしたいと頑張る女子中学生。鶴丸さんと障害者の服を通じた交流を描く。(2013年7月6日放送)	23
02 13 05	きょうの健康 うつ病 あなたに合った治療法 軽症なら薬はより慎重に ●字幕付	うつ病でも軽症の場合は、カウンセリングが治療の基本。医師は、患者の訴えを十分聞いて共感し、病気の特徴や治療の方法も丁寧に説明する。これだけで改善することも少なくないため、薬は中等症や重症に比べ、より慎重に用いる必要がある。自分のもの見かたを見つめなおすことで、軽症でも効果が期待できる認知行動療法を紹介する。(2013年6月17日放送)	15
02 13 06	きょうの健康 うつ病 あなたに合った治療法 高齢者もあきらめないで ●字幕付	高齢者のうつ病は「年のせいで元気がないだけ」と周囲から見逃されがちだが、家にひきこもる、家事をしなくなるなども重要なサイン。イライラ・不安、体の不調も目立つ。高齢者のうつ病は認知症との合併も多い為、精神科などでの受診が望ましい。薬を使う場合は少量から増やしていく。自分なりに楽しめる趣味を持つ、地域や家庭で役割を持つなど、うつ病を防ぐための対策を考える。(2013年6月18日放送)	15
02 13 07	きょうの健康 うつ病 あなたに合った治療法 “現代型”どう向き合う？ ●字幕付	うつ病の中には「きっかけがあれば一時的に気分が良くなる」「対人関係に敏感」など、医学用語ではないが“現代型”と呼ばれるケースがある。職場でのストレスや心理的要因がしばしば影響するため抗うつ薬が効きにくく認知行動療法が効果的な場合が多い。また休養だけでなく生活リズムをつける努力も大切だ。典型的なうつ病とはイメージが異なる“現代型”うつについて、向き合い方を考える。(2013年6月19日放送)	15
02 13 08	ETV特集 ひとりだ でも淋しくはない ～詩人・加島祥造 90歳～	信州・伊那谷で暮らす詩人・加島祥造さん(90)の「求めない」、「受け入れる」という考えが注目されている。かつては大学の英文学教授であり、翻訳家としても名声を得ていた加島さん。しかし、なぜか心は満たされず、60歳で社会から飛び出した。それ以来、伊那谷の大自然に触れながら、わがままと言われようと、ただ命に忠実に向き合ってきた。人生の晩年をどう生きるか、今もあがき続ける90歳の日々を見つめる。(2013年10月19日放送)	59
02 13 09	ETV特集 左手のピアニスト ～もうひとつのピアノ・レッスン～	難病「局所性ジストニア」のために右手が思うように動かなくなった智内威雄さんは、左手だけでピアノを演奏する「左手のピアニスト」だ。20世紀前半まで盛んに作られ、今は世界中に散逸してしまった「左手のピアノ曲」を発掘して立て続けに復活させ、「響き」が特徴の豊かな音の世界を創り出す。同じ障害がある後進のためにも、左手の曲の復活に奔走する智内さんの挑戦を見つめる。(2013年11月16日放送)	59
02 13 10	あしたをつかめ ～しごとくらしも～ #27 盲学校教員 三上信雄さんの場合	主人公は盲学校の体育教師・三上信雄さん(27)。男子中学生4人のクラス担任だ。気がかりなのは、1年生の青木君の夏休みの宿題。提出期限から2か月たつが、まだ終わっていない。さらに1週間後には、青木君の苦手の校内マラソン大会が控えている。“苦手なもの”から逃げない強さを持ってほしいと積極的に指導するが、先輩からは「視覚障害を理解してあげているか？」との指摘も。生徒と向き合う三上先生の1週間に密着する。(2013年12月16日放送)	24
02 13 11	サキどり↑ “介護ロボ”市場に立つ！！	超高齢化時代の救世主として注目される「介護ロボ」。世界初の生体電位信号センサーを搭載した「歩行アシストロボット」や「自動排泄処理ロボット」など、続々と介護現場に登場するロボットたち。「介護＋加工技術」という新しい市場の広がりをビジネスチャンスととらえ、異業種が介護ロボ開発に次々と参入している。まさに「介護ロボ元年」の今年、その最先端を紹介する。(2013年11月17日放送)	32

◆コード02◆ NHKスペシャル・にんげんドキュメント・ETV特集・きょうの健康など

コード	題名	内容	時間(分)
02 14 01	ETV特集 信さん101歳 ツルさん103歳 ～どっこい生きてきたふたりの100年～	吉田信さん101歳、ツルさん103歳。関東大震災や太平洋戦争など、日本の歴史に残るさまざまな出来事を経験し、乗り越えてきた。ふたりは福島県大熊町で4世代9人の暮らしを送ってきたが、3年前、原発事故で家族が離ればなれになり、故郷を失った。幾多の困難に直面しながらも、かつてのように前向きな精神で乗り越えようとする信さんとツルさん。番組では100歳夫婦の1年間を記録するとともに、ふたりの言葉に耳を傾ける。(2014年3月1日放送)	59
02 15 01	サキどり↑ 広がる“元気になる介護”	お年寄りの暮らしの不自由なところを「サポートする」という介護のあり方から一歩進めて、訓練やさまざまな工夫によって、お年寄りの生活の質や体の状態を積極的に「改善していく」取り組みが各地で始まっている。長寿国と言われる日本だが、平均寿命と健康寿命の間には男性で9年、女性は12年の開きがある。その期間をいかに短くし、また介護を受けるようになって、いかに充実して過ごすか。その可能性をサキどる。(2015年3月22日放送)	32
02 15 02	NHKスペシャル 見えず 聞こえずとも ～夫婦ふたりの里山暮らし～	京都・丹後半島の山あいにある小さな集落に暮らす梅木好彦さん(68)と妻の久代さん(65)。久代さんは、目が見えず、耳も聞こえない。ふたりは互いの手を握り、その動きから手話を読み取る“触手話”により心を通わせ合っている。二人が結婚したのは、共に50代の時。厳しくも豊かな自然に抱かれた暮らしの中には、小さな幸せが満ちあふれている。人間にとっての幸せとは何なのか？ふたりの暮らしを通して見つめる。(2015年5月3日放送)	49
02 15 03	NHKスペシャル 老衰死 穏やかな最期を迎えるには	俳優の樹木希林さんと共に「老衰死」の秘密に迫る。人生の終末期、どうしたら安らかな最期を迎えられるのか。最新のデータで、戦後最多となった「老衰死」。今回、入所の平均年齢が90歳を超える都内の特別養護老人ホームを取材し、半年間に渡って自然な最期を支える現場を記録。さらに世界最前線の研究を訪ね、老いがもたらす穏やかな死の謎と老衰のメカニズムに迫る。(2015年9月20日放送)	49
02 15 04	きょうの健康 うつ病を知ろう「まずは正しい診断」	うつ病は心の病気ではなく脳の病気。一般に、まじめできちょうめんな人がなりやすいと考えられているが、ストレスの感じ方は人によって異なるため、だれにでも起こる可能性がある。発症すると、時に治療には時間がかかり、WHOの調査では健康寿命を脅かす病気の中で上位に位置している。診断は専門医でも難しいと言われるうつ病。特徴的な症状のチェック方法や、他の病気や原因を除外することの必要性など、正しい診断のためのポイントを考える。(2015年11月7日放送)	15
02 15 05	きょうの健康 うつ病を知ろう「さまざまなうつ病」	うつ病には特徴的なパターンがいくつかある。主なパターンは自分を責める特徴がある「メランコリー」、他人の言動に傷つきやすい「非定型」、幻覚や妄想を伴う「精神病性」。中にはいくつかのパターンが混在する人もいる。治療の基本は精神療法と薬物療法だが、重症度だけでなくパターンを確認して治療方針を考慮する必要がある。加えて通電療法・光療法が行われる場合もある。抗うつ薬の効果や注意点も詳しく紹介する。(2015年11月10日放送)	15
02 15 06	きょうの健康 うつ病を知ろう「働き盛りのうつ病」	仕事上のストレスがきっかけで発症することが多い働き盛りのうつ病。症状が重い場合は休職して治療に専念することが大切だ。改善には時間がかかるため、焦りや罪責感から仕事を辞めてしまい、その後の人生を大きく変えてしまう人も少なくない。症状が重くなる前にどのタイミングで受診するのがよいのか、どんな治療をどのように進めていけばよいのか、復職する際の注意点、周囲の人が気をつけたい言動などについても詳しく紹介する。(2015年11月10日放送)	15
02 15 07	きょうの健康 うつ病を知ろう「高齢者のうつ病」	高齢者のうつ病では、若い世代と異なる特徴を持つものもある。一つは、脳の血管の中にできた小さな血栓が原因で起こる「血管性うつ病」。脳梗塞の発作を起こした後にうつ病のような症状が見られるものとは区別される。もう一つが、認知症と間違われやすい「仮性認知症」。仮性認知症の場合は、適切な治療をすればもの忘れなどの症状も改善される。専門医でも鑑別が難しいが、異なる特徴が表れやすいもの忘れと妄想的な症状を紹介する。(2015年11月11日放送)	15
02 15 08	目撃！日本列島 心をつなぐ“千本ノック” ～盲目の夫婦の日々～ ●字幕付	目の不自由な人たちがボールの転がる音だけを頼りにプレーする野球、グランドソフトボール。音からボールの方向をつかみ、打ったり、守ったりする、難しいスポーツだ。この世界で、堅い守備が目ざされ、20年以上、奈良県チームのレギュラーを務める脇坂清さん(66)。めざましい活躍の陰には、同じく全盲の妻、美津江さん(62)の“千本ノック”があった。10年ぶりの全国大会出場を目指す夫と、支える妻。夫婦の絆を描く。(2015年7月4日放送)	24

◆コード02◆ NHKスペシャル・にんげんドキュメント・ETV特集・きょうの健康など

コード	題名	内容	時間(分)
02 16 01	きょうの健康 これも認知症「血管性認知症」	認知症は、よく知られているアルツハイマー病以外にもさまざまな病気によって起こる。病気によって特徴が異なり、認知症の症状は物忘れと思い込んでいて発見が遅れやすい。その病気の1つが脳の血流障害で起こる血管性認知症。脳梗塞や脳出血など脳卒中の発症後に起こるタイプや、脳卒中を発生していないのに起こるタイプがある。脳卒中でないタイプはいつの間にか認知症になりやすい。血管性認知症の特徴や対処について伝える。(2016年4月18日放送)	15
02 16 02	きょうの健康 これも認知症「レビー小体型認知症」	レビー小体型認知症は、脳の中にレビー小体という異常なたんぱく質の塊が現れることで起こる。最も特徴的な症状が、実際にはいない人などが見える「幻視」。患者数は数十万人と推計され、決して少なくない。ところが現在はまだ専門医が少ないため、うつ病などと診断されることがある。この病気の場合は薬に敏感なため、ほかの病気の薬で悪化することがあり、正しい診断が特に大切。レビー小体型認知症の特徴や対処について伝える。(2016年4月19日放送)	15
02 16 03	きょうの健康 これも認知症「前頭側頭型認知症」	前頭側頭型認知症は、脳の前頭葉や側頭葉が萎縮していくことで起こる。店頭のを勝手に持って行く、毎日同じ料理を食べるなど特徴的な症状が多い。50～60代で発症しやすく、65歳未満で起こる若年性認知症の主な原因の1つとなっている。アルツハイマー病と違って薬は補助的な効果にとどまるが、家族など周囲の人の接し方によって行動をうまくコントロールすることが可能。前頭側頭型認知症の特徴や対処について伝える。(2016年4月20日放送)	15
02 16 04	きょうの健康 これも認知症「正常圧水頭症」	正常圧水頭症は、脳を保護している髄液が増えすぎて脳を圧迫することで起こる。認知症だけでなく、歩行障害や排尿障害を起こすのが特徴。中でも特異性正常圧水頭症というタイプは65歳以上の1～2%が発症しているとも言われている。ところが、いずれの症状も高齢者に起こりやすいため、この病気と診断されにくい。ただし、この病気は多くの認知症と違い、早期発見して治療することで改善が可能。特徴や対処について伝える。(2016年4月21日放送)	15
02 17 01	NHKスペシャル ばっちゃん～子どもたちが立ち直る居場所～	社会に居場所を失い、非行に走る子どもたち。そんな少年や少女に寄り添い、30年以上、その立ち直りを支えてきた女性がいる。“ばっちゃん”こと、元保護司の中本忠子(ちかこ)さん82歳。長年の経験から「非行の根っこには空腹がある」と確信した中本さんは、広島市内にある自宅を開放し、手料理を振る舞い、親身になって相談にのりながら、多くの子どもたちを更生させてきた。そんな中本さんと子どもたちの8年間の記録。(2017年1月7日放送)	49
02 18 01	ETV特集 愛する人がいればこそ ～知的障害者の恋愛・結婚・子育て～	長崎県雲仙市を拠点に活動する和太鼓集団「瑞宝太鼓」。団員全員に知的障害がある。いじめや偏見に苦しんできた者も少なくないが、太鼓と出会って人生が変わった。太鼓と並ぶもう一つの心の支えが、愛する人の存在。結婚し子どもを授かった団員もいる。それを支えてきたのが、所属する社会福祉法人が取り組んできた、恋愛や結婚、子育ての支援事業。優生思想への向き合い方が改めて問われる今、誰かを愛することの意味を見つめる。(2018年03月31日放送)	59
02 18 02	ETV特集 Reborn ～再生を描く～	ディジュリッド奏者・画家GOMA。8年前、交通事故で脳を損傷し高次脳機能障害をおった。一方、事故から2日後、全く造詣のなかった絵の才能が開花。以来描かずにはいられない衝動に駆られ、脳裏に浮かぶイメージを点描画で表現してきた。自分の脳に何が起きたのか。アメリカを旅し、サヴァン症候群の研究者や脳損傷を機に音楽や数学の才能が目覚めた人を訪ね、自らの生き方を模索。そして大作『火の鳥』に挑む。語り・窪塚洋介(2018年2月17日放送)	59
02 19 01	ETV特集 みかんの花が咲く谷で 豪雨から1年・農家たちの自叙伝	去年7月、「愛媛みかん発祥の地」とされる小さな集落が豪雨で壊滅的な被害を受けた。昭和の時代、「黄金なるなる」とみかん音頭を歌い、収穫では手弁当で助け合い「生産量日本一」の礎を築いた農家たち。今、再び立ち上がろうと大規模な畑の整備計画に期待をかけるが、被害を免れた木も切らなければならず、心は揺れる。そして春、未来に向けそれぞれの決断を下す…。今も昔も、みかんと共に生きてきた農家たちの歩みをつづる。(2019年6月29日放送)	59

◆コード03◆ 障害児の発達・療育関係など

コード	題名	内容	時間(分)
03 00 01	にんげんゆうゆう シリーズ「変わった子」と言わないで (2)見えない苦しさを知ってほしい ※	LD・学習障害の子どもたちは、障害がわかりにくく、周りの人から理解されにくい。LD児の親のアンケートや事例を通して、医学的観点含めて障害をわかりやすく解説する。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	30
03 00 02	にんげんゆうゆう シリーズ「変わった子」と言わないで (3)ひとりひとりの力を伸ばす ※	LD・学習障害のある子の教育支援はどうあるべきか、模索が続いている。公教育、フリースクールの取り組みを取材し、教育面でのLD児の支援を考える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	30
03 00 03	にんげんゆうゆう シリーズ「変わった子」と言わないで (4)きっと自立出来る ※	思春期から大人へむかう過程での自立支援によりLD・学習障害児は大きく成長をみせる。どのような自立支援が必要か、個性を生かして活躍する事例や学校での取り組みをもとに考える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	30
03 03 01	福祉ネットワーク 子どもの相談室 シリーズ「ことばの 遅い子」 (1)ことばの遅れに気づいた時 ※	悩む親に向けて「言葉が遅い」とはということなのか、その原因と療育、ことばを育てる関わり方について伝える。1回目は、親の悩みやことばを育てるために必要な4つの力、語学指導を行っている機関等を見ていく。(2003年4月放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
03 03 02	福祉ネットワーク 子どもの相談室 シリーズ「ことばの 遅い子」 (2)親子のコミュニケーション ※	子どもを自由に遊ばせ、それに大人が付き合う関わり方を学ぶ。焦らず、子供の自発的な気持ちを待ってあげることが、ことばの発達には大切。関わる大人の態度や言語聴覚士の仕事についても触れる。(2003年4月放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
03 03 03	福祉ネットワーク 子どもの相談室 シリーズ「ことばの 遅い子」 (3)言葉のキャッチボールをめざして ※	3回目は、ことばが出ててもコミュニケーションができない状態をどう打開するのか。ことばがスタートするとき、うまく育てて世界を広げる方法を考える。子どもがコミュニケーションへの関心を持ちつづけられる関わり方を紹介。(2003年4月放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
03 03 04	福祉ネットワーク 子どもの相談室 シリーズ「自閉症 の子とともに」 (1)行動を理解する	自閉症の子どもへの指示の出し方などの対応の仕方について触れる。また言葉でのコミュニケーションを取ることが難しければ、視覚的手がかりを使うのが有効だとアドバイスも紹介。(2003年5月放送)	29
03 03 05	福祉ネットワーク 子どもの相談室 シリーズ「自閉症 の子とともに」 (2)コミュニケーションの力を育てる	2～6歳までの障害のある子どもの通園施設「ひよこ園」。ほとんどが、自閉症や自閉的傾向の子ども。ここで工夫している「視覚的手がかり」を紹介。子どもの見え方に配慮するのがポイント。(2003年5月放送)	29
03 03 06	福祉ネットワーク 子どもの相談室 シリーズ「自閉症 の子とともに」 (3)家庭を暮らしやすく	家庭を過ごしやすい場所にするための具体的なアイデアを紹介。関わり方の工夫でパニックは予防可能。また、先輩から後輩ママへ知恵と経験を受け継ぐための親たちの取り組みも紹介。(2003年5月放送)	29

◆コード03◆ 障害児の発達・療育関係など

コード	題名	内容	時間(分)
03 03 07	福祉ネットワーク 子どもの相談室 高次脳機能障害 と向きあう 性格の変化を受けとめる	交通事故や脳症などが原因で、高次脳機能が損傷を受けてしまった場合に現れる高次脳機能障害。障害の基礎的な理解や性格の変化について、回復の可能性、親の接し方のポイントなどについて触れる。(2003年6月放送)	29
03 03 08	福祉ネットワーク 子どもの相談室 高次脳機能障害 と向きあう リハビリで可能性を引き出す	記憶や注意力といった脳の機能をどのように回復させていくのか、家庭でもできる具体的なリハビリ方法を伝える。宝さがしゲーム等本人の関心を引き出す記憶に働きかける訓練の様子などを伝える。(2003年6月放送)	29
03 03 09	福祉ネットワーク 子どもの相談室 高次脳機能障害 と向きあう 再び学校で学ぶために ※	理解されにくい高次脳機能障害の子供が学校に復学する時、また復学後親は学校に何を伝えたいのか、どのように連携をとったらいいのかについて実際のサポートシステムを紹介しながら考える。(2003年6月放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
03 03 10	福祉ネットワーク 子どもの相談室 シリーズ「ダウン症 児 のびやかに育て！」 ・赤ちゃんの育て方 ※	第1回目は、乳幼児期のダウン症児とその家族のケアについて考える。静岡の親の会を例に、子供の障害とどう向き合うのか、健康に良い体操の仕方など、障害特性に関する基礎知識についてふれる。(2003年7月放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
03 03 11	福祉ネットワーク 子どもの相談室 シリーズ「ダウン症 児 のびやかに育て！」 ・小学生になる前に ※	「子どもに頑張らせすぎない」といった育児のポイント等を紹介。得意な面を伸ばし、また学校に上がる前なので徐々に社会的なルールを少しずつ身に付け、様々な経験をすることが大切とのアドバイスも。(2003年7月放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
03 03 14	福祉ネットワーク 子どもの相談室 シリーズ「てんかん と上手につきあう」 (1)突然おこる発作への不安 ※	100人に1人が発病する「てんかん」は、発作を繰り返す脳障害。本人は「発作に対する不安」や「活動が制限される」などの悩みを抱えている。本人へのサポートの仕方、また親の対応姿勢などについて触れる。(2003年10月放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
03 03 15	福祉ネットワーク 子どもの相談室 シリーズ「てんかん と上手につきあう」 (2)知的障害をともなって ※	より丁寧な関わりが必要な知的障害児。しかし刺激によって、発作が誘発されるのではないかと不安になる事もある。知的障害を伴うてんかん患者の子供をどう育てれば良いのかについて考える。(2003年10月放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
03 04 01	福祉ネットワーク 児童福祉の父 石井十次	日本の児童福祉の父、石井十次。今から約100年前、児童福祉という言葉さえなかった時代、戦争で身寄りを亡くしたり、貧しさで親元を離れた子どもを引取り、限りない愛情を注いだ。48年の生涯を子どもたちのためにささげた彼の足跡を振り返る。	29
03 04 02	福祉ネットワーク うちの子どもは世界一 絵で育むきずな ※	母は聴覚障害、息子は自閉症。言葉には出さなくても、息子は絵で感じたことを表現している。絵という手段を思いついたことで、親子のきずなが深まった。子どもを細かく観察していれば、いろいろなコミュニケーションの方法があるということを見せてくれる。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29

◆コード03◆ 障害児の発達・療育関係など

コード	題名	内容	時間(分)
03 04 03	福祉ネットワーク うちの子どもは世界一 大岳くん親子・成長の記録 ～多 発奇形と告げられて～ ※	両手両足の4本全部が違う形をしている四肢の多発奇形は、先天性の障害。最初は子どもが傷つけられることを避けるために、隠すことばかりに神経を使っていた母だった。子どもの障害を受け入れて乗り越えていく親子の姿を追う。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
03 04 04	福祉ネットワーク うちの子どもは世界一 赤ちゃんからもう一度 ～近田さん 親子の1年3か月～ ※	突然の高熱に襲われ、高次脳機能障害という後遺症が残った。最初はできないことばかりに目がいっていたが、息子が「もう一度生き直している」ことに気づいた母。できることを積み上げていく大切さを教えてくれる。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
03 05 01	福祉ネットワーク シリーズ 発達障害の子どもたち 小学生への支援	自閉症や学習障害、注意欠陥多動性障害など、いわゆる発達障害の子どもたちは、コミュニケーションがうまくとれない。発達障害の1つ「アスペルガー症候群」の小学生の男の子の成長、教育の記録を通し、どうすれば個々の特徴にあわせた教育ができるのか考える。(2005年5月17日放送)	29
03 07 03	ハートをつなごう 大人の発達障害(1)	子どもの頃から周りと同じことができず、集団になじめないといった困難を抱えて生きてきた大人の発達障害者にとって、一番の悩みは「就労」だという。彼らの中には、仕事の能力があるにもかかわらず、人間関係やマネジメントがうまくできず、就労をあきらめる人も多い。コンピュータープログラマーとして働いていたアスペルガー症候群の青年のケースなどを例に挙げ、発達障害の特性にあった仕事のしかたを考える。	29
03 07 04	ハートをつなごう 大人の発達障害(2)	子どもの頃から周りと同じことができず、集団になじめないといった困難を抱えて生きてきた大人の発達障害者にとって、一番の悩みは「就労」だという。彼らの中には、仕事の能力があるにもかかわらず、人間関係やマネジメントがうまくできず、就労をあきらめる人も多い。コンピュータープログラマーとして働いていたアスペルガー症候群の青年のケースなどを例に挙げ、発達障害の特性にあった仕事のしかたを考える。	29
03 07 05	ハートをつなごう 大人の発達障害・就労(1)	働きたいのに働けないという悩みを持つ「大人の発達障害」の人たちが、就労するための壁は何か、どんな支援策があるのか、2回にわたりスタジオで思いを語り合う。	29
03 07 06	ハートをつなごう 大人の発達障害・就労(2)	働きたいのに働けないという悩みを持つ「大人の発達障害」の人たちが、就労するための壁は何か、どんな支援策があるのか、2回にわたりスタジオで思いを語り合う。	29
03 10 01	きょうの健康 子どもの行動が気になるとき(1) 場の雰囲気がかめない	場の雰囲気がつかむのが苦手で、対人関係がうまくいかなかったり、興味の幅が狭いなどの特徴をもつ「アスペルガー症候群」とよばれる子どもは、友だちから孤立したり、場違いな言動をして非難される事も多い。だが、社会的な行動パターンを身に着ける訓練や、周りの人が対応の仕方を工夫する事で、本人の困り度を減らせることが分かってきた。発達障害の中でも多い、アスペルガー症候群の特徴と、どう対処すればよいかをお伝えする。(2010年5月17日放送)	15
03 10 02	きょうの健康 子どもの行動が気になるとき(2) 落ち着きがなく衝動的	「注意力が続かない」「衝動的な行動が多い」などの特徴をもつADHD(注意欠陥/多動性障害)の子どもたちは、集団行動がうまく送れず、周りから非難によって自分に対する評価も低くなりがち傾向がある。ADHDへの対応は、「行動療法」「薬物療法」「環境改善」の3つを適切に組み合わせて続けることで、落ち着いて生活できるようになっていく。ADHDの子どもの特徴と対応策について、詳しくお伝えする。(2010年5月18日放送)	15

◆コード03◆ 障害児の発達・療育関係など

コード	題名	内容	時間(分)
03 10 03	きょうの健康 子どもの行動が気になるとき(3) 文字の読み書きが苦手	筋道立てて考えたり会話することは全く問題がないのに、「文字の読み書き」だけがきわめて苦手な子どもたちがいる。学習障害の中の「ディスレクシア(読み書き障害)」と呼ばれるもので、脳の中で文字をイメージに変換する機能がうまく働かないなどが原因。世界的にも多くの人がディスレクシアで困難に直面し、本来の能力を低く評価されることも多い。ディスレクシアの特徴や、工夫できる対応策について、詳しくお伝えする。(2010年5月19日放送)	15
03 10 04	きょうの健康 子どもの行動が気になるとき Q & A	「場の空気や他人の気持ちが読めず、対人関係がうまくいかない」、あるいは「落ち着きがなく衝動的な行動が多い」などによって、学校や社会生活に支障が有る場合「アスペルガー症候群」や「ADHD」といった発達障害と診断されることがある。子どもの発達障害について、その特徴的な行動や診断、治療や環境整備などの対処法について、視聴者の皆さんから寄せられたご質問・ご相談に、専門の医師がわかりやすくお答えしていく。(2010年5月21日放送)	15
03 10 05	福祉ネットワーク うちの子どもは世界一 ぼくと音楽のたのしい関係 ●字幕付	小柳拓人さん(16)は自閉症で落ち着きがなく集団行動や、家族とのコミュニケーションがうまくいかなかった。5歳で音楽教室に通わせると通常、子どもが苦手とする「同じことを反復練習する」といったことがピタリとはまりみるみる上達。音楽を通して場面に応じた行動をすることを次第に身につけていく。拓人さんの日常を紹介しながら、同年代の若者たちが自閉症や発達障害について正しく理解し、一人一人の個性を大切に生きていることを考える。(2010年1月27日放送)	29
03 13 01	きょうの健康 気になる子どもの発達障害 その原因は？	現在、発達障害と思われる子どもの数は、全国で約6.5%。40人クラスの場合、1クラスに2~3人いることになる。生まれつき脳の実行機能に異常があり、特徴的な言動が起こっていると考えられている。その症状が強いため本人や家族が困難を感じ、日常生活に支障がある場合、発達障害と診断される。大きく「広汎性発達障害」「注意欠陥多動性障害」「学習障害」の3つのタイプがあるが、それぞれの特徴などを紹介する。(2013年7月15日放送)	15
03 13 02	きょうの健康 気になる子どもの発達障害 どう向き合う？	「友だちとうまくつき合えない」「落ち着きがない」など、発達障害の子どもに見られる特徴的な行動は、通常の子どもにも見られる行動のため、「家庭のしつけで何とかできる」と思われがちで周囲の理解が得られにくい。しかし、生まれつき脳の実行機能に異常がある発達障害の場合、家庭・学校・医療機関などで適切な支援を受け、訓練をしないと理解できないことが多い。発達障害の特徴を理解し、向き合う方法を考える。(2013年7月16日放送)	15
03 13 03	きょうの健康 気になる子どもの発達障害 症状に合った治療	発達障害では、困っている行動や症状に合わせた環境作りや治療が大切だ。子どもができることを少しずつ増やし、上手に社会生活を送るための環境づくりの一環として、地域の自治体が「療育」というサポートを行っている。さらに、困っている行動や症状によっては、医療機関での薬物療法が効果的な場合もある。「療育」を受けるためには、どうしたらよいか、また、どんな場合に薬物療法が行われるのか、などを詳しく紹介する。(2013年7月17日放送)	15
03 15 01	すくすく子育て 発達障害？と思ったとき	言葉が遅い、集団行動が苦手、落ち着きがない、などの子どもの行動の原因に「発達障害」があることが知られてきている。発達障害が疑われる子どもに親はどのように接するのがいいのか？また「どうしてなかなか診断ができないの？」「お友だちに抱きついてしまう時にどう伝えたらいい？」などの悩みや疑問にも専門家が答える。さらにそういった特性を持つ子どもたちにも分かりやすい伝え方、周囲の大人が生活の中でできる工夫を考える。(2015年10月31日放送) (●字幕付き⇒コード番号:031551)	29
03 15 51	すくすく子育て 発達障害？と思ったとき ●字幕付	言葉が遅い、集団行動が苦手、落ち着きがない、などの子どもの行動の原因に「発達障害」があることが知られてきている。発達障害が疑われる子どもに親はどのように接するのがいいのか？また「どうしてなかなか診断ができないの？」「お友だちに抱きついてしまう時にどう伝えたらいい？」などの悩みや疑問にも専門家が答える。さらにそういった特性を持つ子どもたちにも分かりやすい伝え方、周囲の大人が生活の中でできる工夫を考える。(2015年10月31日放送) (○字幕無し⇒コード番号:031501)	29
03 18 01	ハートネットTV シリーズ 障害のある子どもと学校 第2回 発達障害	「他人とのコミュニケーションが苦手」「席に座ってられない」「文章を読むことが難しい」といった発達障害のある子どもたち。どうしたら一人一人の子どもが必要な支援を受けながら学ぶことができるようになるのか。番組に寄せられた声を元に、公立小中学校の通常学級の6.5%を占めるともいわれる発達障害児の教育について考える。(2017年05月03日放送)	29

◆コード03◆ 障害児の発達・療育関係など

コード	題名	内容	時間(分)
03 18 02	ETV特集 “いるんだよ”って伝えたい ～横浜・特別支援学級の子どもたち～	横浜市にある小学校の特別支援学級に密着。ここでは、発達障害などさまざまな理由で助けを必要とする子どもたちに、安心できる環境を整えてきた。ここで自己肯定感を育んだ子たちが、いつも緊張しながら足を運ぶのが、大人数の一般学級に参加する「交流」だ。交流をめぐる少年の喜びと葛藤、中学での進路に揺れながら交流へと向かう少女の日々を描く。また、ある出来事を機に、心の壁を取りはらおうとする支援学級と一般学級の子どもたちの成長を記録する。(2017年5月27日放送)	59
03 18 03	ハートネットTV 障害者殺傷事件から半年 次郎は“次郎という仕事”をしている	障害者殺傷事件から半年。事件で問われた“社会の中に障害者が存在する事の意味”について、番組に届いた一通のカキコミを元に考える。ある女性が重度知的障害のある息子「次郎」さんについてつつつたものだ。経済効率や生産性が重視され障害者は“お荷物”だという風潮が不気味に広がる中「健全者との間にある重い扉を開けること」が息子の「仕事」だと胸を張る。番組キャスターの山田賢治アナウンサーが親子の日常に密着する。(2017年01月26日放送)	29
03 18 04	ハートネットTV 障害と心の傷と ～見落とされた虐待～	これまで実態が明らかではなかった「障害児への虐待」。去年有志の医師たちが、全国の障害児入所施設を対象に行った調査結果を発表、入所前の子どもの3割が、家庭などで虐待を受けていた可能性を示した。障害がある子どもがネグレクトや虐待を受けた場合、どのような問題を抱えるのか？番組では、障害児入所施設にカメラを入れ、その実態と支援の現場を見つめると共に、親を虐待に結びつけないためのサポートについても考える。(2018年6月13日放送)	29
03 19 01	北の大地が育む少年たち ～北海道家庭学校の1年～	北海道遠軽町にある北海道家庭学校は、日本最古の民間の児童自立支援施設。さまざまな問題を抱えて家庭裁判所や児童相談所から送られてきた少年たちが、広大な土地で農作業を行いながら寮生活を送ることで自分を見つめ直し、社会復帰を目指す。親代わりの寮長・寮母のもと、規則正しい生活と、厳しくも温かい指導で「育て直し」されていく。衝突を繰り返しながらも、少しずつ成長していく少年たちの姿を長期取材で見つめる。(2012年3月29日放送)	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 03 01	福祉ネットワーク 障害者くらし情報 手のふれあい盲ろう者を支える ●字幕付 ※	視覚と聴覚、両方に障害のある「盲ろう者」は現在全国に1万3千人。触手話、指点字といったコミュニケーション方法や外出の際の介助の注意点、外出を支えるサービスなどを通じ、サポートのあり方を考える。(2015年4月14日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 03 06	福祉ネットワーク 障害者くらし情報 自立をめざして 障害者カップルの半年 ※	知的障害者グループホームで新婚生活を始めた夫婦がいる。職員のサポートを受けながら、自立を目指して社会に出て働けるように挑戦中。二人の日々を追い、障害者の結婚と自立に関するヒントを探る。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 04 07	福祉ネットワーク NHK障害福祉賞から (3)トモダチ ～由井美希依さん～ ※	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。応募作品の中から、ある同じ年の若者二人の交流物語を紹介する。「自閉症というハンディのある彼と、そうでない私。境界線はどこにあるのだろうか」(第39回NHK障害福祉賞応募者) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 04 13	福祉ネットワーク ともに生きよう あなたの知らない 点字ブロックの話 ※	視覚障害者が街を歩くときの支えとなる点字ブロック。「誘導」と「警告」の2つの意味をもつ。しかし街中には40種類以上もあり、視覚障害者が戸惑う事態が起きている。私たちの身近にある点字ブロックはどうして生まれ増えてきたのか紹介する。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 04 14	福祉ネットワーク アートで生きたい ～授産施設の挑戦～ ※	知的障害者をもつアートの可能性。その才能を生かして自立を目指すという日本初の授産施設が大阪に誕生した。その取り組みを見つめる。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 05 10	福祉ネットワーク シリーズ「働く」 (1)“在宅”で広がる障害者雇用 ※	通勤は難しいがパソコンの得意な障害者に向けて、ホームページ制作者を求める企業を紹介し、就職の橋渡しをしている人がいる。障害者の在宅就労の可能性とそれを支える人の役割を伝える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 05 11	福祉ネットワーク シリーズ「働く」 (2)中途障害者 職場復帰への道のり ※	働き盛りのサラリーマンが突然障害を抱えた時、復帰できるケースは少ない。視覚障害を負ったあるサラリーマンが復帰を果たすまでの4年間をレポート。障害者側、職場側それぞれに、どのような努力が求められるのかを考える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 05 12	福祉ネットワーク シリーズ「働く」 (3)二十歳の壁を乗り越えろ！ ※	二十歳の壁という言葉がある。重度の障害者たちが養護学校卒業後、仕事をするために周囲ができることは何か。重度障害者をめぐる就労の現実、働くことに喜びを見出す松永さんと家族の姿を伝える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 05 15	福祉ネットワーク NHK障害福祉賞 (1)頭がチーズだったから ※	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。脳性まひで学習障害がありながらも大手電機メーカーで英語のスペシャリストとして活躍中の杉田さんの作品。(第40回NHK障害福祉賞入賞者)(2005年12月5日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 05 16	福祉ネットワーク NHK障害福祉賞 (2)わが家のステキな個性 ※	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。笹森さん自身の、そして子どもの発達障害と向き合い、悩み、やがて受け入れ、親子で笑いあえるようになるまでを描いた作品。(第40回NHK障害福祉賞入賞者) (2005年12月6日放送) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 05 17	福祉ネットワーク NHK障害福祉賞 (3)障害者雇用での出会い ※	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。メーカーで知的障害者の指導員として、常識にとらわれず工夫をこらし、成果をあげてきた、中堀さんの実践記録。(第40回NHK障害福祉賞入賞者) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 01	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(1) ※	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。難病で肘から先しか体が動かない西村美紅さん(22)。ハンディを乗り越えて旅行会社に就職し、一人暮らしを始めた。新しい恋も見つけたという西村さんの「自立」への思いとは？(第41回NHK障害福祉賞入賞者) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 02	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(2) ※	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。知的障害の息子を持つ隈部浩美さんは「障害児の親もまんざらじゃない」と笑い飛ばす。しかしそう思えるまでには長い葛藤の日々があった。隈部さんを変えた夫の一言とは？(第41回NHK障害福祉賞入賞者) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 03	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(3) ※	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。元・看護師の藤村充さんは、28歳のとき駅伝大会で脳梗塞を起こし左半身まひに。以来周囲を気にしてぎこちなくなった友人との関係…。そこから立ち直るまでの軌跡を追う。(第41回NHK障害福祉賞入賞者) (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 04	福祉ネットワーク シリーズ 震災を忘れない(1) 調査が語る“震災遺児”の心 ※	震災遺児のこころのケアに積極的に取り組んできた「あしなが育英会」。この会では成人した遺児たちを中心にインタビューによる聞き取り調査を行った。悩み苦しんできた複雑なこころの軌跡があらためて明らかになる。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 05	福祉ネットワーク シリーズ 震災を忘れない(2) “要援護者”をどう守るか ※	障害者や高齢者といった災害時要援護者といわれる人々。阪神大震災や中越地震などそうした人々の安否確認や非難の遅れが問題となった。どうすれば要援護者を守る仕組みができるのかを検証する。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 10	福祉ネットワーク シリーズ 我がまちの福祉自慢(3) “縦割り”の壁を越えて～埼玉県東松山市～ ※	埼玉県東松山市では、身体・知的・精神の種別をこえたヘルパー派遣、相談事業を開始。障害者のために真に必要なものを提供するためにはどう考えるべきか。東松山の取り組みからみえてくるものを問う。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 11	福祉ネットワーク シリーズ 我がまちの福祉自慢(4) 共生ケアは地域を変える～富山県富山市～ ※	1993年、富山市で3人の看護師が開いたデイサービス施設「このゆびとーまれ」。特色は高齢者、子どもと一緒に過ごす「共生ケア」。リハビリなどにも大きな効果があるといわれている。行政を動かし、全国にも広がり始めた富山型デイサービスが投げかける課題を考える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 06 12	福祉ネットワーク 働くあなたを支えたい 長野県の精神障害者就業支援 ※	身体、知的、精神の3障害の中でも、精神障害者の就業は厳しい状況にある。長野県は全国で初めて3障害の支援窓口を一本化。精神障害者の就職が急増するなど成果をあげている。障害者自立の鍵となる就業のために何が必要なのか、その取り組みから考える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 13	福祉ネットワーク こくっば家の人々 ～発達障害の子どもと共に～ ※	発達障害の子どもをもつ親の間で評判になっているホームページがある。広島県尾道市に住む大和さよさんの子育て日記だ。そこには発達障害の子どもたちの成長を見守る家族がユーモラスに描かれている。その兄弟と家族の日々を追う。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 14	福祉ネットワーク 下町に座って32年 ～精神科医 浜田晋～ ※	精神科医・浜田晋さん(80歳)は、東京・下町の町医者として、精神障害をもつ人々と生きてきた。彼らを排除する「地域とは何か」を問う浜田さんに、精神科の診療室から見た地域とそこに暮らす人々の心の変ぼうを聞く。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 16	福祉ネットワーク バリアフリー探検隊 我慢できない！トイレの悩み(1) ※	道には点字ブロック、駅にはリストやエレベーター。すっかりなじみ深くなった“バリアフリー”。実際に利用する障害者にとっては数々の謎や疑問がある。もっとも多くの声が寄せられた「公共トイレ」をテーマに2回にわたって紹介する。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 17	福祉ネットワーク バリアフリー探検隊 我慢できない！トイレの悩み(2) ※	道には点字ブロック、駅にはリストやエレベーター。すっかりなじみ深くなった“バリアフリー”。実際に利用する障害者にとっては数々の謎や疑問がある。もっとも多くの声が寄せられた「公共トイレ」をテーマに2回にわたって紹介する。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 18	福祉ネットワーク “老老介護”の死角 ～名古屋からの報告～ ※	2005年7月、認知症の妻を介護していた夫が、妻を絞殺する事件が起きた。2006年1月、夫に執行猶予判決が下りたが、拘留所を出た直後に自殺。なぜ老夫婦は追い詰められ、最悪の選択に至ったのか。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 19	福祉ネットワーク 親の介護 息子たちの奮闘 ※	親の介護を働き盛りの息子が引き受けるケースが増えている。熟年離婚や未婚などその理由はさまざま。家族の介護のために仕事を辞めた男性は、年間2万人。8年前の倍である。変わりつつある日本の介護のかたちを伝える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 22	福祉ネットワーク 見えない世界を伝えたい 美術家 光島貴之さん ※	「手で触れて鑑賞するアート」など、オリジナリティーあふれる作品を発表し続けている美術家・光島さん。先天性緑内障のため10歳のとき失明した。“見える世界”と“見えない世界”をつなぎ、新しい表現の創造に挑む光島さんに、活動に込めた熱い思いをうかがう。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 06 26	福祉ネットワーク 忘れられない小さな命 ※	2002年、妊娠中や産後すぐに子どもを亡くした母親たちの体験を集めた本『誕生死』が刊行された。出版社には同じ体験をした人から多くの感想が寄せられた。癒えることのない悲しみを背負い続ける、孤独な母親たちの姿を浮かび上がらせる。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 06 28	福祉ネットワーク バリアフリー探検隊 障害者用駐車場が使えない！？ ※	障害者用駐車場に一般車がとまっています！車いすドライバーの悩みを受け、バックン・マックンが徹底調査。障害者が安心して使える駐車場にするための秘策とは？ (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 07 05	福祉ネットワーク ボクの生きる“自閉症の世界”	養護学校中学部に通う東田直樹くん(14)は、自閉症。コミュニケーションが苦手な話すことはできないが、パソコンや文字盤を使えば自分の思いを表現することができる。文字盤を介しての本人インタビューを交え、直樹くんの「心の声」を見つめる。	29
04 07 06	福祉ネットワーク “見えない”を乗り越えて 全盲教師・一井鳴海の挑戦 ※	小学校教師だった一井鳴海さん(31)は2年前、病気のため突然光を失った。「見えない」世界の現実を子どもたちに教えている中途失明者・松永信也さんとの出会いをきっかけに、もう一度教師として社会復帰を目指す決意をした一井さん。その挑戦の日々をみつめる。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 07 07	福祉ネットワーク 超低出生体重児 母親の悩みにどう応えるか？ ※	体重1000g未満で生まれる超低出生体重児が増えている。医学の進歩により日本では8割以上が救命できるようになったが、病気や障害を伴う場合も多く、退院後のサポートは必ずしも十分とはいえない。支援グループの活動を通して問題点と課題を探る。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 07 08	福祉ネットワーク あそんでくれてありがとう 障害を越えた子どもたちの交流	保育園と障害児施設が同じ敷地内に作られた全国的にも珍しい施設が山口県にある。障害者と健常者が共に生きる環境を子どもの頃から育みたいとの思いから、積極的に交流を行っている。障害の有無を超え共に成長していく子どもたちの姿を8ヶ月にわたって見つめる。	29
04 07 09	福祉ネットワーク ブラインドサッカーで世界を目指せ ※	視覚障害者が鈴の入ったボールで行う「ブラインドサッカー」。普段はつえや盲導犬を使って移動する人たちが、このフィールドでは自由に動き回り、激しくぶつかり合う。ブラインドサッカーの選手に密着し、障害者スポーツの魅力と仲間たちのきずなを見つめる。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 07 10	福祉ネットワーク 精神障害と社会(1) 社会的入院・失われた50年 ※	病気はよくなったのに、社会の受け皿がなく病院から出られない精神障害者は全国で7万人いるといわれている。そんな「社会的入院」を長年にわたって強いられてきた人たちの実態を伝え、精神医療が抱える構造的な問題点とこれからの方向性を探る。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 07 11	福祉ネットワーク 精神障害と社会(2) 病院を出て地域で暮らそう ※	障害者自立支援法の施策の一つとして打ち出された、「退院促進支援事業」は果たして機能するのか？入院患者の退院意欲を促し、徐々に地域での活動につなげていこうとする事業だが、まだまだ課題が多い。10年前から退院促進に取り組む団体取材し、その実態に迫る。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
04 07 12	福祉ネットワーク 74歳の女子高生 竹本登久子さんの挑戦 ※	視覚障害がある竹本登久子さん(74)は盲学校高等部の3年生。「どうしても盲学校で学びたい」と、かつては断念した学業の夢を72歳になって実現した。いくつになっても学ぶことは楽しい、学ぶことが人生を豊かにしてくれる。そんな竹本さんの姿をドキュメントで描く。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 07 21	福祉ネットワーク “里親”って知ってますか？	児童虐待の急激な増加などを受け、実の親と暮らせない子どもの数が増え続けている。そうした子どもを家族の一員に受け入れ、子育てに奮闘する里親の生活に密着。その姿から、里親制度が持つ可能性と必要な社会的サポートを考えていく。(2007年9月17日放送)	29
04 08 01	福祉ネットワーク 「見えない」をあきらめない	40歳で失明後、「視覚障害者の仕事といえばマッサージ」という現実に憤りを感じてきた松永信也さん(51)。目が見えなくても当たり前で生きられる社会を築きたいと活動を続ける松永さんの姿を通して、「社会の壁」に挑む視覚障害者の姿を描く。	29
04 08 02	福祉ネットワーク この人と福祉を語ろう 漫画家・西原理恵子 家族がアルコール依存症になったとき	去年、元・夫の鴨志田穰さんを看取った漫画家の西原理恵子さん。酒びたりだった夫と離婚、その後彼が「アルコール依存症」で治療の必要な病とわかった。鴨志田さんが治療を終え、家族の元へ戻った時には末期の腎臓がんに侵されていた。西原さんが病のパートナーと向き合った日々を振り返る。	29
04 08 03	福祉ネットワーク パラリンピックへの挑戦 金メダルに秘策あり ～シットینگバレーボール日本女子代表～	座った状態でバレーボールを行う「シットینگバレーボール」。下半身に障害のある12名の選手で編成された日本女子代表チームが、パラリンピック初出場を決めた。選手と監督に北京大会への意気込みを聞く。	29
04 08 04	福祉ネットワーク パラリンピックへの挑戦 無心でめざす北京のゴール ～高次脳機能障害の自転車レーサー～	7年前、交通事故により脳が傷つき、高次脳機能障害になった元競輪選手の石井雅史さん(34)。記憶障害を抱えながらも、家族や医師の支援を受け、再び自転車競技に取り組むようになった。北京パラリンピックで金メダルを目指す石井さんの姿を追う。	29
04 08 05	福祉ネットワーク 緊急点検 日本のセーフティネット シリーズ がん医療 第1回 病院に いられない	効率優先の医療改革による医療費抑制のなかで、病院は患者の在院日数を減らすことが至上命題となった。その結果、治る見込みのない末期がん患者が病院を出される事態が激増している。がん医療の課題と不備を、財政学者の金子勝氏がリポートする。(2007年9月10日放送)	29
04 08 06	福祉ネットワーク 緊急点検 日本のセーフティネット シリーズ がん医療 第2回 自宅で 過ごせない	国は、入院日数を減らす一方で、「在宅でのみとり」推進を打ち出した。しかし、痛みを和らげる緩和ケアをきちんと行える在宅医は少なく、自宅に戻された末期がん患者と家族は苦しんでいる。在宅での療養を支える医療や介護の体制をどう整えるのか？ 財政学者の金子勝氏によるリポートで伝える。(2007年9月11日放送)	29
04 08 07	福祉ネットワーク 緊急点検 日本のセーフティネット シリーズ がん医療 第3回 安心して 暮らすために	治る・治らないの二分法ではない患者本位の“あるべきがん医療”とは？ 自らもがん患者で医師の額田勲氏は、診断からみとりまで、つぎ目のないがん医療の仕組みの必要性を指摘する。財政学者の金子勝氏のインタビューで、現在のがん医療の根本的な問題を明らかにし、今後、何が必要かを考える。(2007年9月12日放送)	29
04 08 08	福祉ネットワーク ただ、歩く ～半身マヒの体で挑む四国300キロ の旅～	左半身に重い障害のある体で、四国300キロを歩く過酷な旅に挑む男性がいる。世田谷区に住む高橋良三さん(60)。2度の脳内出血に襲われ、しゃべることも、歩くことも自由にはできない。生きる希望を取り戻すため、ひたすら歩き続ける高橋さんの旅に密着する。	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 08 09	福祉ネットワーク パラリンピックへの挑戦(3) 一瞬の音をつかめ ～ゴールボール 日本女子代表～	パラリンピックアテネ大会で銅メダルに輝いたゴールボール日本女子代表チーム。視覚に障害のある3人の選手が、鈴入りのボールを転がし、相手ゴールに入れることを競い合うゴールボール。独自の守備に磨きをかけ、北京大会で金メダルを目指す。	29
04 08 10	福祉ネットワーク パラリンピックへの挑戦(4) 小さな巨人 三度目の挑戦 ～卓球・岡紀彦～	障害者卓球国内最高峰の大会で21連覇と、国内に敵なしの岡紀彦さん(43)。しかし、骨形成不全のため、身長が130センチメートルしかない岡さんは、過去2回のパラリンピックでは、体格の良い外国人選手の壁にはねかえされてきた。3度目のパラリンピック出場で、初めてのメダル獲得に挑む。	29
04 08 11	福祉ネットワーク 多重債務からの再出発 ～福岡「生活再生相談室」の取り組み～	「グリーンコープ生協ふくおか」では、一昨年「生活再生相談室」を開設。多重債務者支援に乗り出した。ここでは、債務整理のサポートだけでなく、生活の立て直しに必要な資金の融資まで行っている。相談に訪れる人々を通して多重債務の現実を描き、必要なサポートと、解決への糸口を探る。	29
04 08 12	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(1) ここにいたい 西岡奈緒子さん	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。筋ジストロフィーの女性が充実した仕事や結婚生活を送る姿を見つめると共に、中学時代などに悩み苦しんできた心のうちを語る。(第43回NHK障害福祉賞入賞者)	29
04 08 13	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(2) 私が笑えば 村野京子さん	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。左目を失明し、脳梗塞で右半身まひになった夫と、共に歩んできた妻の姿から夫婦のあり方を探っていく。(第43回NHK障害福祉賞入賞者)	29
04 08 14	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(3) 母の恩 友の恩 坂下信八さん	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。知的障害者施設にクラス60代の男性が少年の頃、自宅で母親や友人に教わった文字を使って丹念に表した人生史を紐解いていく。(第43回NHK障害福祉賞入賞者)	29
04 08 15	福祉ネットワーク この人と福祉を語ろう しあわせをデザインする アトリエインカーブ クリエイティブディレクター 今中博之さん	障害のあるアーティストが創作活動を行うための福祉施設「アトリエインカーブ」を率いる今中博之さん。アトリエインカーブを通して「社会をデザインしたい」と語る今中さんに、その展望と挑戦について話を伺う。	29
04 08 16	福祉ネットワーク 僕と福祉とファンキービート 和太鼓奏者・片岡亮太さん	力強いバチさばきと独特のリズム、圧倒的な太鼓パフォーマンスで観客をひきつける若き和太鼓奏者・片岡亮太さん(23)。プロとして活動を始めて2年目。局の合間に笑いを交えて話す“自身の障害体験”も人気の理由。社会福祉士の資格をもつ、片岡さんの活動と現在に至る軌跡を描く。	29
04 08 22	福祉ネットワーク 障害をこえ たすきをつなぐ	2008年11月、車椅子、知的障害、聴覚障害、視覚障害など、異なる障害のあるランナーたちが1つのチームとなって参加する駅伝大会が開かれた。障害の枠をこえて競い合う大会は、日本で初めての試み。静岡のチームを中心に取材し、異なる障害のある人々がふれあう日々を追った。	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 08 23	福祉ネットワーク もっと歌いたいぜ ～パーキンソン病と闘うロック歌手～	ロック歌手・梅原達也さん(47)。20代に元祖ビジュアル系バンドとして活躍したが、30代で若年性パーキンソン病を発病。いずれ音楽活動が不可能になると宣告された。「同じ病気の人たちを勇気付けたい」「病気への理解を広げたい」と、手足の震えや体の痛みと闘いながらステージに立ち続けている。歌い続ける梅原さんの日々を見つめる。	29
04 09 01	福祉ネットワーク 一粒の種 ～遺言から咲いた命の歌～	ある末期がん患者が残した最後の言葉「一粒の種になりたい」。この言葉をもとに「一粒の種」という詩が作られ、曲がつけられて2009年2月、CDが発売された。不治の病に苦しむ人、家族を失った人などから沢山の反響が届き、静かなヒットとなっている。様々な人の思いが込められた「一粒の種」その誕生までと、歌に寄せられる人々の思いを追った。	29
04 09 02	福祉ネットワーク 受け容(い)れる勇気をもって ●字幕付	28歳でギラン・バレー症候群を発症し、その後遺症のため中途障害者となった奥田哲生さん(41)。現在は塾講師として勉強だけでなく、生徒一人一人の悩みを聞き相談に応じる奥田さんだが、車いす生活するようになった当初は、なかなか自分自身の事を受け容(い)れることができなかったという。受容に至るまでの心の軌跡を追い、生徒たちに真摯に向き合おうとする奥田さんを見つめる。(2009年5月25日放送)	29
04 09 03	福祉ネットワーク 発達障害 歌で伝えるメッセージ	シンガーソングライター・うすいさとさんは、発達障害のある3人の子どものパパ。障害のために人とコミュニケーションを取ることが苦手で、誤解をうけがちな子ども達の心をユニークな歌に乗せて伝えようと奮闘する、うすいさんの姿をおう。	29
04 09 04	福祉ネットワーク 翔子、24歳 ～書道がくれた希望～	金澤翔子さん(24)は、書道界注目の若手書家で、幼い時にダウン症と診断された。翔子さんは、抽象的な概念を理解することが苦手で、書家の母親とともに試行錯誤を繰り返し、次第に周囲から高い評価を得るようになった。独自の世界を深めようと挑んできた親子の絆と、翔子さんの新たな挑戦の日々を伝える。	29
04 09 05	福祉ネットワーク この人と福祉を語ろう ～漫画家・中村ユキさん～	漫画家・中村ユキさんが「統合失調症」をテーマに描いた漫画が、6万部を超えるヒットになっている。母親はユキさんが4歳のときに統合失調症を発症した。父が家庭を顧みない人であったため、ほとんどは1人で母を支えてきた。統合失調症の現実と、回復のために必要なことについて、中村ユキさんにうかがう。	29
04 09 06	福祉ネットワーク この人と福祉を語ろう ～作家・南木佳士さん～	芥川賞作家で医師の南木佳士さんは、自身の医師としての「死」を見つめてきた体験や、長年うつ病を患い、自殺の衝動と闘ってきた日々を重ね合わせ、人生の生死や時の移ろいなどをみずみずしく描いてきた。うつや老いと向き合いながら、「人生の復路」について思索を重ねてきた南木さんに、じっくりと話を伺う。	29
04 09 07	福祉ネットワーク 全国制覇への道 ～浜松・盲学校野球部の挑戦～	視覚に障害のある人たちが行う野球、「グランドソフトボール」。毎年夏に行われる「全国野球大会」。東海地区代表として出場したのが、浜松視覚特別支援学校が2009年に初優勝を果たした。「全国大会で優勝」という1年越しの目標のために、選手たちがたくましく成長し、心をひとつにプレーする姿を紹介する。	29
04 09 08	福祉ネットワーク シリーズ統合失調症からの回復(1) ～早期発見 早期支援～	統合失調症の治療において、注目されている「早期発見・早期治療」。病気をできるだけ早く見つけて治療を開始し、回復の程度をよくしようという新たな取り組み、治療によって元気に大学生活を送っている学生の体験や、中学校を連携する三重県立こころの医療センターの取り組みなどを紹介する。	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 09 09	福祉ネットワーク シリーズ統合失調症からの回復(2) ～リハビリテーション～	統合失調症の治療において、注目されている「当事者研究」。治療を医師任せにするのではなく、本人が主体的に病気を知り、症状への対処法を探ることで、効果的な回復につなげようというもの。「当事者研究」を中心に、千葉県流山市のひだクリニックの取り組みを紹介する。	29
04 09 10	福祉ネットワーク NHKハート展(1) 「牛」	障害のある人が作った詩をもとに、各界で活躍する著名人がイメージを膨らませて、絵や写真などを仕上げる「NHKハート展」。視覚に障害がある40歳の女性の詩のタイトルは「タックルはおひさまのにおい」。夫と息子に囲まれてくらす女性の日々を描くとともに、この詩に墨書でメッセージを寄せた映画監督の河瀬直美さんに、詩の印象を聞く。	29
04 09 11	福祉ネットワーク NHKハート展(2) 「タックルはおひさまのにおい」	障害のある人が作った詩をもとに、各界で活躍する著名人がイメージを膨らませて、絵や写真などを仕上げる「NHKハート展」。視覚に障害がある40歳の女性の詩のタイトルは「タックルはおひさまのにおい」。夫と息子に囲まれてくらす女性の日々を描くとともに、この詩に墨書でメッセージを寄せた映画監督の河瀬直美さんに、詩の印象を聞く。	29
04 09 12	福祉ネットワーク ハルモニたちの教室 ～北九州・自主夜間中学の日々～	北九州の自主夜間中学で、日本語の読み書きなどを学んでいる在日韓国朝鮮人のハルモニ(おばあさん)たち。一人暮らしのハルモニに声をかけ、誘い合わせて夜間中学に通っている。歴史に翻弄(ほんろう)され日本語を学ぶことができなかった人たちが、今ようやく学ぶ環境を手に入れ、支えあいながら暮らす日々を見つめる。	29
04 09 13	福祉ネットワーク “社会的排除”を防ぐ(1) 「巣立ちのときを支える」	若者たちの巣立ちを支えるために必要なことを、2回のシリーズで考える。第1回は札幌にある高校の進路指導室が舞台。2010年春に卒業予定の高校生たちに対する求人激減。社会人としての長い人生のスタートラインに立つことも難しくなってきた若者たちの実態を伝え、社会全体で彼らをどうサポートしていけばよいか考える。	29
04 09 14	福祉ネットワーク “社会的排除”を防ぐ(2) 「再出発を支える」	第2回は「若者たちの自立支援」がテーマ。学校を出ても働くことができない。仕事についても「即戦力」としてこき使われ、つぶされてしまう。東京都三鷹市のNPOでは、こうした若者たちに生活訓練や技能実習、就労体験などのプログラムを行い、支援している。「子ども」から「大人」への移行をどう支えていけばよいか考える。	29
04 09 15	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(1) ●字幕付	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。秋田県在住の小山田弘佑さん(28)。軽度の知的障害がある小山田さん。長年受けたイジメや母親との死別などのつらい思いから、自殺未遂を繰り返してたが、書くことを通じて自分を見つめ直した体験を語る。(第44回NHK障害福祉賞入賞者)(2009年12月7日放送)	29
04 09 16	ハートをつなごう NHK障害福祉賞(2) ●字幕付	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。三重県在住の岡田くめ子さん(55)と娘の彩さん(27)。統合失調症を発病した彩さんが本当にしたいことを大切に、親はそれを後押しするかたちで、「回復」の道のりを歩んだ日々を語る。(第44回NHK障害福祉賞応募者)(2009年12月8日放送)	29
04 10 01	NHKハート・フォーラム 統合失調症を知る ～症状・治療・回復～	統合失調症は、100人に一人が発症するほど身近な病気で、適切な治療と対応によって回復する。そのためにも発症後、できるだけ早期に診断して治療を始めることが大切。症状や原因、薬物療法やリハビリテーション、再発予防、社会復帰等について、主に本人や家族向けに、専門家がわかりやすく解説したフォーラム。(NHK厚生文化事業団主催フォーラム・東京会場)(2010年1月31日に東京・よみうりホールで開催)	100

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 10 02	福祉ネットワーク 落語の中に世界が“みえた” ～桂 福点さん修行の日々～	2009年11月、全盲の落語家「桂福点」がデビューした。師匠は四代目・桂福団治さん。デビュー直後に上がった高座では、緊張で思うように話すことができなかった。2回目の大舞台に向けて師匠と特訓の日々をおくる。現在にいたるまで試行錯誤を繰り返してきた日々を追いながら、伝統芸能・落語の道を究めようとする福点さんの日々を描く。	29
04 10 03	ハートをつなごう 「若者のこころの病」(1) ●字幕付	若者のこころの病について2回シリーズで考える。統合失調症、うつ病など、心の病の多くは若いころにその芽があると言われ、早期に支援することの有効性は、精神医療界の世界的なトレンドになっている。第1回は、20歳で統合失調症と診断されたある女性の軌跡を振り返りながら、若者が“こころの病”を発症する背景に何があり、どうサポートしていけばいいのか、当事者の悩みや思いをじっくりと語り合う。(2010年6月30日放送)	29
04 10 04	ハートをつなごう 「若者のこころの病」(2) ●字幕付	若者のこころの病について2回シリーズで考える。統合失調症、うつ病など、こころの病の多くは若いころにその芽があると言われ、早期に診断することの有効性は精神医療界の世界的なトレンドになっている。第2回では、孤立しがちな若者たちが“つながる”ことの大切さとその意味について語り合う。(2010年7月1日放送)	29
04 10 05	福祉ネットワーク シリーズ 地域からの提言 第1回 地域みんなで子どもを育てる ～新潟県上越市～ ●字幕付	地域発の先進的な福祉政策を取り上げる新シリーズ。新潟県上越市では10年以上前から市営の保育園「ファミリーヘルプ保育園」を開設。従来の行政が対応しきれなかった市民のさまざまなニーズに応えている。どうしたらユニークで効果的な対策が実現できるのか、財政学者の沼尾浪子さんが検証する。(2010年3月29日放送)	29
04 10 06	ハートをつなごう NHK障害福祉賞 (1)あなたにとどけ!	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。インターネット上で、統合失調症に関するラジオ番組「こころらじお」を運営し、同じ病に悩む人たちをつなげる活動に取り組む江上幸さんの姿を紹介する。(第45回NHK障害福祉賞入賞者)	29
04 10 07	ハートをつなごう NHK障害福祉賞 (2)小さな音楽教室から	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。発達障害のある息子を育てる濱口ゆかさん。楽しみながらピアノを学べる、ユニークなレッスン方法を考えながら、息子の才能を引き出してきた子育ての記録を紹介。10年に渡り試行錯誤を続けてきた子育ての苦労と喜び、これからの夢について語る。(第45回NHK障害福祉賞入賞者)	29
04 10 08	福祉ネットワーク わたしたちの“回復” ～日本初 リカバリー・パレード～	2010年9月23日、東京・新宿の繁華街で、日本初の「リカバリー・パレード」が行われた。パレードを行ったのは、アルコールや薬物などの依存症、うつや統合失調症などの精神疾患といった、さまざまな生きづらさを抱えてきた人たち。「病気からの回復は可能であり、新しい生き方を手にすることが出来る」というメッセージを伝えたいと、およそ1年かけて準備してきた。生きづらさからの回復を信じ、パレードに挑んだ人々の日々を追う。	29
04 10 09	福祉ネットワーク シリーズ“障がい者制度改革” (3) 生き方を自分で決める	「障がい者制度改革推進会議」で1年かけて話し合われてきたことと、そこから見える課題を徹底解説する。障害者権利条約の中でも通底している、徹底した「本人中心の支援」とはどのようなものかを考える。先進的に取り組みを始めている石川県の社会福祉法人の例を参考に、障害者が人生の主人公になれる「本人主体の支援」変わりつつある支援のあり方を考えていく。	29
04 10 10	福祉ネットワーク 翔(と)べ！不死鳥JAPAN ～もう一つの“WBC”物語～	2010年11月、もう一つの“WBC”といわれる世界身体障害者野球大会が神戸で開催された。身体障害者野球を“WBC”にまで持ち上げた男は日本人、岩崎廣司さん。岩崎さんは障害に合わせルールをつくった。次第に白球を追いかける仲間が増え、世界規模にまで大きくなった。岩崎さん率いる不死鳥JAPANの日本代表22名の選手たちはそれぞれ様々な事情を背負いながら、社会の中で生計を立て、白球を追う者たちだ。生きる喜びを野球に見つけた人たちの熱い思いを描く。	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 10 11	福祉ネットワーク キラキラ40 “人づきあい”クライシス (1) ～大人の発達障害～	思春期の子ども、すれ違いが続く夫との関係、ママ友とのつきあいなど、40代女性は「人づきあい」に悩むことが多い。最近、そうした女性たちの中に、「実は、背景に、“発達障害”があることがわかった」という人が増えている。対人関係をうまく築くことが難しい発達障害と向き合いながら、自分らしい生き方を取り戻すにはどうしたらよいか。“人づきあい”クライシスから抜け出した女性たちの姿に、そのヒントを探る。	29
04 10 12	福祉ネットワーク キラキラ40 “人づきあい”クライシス (2) ～発達障害Q&A～	シリーズ2回目は、発達障害に関するQ&A。「発達障害のパートナーにどう接するとよいのか?」「うつ病など2次障害の乗り越え方は?」など、視聴者から寄せられた悩みや疑問について、専門家が答える。	29
04 10 13	福祉ネットワーク “光”からあなたへ 漫画家 戸部けいこさんが遺したものの	2010年1月、漫画「光とともに…」の作者・戸部けいこさん(52)が亡くなった。自閉症児・光(ひかる)を育てる母親を主人公に、子どもの問題行動への戸惑いや周囲の無理解に苦悩しながらも、親子が少しずつ成長してゆく姿を描き、「どの専門書よりもわかりやすく、現状をリアルに伝えている」と反響を呼んだ。発行部数は240万部以上。作品に寄せられた反響の声とともに、戸部さんが作品に込めた思いに迫る。	29
04 11 01	福祉ネットワーク “描くこと”を見つけた ～福岡・福祉施設 工房まるの 日々～	障害のある人々たちによる芸術作品が、私たちの身の回りでも存在感を増している。魅力的な作品が生まれる背景に、障害者のアート活動をサポートする施設が存在がある。福岡市にある福祉施設「工房まる」の、一人一人のメンバーの障害特性を作品づくりに生かすという活動と、日常を見つめ障害のある人がアート活動に託す思いを伝える。	29
04 11 02	福祉ネットワーク シリーズ 大人の発達障害(2) 漂流する若者たち	近年、「発達障害支援センター」では成人からの相談が急増。人間関係や就労に悩む発達障害の人たちの切実な声が寄せられている。「人とは何かが違う」と感じながら、周りに理解されず悩み続けてきた女性。職場の人間関係につまづき、うつ病に苦しんできた男性。発達障害への理解の不足から、「生きづらさ」を抱え行き場を失う日本の若者たちの現状を伝え、その背景を探る。	29
04 11 03	福祉ネットワーク NHKハート展・春(1)ダイエット	障害のある人が作った詩をもとに、各界で活躍する著名人がイメージを膨らませて、絵や写真などを仕上げる「NHKハート展」。今回の作詩者は、川江爽賀さん(16)。知的障害の爽賀さんは、冗談が大好きで明るい性格の人気者。でも、マイペースで甘いもの好き、ちょっと体重が…。「アイドルになりたい」とダイエットに挑戦する。音楽家、秦万里子さんが、食べ物と母娘の様子を柔かい色調の絵にし、さらにスタジオで、1曲ピアノのプレゼントを贈る。	29
04 11 04	福祉ネットワーク NHKハート展・春(2)里山めぐり	障害のある人が作った詩をもとに、各界で活躍する著名人がイメージを膨らませて、絵や写真などを仕上げる「NHKハート展」。横山博一さん(73)は妻の千代子さんとの思い出を詩にした。全盲の博一さんは、弱視の千代子さんと、しんきゅうマッサージの仕事をしながら3人の子どもを育てた。博一さんが日々、心のよりどころにしたのが詩を作ること。今回の詩は、妻が登場する数少ないもので、それには訳がある。スタジオには、切り絵画家・久保修さんが登場する。	29
04 11 05	福祉ネットワーク 東日本大震災3か月(4) 孤立を防げ ～石巻 聴覚障害者 はいま～	3月11日の東日本大震災の地震と津波で、聴覚障害がある人の中にも、家を失い避難所生活を続けている人や、浸水により家財が被害を受けた人、津波で破壊された工場から解雇された人などがある。宮城県石巻市が設置する手話通訳の活動を通して、被災した聴覚障害者が、何に困っているか、どんな支援を必要としているのかを伝える。	29
04 11 06	福祉ネットワーク 東日本大震災3か月(1) 働きたいけれど…～気仙沼 障害 者の就労はいま～	震災の復興で雇用が大きな問題となっているが、障害者は一層厳しい状況に置かれている。気仙沼市の支援学校の卒業生の多くは水産加工会社など地元の企業に雇用されていたが、震災後、大半が職を失った。ハローワークにはがれき撤去など一般の求人はあるものの、障害者を対象にした求人はない。特別支援学校の卒業生たちへの取材を通して、障害者が取り残されない為の復興の在り方を考えていく。	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 11 07	福祉ネットワーク 東日本大震災3か月(2) 介護施設が“消えた”町 ～石巻市 雄勝町～	宮城県雄勝町では、介護サービスを一手に担ってきた社会福祉法人が震災の影響で休業を余儀なくされている。特別養護老人ホームやデイサービスなど高齢者の生活を支えてきた介護拠点の機能が停止したことで身体機能が低下したり、認知症の症状があらわれるなどの影響が出始め、新たに要介護者となる人も相次いでいる。復興にあたって、高齢者にとってライフラインともいえる介護サービスを誰が担い、どう保証していくのかを考えていく。	29
04 11 08	福祉ネットワーク 東日本大震災3か月(3) 在宅高齢者はいま ～陸前高田・ 地域医療の行方～	地域の中核病院や診療所が壊滅的な被害を受けた陸前高田市。地元の開業医は、体が不自由な高齢者の自宅を回る訪問診療に力をいれ、住民の命を守り続けている。地域の中核病院でも、医師や看護師・理学療法士などがチームを組み、地域を回る訪問診療をスタート。陸前高田の医療者たちの姿を通して今後の地域医療を考える。	29
04 11 09	ハートをつなごう きょうだい ～障害のある人の兄弟 姉妹～ (1)抱えてきた“生きづらさ” ●字幕 付	障害のある人や、難病で長期闘病している人の兄弟姉妹は「きょうだい」「きょうだい児」と呼ばれ、成長の過程で悩みや葛藤を抱く人が多いといわれる。しかし、支援の対象として扱われてこなかった。甘えたいときに甘えられず、常に「良い子」で頑張ってしまう。成長の過程で抱える様々な課題を、当事者の皆さんとともに考えていく。その前編。(2011年9月28日放送)	29
04 11 10	ハートをつなごう きょうだい ～障害のある人の兄弟 姉妹～ (2)“自分を生きる”ために ●字幕 付	障害のある人や、難病などで長期闘病している人の兄弟姉妹は「きょうだい」「きょうだい児」と呼ばれ、成長の過程で悩みや葛藤を抱く人が多いといわれる。しかし、支援の対象として扱われてこなかった。甘えたいときに甘えられず、常に「良い子」で頑張ってしまう。成長の過程で抱える様々な課題を、当事者の皆さんとともに考えていく。その後編。(2011年9月29日放送)	29
04 11 11	ハートをつなごう 第46回 NHK障害福祉賞(1) 私の 家族 ●字幕付	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。最優秀賞を受賞した徳澤麻希さん。夫の勝也さんが交通事故で車いすの生活になり、麻希さんは、勝也さんの介助と2人の子どもの子育てに奮闘。夫の勝也さんは障害を抱えながら、子育てにどう関わったらいいのか悩んできた。困難に遭いながらも前向きに生きようとする一家の姿を紹介しながら、作品にこめられた思いを聞く。(第46回NHK障害福祉賞入賞者)(2011年12月28日放送)	29
04 12 01	福祉ネットワーク この人と福祉を語ろう 自分を見つ めさせてくれる宝物 ～女優 エッセイスト 室井滋～	幼い頃、男の子のような名前にコンプレックスを抱いていた女優の室井滋さん。去年、その体験を基に絵本「しげちゃん」を出版。名前に秘められた親の思いを知り、家族との別れをへて、今や名前は大切な宝物になった。認知症の祖母と2人で過ごした10代の頃の葛藤、女優の夢を抱いて東京の大学に進んだ頃の思い出などを伺う。	29
04 12 02	福祉ネットワーク シリーズ がん共存時代を生きる(1) リハビリテーション最前線	医療技術の向上から、がんになっても命が助かる人が増えている。一方で、がんや治療の「後遺症」に苦しむ患者も少なくない。そんな中、注目されているのが「がんのリハビリ」。手術の合併症を予防するために行うリハビリ、治療後の回復を早めるリハビリなど、さまざまな効果が報告されている。さらに、2010年度の診療報酬の改訂で「がん患者リハビリテーション科」が新設された。最新の取り組みを分かりやすく伝える。	29
04 12 03	福祉ネットワーク シリーズ がん共存時代を生きる(2) “リンパ浮腫難民”を救え	乳がんや子宮がんなどの治療の後遺症である「リンパ浮腫」は、発症率が高く、また症状が悪化すると生活に大きな支障が出るにも関わらず、日本では治療が普及してこなかった。2008年に患者たちの運動によって、一部の治療に保険適用が認められるようになったものの、専門の治療者が圧倒的に不足しているのが現状だ。人材育成に向けた新たな取り組みを交え「リンパ浮腫」の治療の現状と課題を伝える。	29
04 12 04	福祉ネットワーク この人と福祉を語ろう デザインで描 く生きる希望 ～建築家 伊東豊雄さん～ ●字 幕付	世界的な建築家の伊東豊雄さん(70)。東日本大震災によって暮らしや地域社会が奪われた被災者たち。伊東さんは震災直後から被災地に入り、「建築の力」でコミュニティーの復興再生を支援するために力を注いできた。多くの喪失を経験した被災者の心と生活を、デザインでどう後押ししようとしているのか、話を伺う。(2012年1月9日放送)	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 12 05	ハートネットTV 未来へのアクション 希望の教室 ～被災地の子どもを支える～	NPO代表の今村久美さん(32)は、宮城県女川町で教育委員会と連携して、被災した子供のための放課後の教室「女川向学館」を始めた。町の小中学生の1/3の195人が通う。教えるのは、津波で職をなくした地元で塾の教師や、全国から集まるボランティアたちだ。負の体験をプラスに変えていく居場所を作ろうと奮闘する今村さんの挑戦を伝える。	29
04 12 06	ハートネットTV 東日本大震災 “移動困難者”をどう支えるか	東日本大震災から1年3か月たった今も、高齢者や障害者の中で大きな課題となっているのが“移動”だ。宮城県石巻市で移動支援を専門に行うボランティア団体が、この1年間で送迎した被災者はのべ2万人を超える。避難所が閉鎖されても移動支援のニーズは一向に減らないという。行政の支援が行き届かない移動の問題をボランティアの活動を通して考える。	29
04 12 07	福祉ネットワーク 東日本大震災から1年(3) “復興格差”を生まないために	災害は、貧困や格差といった日本社会の抱えるさまざまな課題を浮き彫りにするといわれる。番組ではこの1年、障害者や高齢者ら“社会的弱者”と呼ばれる人たちが直面する困難や課題を伝えてきた。福祉基盤のせい弱性が浮き彫りとなる一方で、震災直後から当事者の目線に立った地道な活動も芽生え始めている。“復興格差”を生まないためには何が求められるのか、今後の地域福祉のあり方について考えていく。	29
04 12 08	ハートネットTV がん患者の心を支えるために ～福岡 デイホスピスの試み～	住み慣れた家で最期を迎えたいと願うがん患者を支援するため“市民手作りのデイホスピス”が福岡市に開設され、注目されている。ボランティアが作った料理を食べながら会話したり、絵手紙や生け花などの創作活動を通じて、患者が生きる意欲を得ていく。さらに毎年、患者とボランティア、医師と一緒に鹿児島島の屋久島を旅して、大切な思い出を作っている。デイホスピスでの日々を描く。	29
04 12 09	ハートネットTV NHKハート展 叱られたとき ●字幕付	障害のある人が作った詩をもとに、各界で活躍する著名人がイメージを膨らませて、絵や写真などを仕上げる「NHKハート展」。茨城県に住む遠藤真宏さんは、自閉症と知的障害があり、小さい時から自分の感情をコントロールできず、ほかの人とのコミュニケーションが苦手だった。工場で正社員として働き、給料日には親戚の子供たちにプレゼントを買ってあげるなど、大きな成長を遂げた遠藤さんの姿を紹介する。(2012年12月17日放送)	29
04 13 01	ハートネットTV Our Voices NHK障害福祉賞・認知症の妻とともに	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。47回目の今年は、認知症のある妻と自宅で暮らす様子をユーモラスにつづった佐賀県鳥栖市の篠原真さん(87)が大賞を受賞。「若い頃は家庭を全く顧みなかった」という真さん。今は妻と冗談を言い合ったり、歌ったりと若い時には築けなかった夫婦の関係を楽しんでいるという。夫婦の日常風景と作品に込められた思いを紹介する。(第47回NHK障害福祉賞入賞者)	29
04 13 02	ハートネットTV Our Voices NHK障害福祉賞・三人四脚	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。2歳で脳性まひと診断された福島県いわき市の蛭田真由美さん(51)は、自立できるようにと両親に厳しく育てられた思い出をつづり優秀賞を受賞。現在は、同じく脳性まひの夫と介護事業所を切り盛りする。子供時代から今までを振り返った作品を紹介するとともに、夫や両親と思いを語り合う。(第47回NHK障害福祉賞入賞者)	29
04 13 03	ハートネットTV シリーズ・発達障害の子どもとともに 第5回 きみが教えてくれた大切なこと ～シンガーソングライター・うすいまさと～	今回は発達障害のある子ども3人の父親、シンガー・ソングライターのうすいまさとさんのトークセッション。うすいさんが、長男に自閉症の疑いがあったのは4歳の時。強いこだわりや、思い通りにならないとパニックを起こすなど、不可解な行動をとる息子に、どう向き合えば良いか悩む日々が続いた。そんなうすいさんが、子どもから教えられた「大切なこと」とは！？スタジオでは、発達障害のある子どもへの応援歌も生演奏！	29
04 13 04	ハートネットTV NHKハート展 ～「書物」に～	障害のある人が作った詩をもとに、各界で活躍する著名人がイメージを膨らませて、絵や写真などを仕上げる「NHKハート展」。今回は、『「書物」に』の作者、駿河富子さん(61)を紹介。聴覚障害と不安神経症がある富子さんは、詩を書くことで、苦しい思いを昇華させてきた。番組では、富子さんの歩みや詩に込めた思いなどをVTRで紹介。スタジオには、富子さんの詩に、椎(しい)の古木の絵を寄せたノンフィクション作家・柳田邦男さんを迎える。	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 13 05	ハートネットTV シリーズ・発達障害の子どもとともに 第1回 親を支える	「発達障害者支援法」の施行から8年。早期発見・早期支援がうたわれ、「発達障害」という言葉は広がったが、理解や支援はまだ不足し、孤立して苦悩する親が少なくない。鳥取では4年前から「ペアレント・メンター」という事業をスタート。発達障害のある子どもを育てた親が、いま悩んでいる親の気持ちに寄り添い、具体的なアドバイスをする仕組みだ。発達障害のある子をもつ親が置かれた現状と、必要な支援を考える。	29
04 13 06	ハートネットTV シリーズ・発達障害の子どもとともに 第3回 大人になった私たち	発達障害のある子を育てる親の悩みの中で、最も大きなものの一つが「将来どうなるのか」だ。社会で自立するため、今何をすべきなのか。NHKが以前から取材してきた発達障害の子どもたちの“その後”を紹介。今は成人して社会に出て働いている本人と、その家族の姿を通して、支援も乏しかった時代を、どのようにサバイバルし成長していったのか、子ども時代に必要な支援について考える。	29
04 13 07	ハートネットTV シリーズ・発達障害の子どもとともに 第4回 Q&A	発達障害のある子どもと、その親を支えるヒントを探るシリーズの4回目。今回は、視聴者からいただいた質問に生放送で答える。「ほかの子との違いが気になるが、診断を受けるべきかどうか」「学校をどうするか」「自立に向けてできることは」…。スタジオには発達障害の専門家と当事者を迎え、それぞれの立場から答えていただくとともに、発達障害の子どもを育てるにあたり大切なことは何かを語り合う。	29
04 13 08	ハートネットTV 第48回NHK障害福祉賞(1) いつも前向きで 名取喜代美さん	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。肢体不自由と言語障害がある名取喜代美さんは、24時間体制でヘルパーの介助を受けながら一人暮らしをしている。かすかに残された指先の機能を使ってインターネットで食料や日用品を買い物したり、友人にメールを出したり…。名取さんの生き生きとした暮らしと共に、彼女の原動力となっている両親との思い出を、手記を元に紹介する。(第48回NHK障害福祉賞入賞者)	29
04 13 09	ハートネットTV 第48回NHK障害福祉賞(2) 神様の弟子と暮らす 三上洋子さん	障害のある人や、その家族などのすぐれた体験手記に贈られる「NHK障害福祉賞」。3年前、50歳にして、重度の知的障害がある長女の麻衣さんを含む4人のお子さんがある慎二さん(50)と再婚、自身の2人の娘とあわせて6人の母親となった三上洋子さん(53)。番組では、母親として麻衣さんの障害に向き合う三上さんの日常を取材。三上さんが夫や子どもたちと、ゆっくり築き上げてきた新しい家族のカタチをみつめる。(第48回NHK障害福祉賞入賞者)	29
04 14 01	ハートネットTV NHKハート展 オレの挑戦	障害のある人が作った詩をもとに、各界で活躍する著名人がイメージを膨らませて、絵や写真などを仕上げる「NHKハート展」。19回目を迎えた今年の入選作を紹介。脳性まひのある尾下翔太さん(15)は去年、初めて車いすハーフマラソンに挑戦し、見事完走。その時の思いをつづった詩「オレの挑戦」が入選作に選ばれた。翔太さんの日常をVTRで紹介しながら、心の成長過程を描く。	29
04 14 02	ハートネットTV NHKハート展 ホーホー	障害のある人が作った詩をもとに、各界で活躍する著名人がイメージを膨らませて、絵や写真などを仕上げる「NHKハート展」。19回目を迎えた今年の入選作を紹介。ダウン症の信田静香さん(10)はフクロウが大好き。フクロウの気持ちになって書いた初めての詩「ホーホー」はどのようにして生まれたのか。静香さんの日常をVTRで紹介しながら詩の生まれた背景を探り、静香さんの豊かな感性に触れる。	29
04 14 03	ハートネットTV NHKハート展 お願い	障害のある人が作った詩をもとに、各界で活躍する著名人がイメージを膨らませて、絵や写真などを仕上げる「NHKハート展」。19回目を迎えた今年の入選作を紹介。先天性筋ジストロフィーのため、自力ではほとんど体を動かせない河津実幸さん(27)。お願いしなければ何もできない—それでも将来の夢を描こうと歩み続ける実幸さん。詩「お願い」に込められた思いを見つめる。	29
04 14 04	ハートネットTV NHKハート展 バッタのかんさつ	障害のある人が作った詩をもとに、各界で活躍する著名人がイメージを膨らませて、絵や写真などを仕上げる「NHKハート展」。19回目を迎えた今年の入選作を紹介。病気で4歳の時に両目の視力をほぼ失った大谷春登くん(8)。盲学校の授業でつづった詩「バッタのかんさつ」は、去年の夏、バッタの足に触った時の感触を素直な言葉で表現した。毎日が発見に満ちあふれる春登くんの姿を紹介する。	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 14 05	ハートネットTV シリーズ 変わる障害者支援(3) みんな“一芸”の人になる ～農業に挑む障害者たち～	松山市に全国から注目を集める障害者の就労支援施設がある。ほとんどの人に比較的重い障害があるにも関わらず、農業を使わない自然栽培に挑み、年間100種類もの農産物を作っている。脳性まひで手先しか使えない人は種取り、細かい作業が苦手な人は鶏の世話など、障害の特性や個々の性格を見極め、「できる仕事」を見つけ出している。誰でも自分の“一芸”が持てる農場で、少しずつ成長していく障害者たちの姿を伝える。	29
04 14 06	ハートネットTV シリーズ 子どもクライシス 第3回 ある地域の挑戦	さまざまな困難を抱え、家にも学校にも居場所を見つけられない子どもたちに、どうすれば「自信」を取り戻してもらおうことができるのか。京都府のNPO「山科醍醐こどものひろば」では、学生ボランティアがマンツーマンで子どもたちに向き合い、学習支援や日常の相談に乗ることで、子どもたちの心のうちに変化が現れ始めている。子どもたちの将来を支える活動、その最前線をレポートする。	29
04 14 07	ハートネットTV シリーズ 変わる障害者支援(1) 私のことは私が決める ●字幕付	今年1月に政府が批准した障害者権利条約。中でも注目されている理念の一つが、“誰もが自分のことを自分で決められる社会”の実現だ。シリーズ「変わる障害者支援」。第1回は、当事者からわき起こる自己決定を求める声を紹介。更に、“自分のことを自分で決められる社会”の実現に向け、国をあげて取り組みを進めるイギリスのケースを紹介。自分の人生を自分の決断によって切り開くことの大切さを見つめる。(2014年12月2日放送)	29
04 14 08	ハートネットTV シリーズ 子どもクライシス 第2回 失われゆく“居場所”	大阪市の子どもの家事業の一環で50年にわたり地域の子どもの成長を見守ってきた山王こどもセンター。深刻ないじめや不登校など、問題を抱えた子どもの駆け込み寺となってきた同センターが、いま深刻な危機に直面している。大阪市の巨額の財政赤字削減のため、子どもの家事業を廃止することにしたのだ。子どもたちの居場所を守るために奔走するスタッフや子どもたちの苦闘の日々に密着。	29
04 14 09	ハートネットTV シリーズ 変わる障害者支援(2) あなたの決断を支えたい ●字幕付	2014年1月に政府が批准した障害者権利条約。中でも注目されている理念の一つが、“誰もが自分のことを自分で決められる社会”の実現だ。シリーズ「変わる障害者支援」、第2回は、知的障害や精神障害、認知症などによって、自分の力だけでは自分のことを決められない人たちに対して、どのような支援を行えば、自己決定を実現できるかについて考える。(2014年12月3日放送)	29
04 15 01	ハートネットTV 第20回NHKハート展 質問に答えて	障害のある人が作った詩をもとに、各界で活躍する著名人がイメージを膨らませて、絵や写真などを仕上げる「NHKハート展」。今回はポリオにより右足に障害がある奥津博士さん(65)の詩を紹介。幼少期はいじめられたが、母親や妻など周りに支えられ人生を切り開いてきた。今や、小学校時代の同級生も歳をとり、体を動かさなくなつた。そんな姿と自分の障害を重ね、思いを詩につづつたという。ゲストは詩に絵をつけた漫才師・宮川大助さんと、相方の花子さん。	29
04 15 02	ハートネットTV 第20回NHKハート展 たんぽぽ	障害のある人が作った詩に著名人がアート作品を寄せるNHKハート展。今回は荒木明日香さん(18)の「たんぽぽ」を紹介する。1才の時、全身に火傷を負った明日香さん。定期的に皮膚の移植手術を受ける必要があるため、熊本市内の医療施設で暮らしを続けてきた。紫外線を浴びると皮膚がんになる恐れがあり、外出がほとんどできない彼女にとって一番の楽しみは窓から外の景色を眺めること。小さな発見にあふれた日常を見つめる。	29
04 15 03	ハートネットTV 第20回NHKハート展 飼育員になった自分へ	障害がある人が作った詩と、著名人の絵や写真などのコラボレーション「NHKハート展」。今回は平岡沙希さん(13)の詩を紹介する。沙希さんは、軽度の知的障害と発達障害があり、怒ったり喜んだり、感情の起伏が人一倍激しい女の子。今回応募した詩「飼育員になった自分へ」は、学校の授業で将来の夢について考えた時に作ったもの。水族館の飼育員になりたいという夢のため努力する沙希さんと周囲で支える先生たちの日々を追う。	29
04 15 04	ハートネットTV もう一度 立ち上がる ～NHK障害福祉賞50年～	今年50年の節目を迎える、障害のある方やその支援者の手記を集めた「NHK障害福祉賞」。過去に入賞した人々を訪ね、その後の人生を振り返る。栗木宏美さん(57)は、四肢に障害がありながらも、二人の娘の母として充実した生活を送っていた。しかし7年前、転倒事故により、体がほとんど動かせない状態に。やりきれない思いと向き合いながら、障害者のための施設作りに挑戦している栗木さん。常に前へ前へと進む生き方を描く。	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 15 05	ハートネットTV NHK障害福祉賞2015 それからの日々	佐賀県に住む堤万里子さん(66)が記した、統合失調症の兄との日々をつづった手記を紹介する。万里子さんは、精神を病んで45年近く療養生活を送ってきた兄・靖紘さんを引き取って一緒に暮らし始めた。徐々に家ででの生活に慣れ、気になっていた症状が落ち着いてきた兄。初めての海外旅行などさまざまなことを経験しながら、残りの人生を穏やかに送ろうとする万里子さんと兄の日々をみつめる。	29
04 15 06	ハートネットTV 私らしい“自立” ～NHK障害福祉賞50年～ ●字 幕付	50年の節目を迎えた「NHK障害福祉賞」。障害のある方やその支援者の手記を集めた「NHK障害福祉賞」。過去に入賞した人々を訪ね、その後の人生の歩みを振り返る。脳性まひのため、全身の自由が利かない林芳江さん(52)。障害を克服し健常者に近づくよう教えられて育ったが、20代で挫折を経験し、社会での自立を諦めかけていた。しかし、地域で生き生きと暮らす他の障害者たちとの出会いに動かされ、自分らしい生き方を模索していく。(2015年12月21日放送)	29
04 15 07	ハートネットTV エンジンの鍵みつけた ～発達障害とのはざままで～ ●字 幕付	加藤優衣人さんは、感情を思うようにコントロール出来ず友達との関係がうまくいかなくなり、中学への進学をきっかけに不登校の子どもを専門に受け入れる全寮制の学校を見つけて入学した。しかし様々なトラブルを繰り返してしまう。そこで、教師や周りの大人たちが、彼が本来持っている力を引き出そうと取り組み、あることがきっかけで加藤さんはたくましく成長していく。何が少年の閉ざされた心の鍵を開けたのかを追った密着ドキュメンタリー。(2015年9月9日放送)	29
04 16 01	ハートネットTV シリーズ 東日本大震災から5年(3) 「帰還、されど…～福島・障害者福祉は今～」	東日本大震災で被災した障害者や高齢者の復興に向けた歩みをたどる3回シリーズ。第3回は、福島の被災地の障害者福祉。今ここでは、障害者の帰還が本格的に始まっている。富岡町から施設ごと群馬県に避難した知的障害者の施設や、いわき市へ避難した楡葉町の事業所も帰郷を目指している。だが、長期避難による職員不足など、多くの壁が立ちちはだかる。現場の思いを通し、原発の被災地における障害者福祉の課題を見つめる。	29
04 16 02	ハートネットTV シリーズ 東日本大震災から5年 (2) 悲しみとよこびと～仙台・認知症グループホーム～	東日本大震災で被災した障害者や高齢者の復興に向けた歩みをたどる3回シリーズ。第2回は、津波によって、入居者7人の命を奪われ、無念の思いを抱えながら再建を目指してきた認知症グループホームの5年を見つめる。未だ地震の恐怖におびえたり、現在と過去の記憶がいたり来たりするお年寄りたち。どうしたらその人らしく、穏やかな暮らしを取り戻せるのか？ スタッフと認知症のお年寄りたちの再生に向けた日々を伝える。	29
04 17 01	バリバラ～障害者情報バラエティー～ 東日本大震災から5年(1) 障害者の主張	東日本大震災からまもなく5年。震災では障害者の死亡率が健常者の2倍にのぼったと言われるが、バリアフリーな地域づくりは進んだのか。番組では2回シリーズで被災地からお届けする。第1回は仙台市に障害者プロレス団体のメンバーをはじめさまざまな障害のある人たちが集結！「もっと外に出たい！」「避難タワーにスロープをつけて！」など、なかなか思いを発することができずにいるという東北の障害者たちの主張を伝える。	29
04 17 02	ハートネットTV NHKハート展 詩とアートの展覧会 「オオカミ男」「てんてん」	障害のある人がつづった詩とアート作品との展覧会「NHKハート展」。ひとりひとりの世界がみずみずしい感性で表現されている。富山市在住の山田温志さん(19)の「オオカミ男」という詩。難治性てんかんを発症している温志さんと、見守る両親との日々から生まれた。家族とは？ つながりとは？ ともに考える。	29
04 17 03	ハートネットTV シリーズ熊本地震 また、取り残されるのか～障害者支援・東 俊裕さん～	支援から取り残された障害者を支えるため立ち上がった「被災地障害者センターくもと」では、障害者からのSOSの電話がなりやまない。自らも被災し、身体障害がある事務局長の東俊裕さんは、災害の中で障害者が取り残される状況は、東日本大震災の時と何ら変わっていない、と憤る。背景には、ふだんから孤立している現実があり、東日本大震災の教訓が生かされていないと言う。障害者が地域から孤立しないために何が必要か考える。	29
04 17 04	ハートネットTV NHK障害福祉賞 ヘン子の手紙～伊藤議代さん～	障害のある人の体験記を募集するNHK障害福祉賞。今年の最優秀賞に輝いた伊藤議代さん。「ヘンな子」と呼ばれ続けた一人の女性が、苦勞の末に見つけた本当の幸せとは。	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 17 05	ハートネットTV NHK障害福祉賞 今を大切に～渡邊勝子さん～	障害のある人など体験記を募集するNHK障害福祉賞。今年の受賞作を紹介。高次脳機能障害を負った息子と介護に奮闘する母。介護に追い詰められていく親子を救ったものとは。	29
04 18 01	ハートネットTV シリーズ 相模原障害者施設殺傷事件 言葉はなくとも 重度知的障害のある人たち	容疑者が「意思疎通ができない人たちを刺した」と語った相模原市の障害者入所施設「津久井やまゆり園」での殺傷事件。被害にあったような人たちは、どのような日常を送っているのか。コミュニケーションが難しい子どもたちが少しずつ成長し、穏やかに暮らすための「療育」に取り組む施設。重度障害がある人の「意思」を毎日の細かな反応からすくい取る地域支援の現場など、言葉に頼らないコミュニケーションで心を通わせあう人たちの姿を見つめ、「いのちの尊さ」について考える。(2016年12月7日放送)	29
04 18 02	ハートネットTV シリーズ 罪を犯した発達障害者の再出発 第1回 少年院の現場から	近年、刑務所や少年院といった現場で「発達障害」が注目されている。発達障害に対する理解や支援が社会の中で不足する中、不適応や「問題行動」を止められず、犯罪に至ってしまう人が多くいることが分かってきた。発達障害者の再出発のために何が必要なのか。シリーズ第1回は、少年院の現場から考える。(2017年05月30日放送)	29
04 18 03	ハートネットTV シリーズ 罪を犯した発達障害者の再出発 第2回 出所、そして社会へ	罪を犯した発達障害者の中には、刑務所や少年院をでた後も、障害への適切な支援を受けられず、結果として再び罪を犯す人も少なくない。どうすれば再犯を防げるのか。シリーズ第2回は、刑務所や少年院から出た後、社会へ復帰するための支援について考える。(2017年05月31日放送)	29
04 18 04	ハートネットTV 行けなかった「学校」を撮る ー木造校舎カメラマン・角皆尚宏ー	不登校を経験した過去を背負い、日本全国の木造校舎を記録し続ける写真家・角皆尚宏さん(27)。小学生の頃から15年かけて、1200校を超える学校を訪ねてきた。校舎の撮影を通して行けなかった「学校」と再び向き合い、新たな一歩を踏み出そうとする角皆さんの心の軌跡をたどる。(2017年06月06日放送)	29
04 18 05	ハートネットTV 広がる「農福連携」 ～新しい地域のカタチ～	人手不足の農家と、低賃金に悩む障害者。この両者が手を結ぶ「農福連携」と呼ばれる取り組みが、いま注目を集めている。障害者の雇用を始めたことで、売り上げを拡大し続けている農家。自ら農地を借り受け主体的に農業に取り組む福祉事業者などが集まり、農福連携の現状と課題について考える。(2017年7月11日放送)	29
04 18 06	ETV特集 亜由未が教えてくれたこと	去年7月26日、相模原市の障害者施設で入所者ら46人が次々と刺され、19人が亡くなった。逮捕された男は「障害者は不幸を作ることしかできない」と言った。NHK青森でディレクターをしている僕の妹・亜由未は、犠牲者と同じ重度の障害者。障害者の家族は不幸じゃないと伝えたくて、妹にカメラを向けることにした。亜由未に対して抱く家族それぞれの思いを、僕は何も知らなかった。介助を通じて向き合った1か月の記録。(2017年7月22日放送)	59
04 18 07	ETV特集 つかさ18歳 人生を取り戻したい ～被虐待児 2年間の記録～	児童養護施設で育った司さん(18)は、9歳のとき継父から虐待を受けた。そのときの心の傷や親に愛された実感のないことが、大人への不信感となって、将来を模索する18歳の行く手をさえぎる。そのたびに司さんは、施設の職員に支えられ、少しずつ自立への道を歩んでいく。そしてこの春、施設を旅立つ司さんは、母と向き合うことになる。「母にわだかまりはないのか」と職員に問われた司さんは、秘めていた思いを語り出す…。(2016年06月18日放送)	59
04 18 08	ハートネットTV NHK障害福祉賞2017 第1回 障害と視線 個性と夢 ～ 佐々木 杏夏さん～	障害のある人や共に歩む人の体験談を募集した『NHK障害福祉賞』。愛知県の中2年生、佐々木杏夏さん(14)は、脳性まひにより、車いすで生活している。小学生の頃は自由に歩ける友達に嫉妬し、「自分は特別でかわいそうな存在」と言い聞かせて過ごしていた。中学で特別支援学校に進学し、ある友人との出会いをきっかけに、「障害は個性だ」と考えるようになった。言語聴覚士になる夢に向かって進み始めた佐々木杏夏さんの姿を描く。(2017年12月19日放送)	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 18 09	ハートネットTV シリーズ 東日本大震災から7年 7年がたってもなお… ～石巻・孤 立する人たちを見捨てない～	東日本大震災からまもなく7年。1万8千人超の犠牲者が出た未曾有の大災害で、とりわけ深刻な被害を受けた人たちが、高齢者や障害者、幼い子どもや女性など、いわゆる“災害弱者”と呼ばれる人々。震災直後から支援を続けてきた石巻市の「からころステーション」は被災者のもとに出向き、関係を継続しながら、なかなか声に出せない悩みに寄り添うスタンスを重視している。震災から7年が経ち、さらに重要性を増す「孤立させないこと」への取り組みを見つめる。(2018年03月06日放送)	29
04 18 10	ハートネットTV NHKハート展 「生まれたての文字」	障害のある人が書いた詩に、各界の著名人がアート作品を寄せる、「NHKハート展」。今回、紹介する詩は『生まれたての文字』。詩を書いた関根晴美さんは、1年前に患った病気の影響で、首から下にまひがあります。心に浮かぶ不安やモヤモヤを「文字にしたい」と思い、わずかに動く手でノートに詩をつづてきました。「文字にすると気持ちが少し軽くなる」という関根さん。詩にどのような思いを込めたのか、取材しました。(2018年04月17日放送)	29
04 18 11	ハートネットTV NHKハート展 「雑さの裏にある愛情」	障害のある人が書いた詩に、各界の著名人がアート作品を寄せる「NHKハート展」。今回紹介する詩は、『雑さの裏にある愛情』。詩を書いたのは、愛媛県今治市に住む矢野三代子さん(39)。筋力が徐々に低下していく進行性の難病で、寝たきりの生活を送っています。そんな三代子さんを支えてくれるのが、近くに住む母親の千加子さん。愛情いっぱいであっぴり“雑”な母への思いと、三代子さんの日常を見つめます。(2018年05月16日放送)	29
04 18 12	ハートネットTV NHKハート展 おまつり	障害のある人が書いた詩に、各界の著名人がアート作品を寄せる「NHKハート展」。今回紹介する詩は、『おまつり』。詩を書いたのは、茨城県石岡市に住む瀬尾敦大くん(8)。生まれつき関節が硬く筋肉が弱いため、立って歩くことが困難で、なかなか自由に動き回ることができない。そんな敦大くんが大好きなのが、毎年9月に行われる「石岡のおまつり」。年に一度のおまつりを心待ちにする敦大くんの日常を見つめる。(2018年05月15日放送)	29
04 18 13	ハートネットTV シリーズ 東日本大震災から7年 誰が助ける？どう助ける？～高齢 者・障害者の“個別避難計画”～	東日本大震災では死者の6割以上を高齢者が占め、障害者の死亡率は全住民の2倍に達した。その後、国は全国の自治体に、要支援者一人一人について、誰が、どこへ、どのように避難させるか具体的に書き込む「個別避難計画」の策定を推奨したが、思うように進んでいない。自主避難が難しい障害者や高齢者はどうすればいいのか？地域の取り組みにヒントを探る。(2018年3月5日放送)	29
04 18 14	ハートネットTV シリーズ 精神障害者と働く 「働き続けるために」	2018年4月、法定雇用率の算定に精神障害者が加わり、民間企業は2.2%に引き上げとなる。精神障害者の就労・雇用を特集するシリーズ第1回は、就職よりもハードルが高い「定着して働き続けること」。背景にあるのは、当事者と企業、双方の準備不足とずれ違い。当事者は、自分の障害特性や配慮事項の把握が難しい。企業は、障害の見えにくい精神障害者への配慮がわからない。定着のために何が必要か、当事者と企業の双方から考える。(2018年4月3日放送)	29
04 18 15	ハートネットTV 地域で暮らすということ ～西日本豪雨 被災した障害者～	7月に西日本の広範囲を襲った豪雨。中でも課題を突きつけられたのは町の大部分が水没した岡山県倉敷市真備町。亡くなった51人の大半が高齢者や障害者など自力避難が難しい人々だった。番組では命を落とした知的障害を持つある母子の辿った道のりを振り返る。見えてきたのは地域で暮らしても、実は福祉だけが支えていた暮らし。避難を助けてくれる近所の人はいなかった。障害者が地域で暮らすとはどういうことなのか考える。(2018年10月30日放送)	29
04 18 51	ハートネットTV シリーズ 相模原障害者施設殺傷 事件 言葉はなくても 重度知的障害のある 人たち ●字幕付	容疑者が「意思疎通ができない人々を刺した」と語った相模原市の障害者入所施設「津久井やまゆり園」での殺傷事件。被害にあったような人々は、どのような日常を送っているのか。コミュニケーションが難しい子どもたちが少しずつ成長し、穏やかに暮らすための“療育”に取り組む施設。重度障害がある人の“意思”を毎日の細かな反応からすくい取る地域支援の現場など、言葉に頼らないコミュニケーションで心を通わせあう人々の姿を見つめ、“いのちの尊さ”について考える。(2016年12月7日放送)(○字幕無し⇒コード番号:041801)	29
04 18 52	ハートネットTV シリーズ 罪を犯した発達障害者の 再出発 第1回 少年院の現場から ●字 幕付	近年、刑務所や少年院といった現場で「発達障害」が注目されている。発達障害に対する理解や支援が社会の中で不足する中、不適応や“問題行動”を止められず、犯罪に至ってしまう人が多くいることが分かってきた。発達障害者の再出発のために何が必要なのか。シリーズ第1回は、少年院の現場から考える。(2017年05月30日放送)(○字幕無し⇒コード番号:041802)	29

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 18 53	ハートネットTV シリーズ 罪を犯した発達障害者の 再出発 第2回 出所、そして社会へ ●字幕付	罪を犯した発達障害者の中には、刑務所や少年院をでた後も、障害への適切な支援を受けられず、結果として再び罪を犯す人も少なくない。どうすれば再犯を防げるのか。シリーズ第2回は、刑務所や少年院から出た後、社会へ復帰するための支援について考える。(2017年05月31日放送)(O字幕無し⇒コード番号:041803)	29
04 18 56	ETV特集 亜由未が教えてくれたこと ●字幕付	去年7月26日、相模原市の障害者施設で入所者ら46人が次々と刺され、19人が亡くなった。逮捕された男は「障害者は不幸を作ることしかできない」と言った。NHK青森でディレクターをしている僕の妹・亜由未は、犠牲者と同じ重度の障害者。障害者の家族は不幸じゃないと伝えたくて、妹にカメラを向けることにした。亜由未に対して抱く家族それぞれの思いを、僕は何も知らなかった。介助を通じて向き合った1か月の記録。(2017年7月22日放送)(O字幕無し⇒コード番号:041806)	59
04 19 01	ハートネットTV WEB連動企画“チエノバ” これだけは知ってほしい！聴覚障害 の悩み ●字幕付	今回は「みんなの手話」「ろうを生きる難聴を生きる」ともコラボし、聴覚障害者の悩みについて考える。当事者が、当事者以外の人に向けて言いたいことは何か。「これだけは知ってほしい」という意見を募集、紹介する。中心とするテーマは、聴覚障害者が日々悩んでいる「コミュニケーション」について。電話が使えない悩みなど、当事者の“生の声”をピックアップ、解決策を探る。またパラリンピックを目指す選手を紹介する。(2015年6月25日放送)	29
04 19 02	アニメ×パラスポーツ「アニメ×パラ」 (1)ブラインドサッカー(2)パラ陸上競技 (3)車いすテニス (4)ゴールボール (5)車いすラグビー	アニメや人気アーティストとのコラボでパラスポーツの魅力を描くプロジェクト。第1弾はブラインドサッカー。描くのは「キャプテン翼」の作者、高橋陽一。ブラインドサッカーのだいご味を、アニメならではの表現を駆使して描く。(2017年11月10日放送)第2弾は、パラ陸上競技。描くのは「ツルモク独身寮」の作者で、イラストレーターでもある窪之内英策。片足を失った少女が義足のアスリートに成長していく物語を、繊細な絵のタッチで詩情豊かに描く。(2017年11月10日放送)第3弾は「車いすテニス」。世界のトッププレーヤー・国枝慎吾がアニメになって登場！Eテレで放送していたアニメ「ベイビーステップ」の主人公・丸尾栄一郎(声・村田太志)と対戦する。(2018年08月26日放送)第4弾「ゴールボール」には、アニメ『こちら葛飾区亀有公園前派出所』が登場！型破りな警官・両津勘吉とおなじみのキャラクターたちが、ゴールボール日本代表と対戦する。(2018年11月17日放送)第5弾に登場するのは「車いすラグビー」。コラボするのは『あしたのジョー』を生み出したマンガ界の巨星・ちばてつやによるオリジナルキャラクター。(2018年12月15日放送)	25
04 19 03	ETV特集 生き抜くという旗印 ～詩人・岩崎航の日々～	仙台在住の詩人・岩崎航さん。“生き抜くこと”をテーマに五行の詩をつづる。全身の筋力が衰えていく難病・筋ジストロフィーを患い、生活の全てに介助を必要とする。かつて病を受け入れられず自殺を考えたが、ありのままの自分の葛藤を詩で表現し、人とつながることが生きる喜びとなっていた。しかし東日本大震災を経て、詩を書く意味を見失ってしまう…。生きるとは何か。静かな創作の日々を見つめ、心の世界を描く。(2016年4月30日放送)	59
04 19 04	ハートネットTV シリーズ 平成がのこした“宿題” 「災害弱者」	平成の終わりに残された課題を整理し、提言へとつなげるシリーズ。なぜ「被災の格差」が消えないのかを考える。阪神・淡路大震災、東日本大震災など数多くの災害が起きた平成。避難や復興から取り残される高齢者や障害者など「災害弱者」が顕在化した。国は支援が必要な人の名簿作成に着手し、差別解消にも取り組んだが、平成が終わる今も問題は解決していない。悲劇を繰り返す社会の課題とその解の端緒を探る。(2019年3月6日放送)	29
04 19 05	ETV特集 静かで、にぎやかな世界 ～手話で生きる子どもたち～ ●字幕付	子どもたちが目をキラキラさせながら、手話で教科書にある「春のうた」を朗読。声はない。でも“静かな朗読”を見ていると、早春の爽やかな風が頬を撫で、いぬのふぐりのちっちゃな花々が目の前に咲き乱れる。全国のろう学校では長年、聞こえる人が大半の社会に適応することが重視されてきた。しかし明晴学園は“ろう”のまま生きることを大切に。子どもたちの“静かで、にぎやかな世界”と卒業生が見た社会に“目”を傾ける。(2018年5月26日放送)	59
04 19 06	クローズアップ現代+ 乳がんを乗り越える！	急増する「乳がん」。今や11人に1人がかかると言われる。一方、医療の発達で生存率は上昇。このことは、再発や転移の不安を抱えながら、長期にわたり、乳がんと共に生きることを意味している。今回、SNSなどを通じて募集した声には、乗り越えるヒントがあった。みんなで乳がんを学び、母を支える家族。最新医療で子どもを授かった女性。彼女たちを取材することで見える秘策とは？専門医の知見や最新の医療情報も交え、乳がんにつきあう生き方を考える。(2018年10月15日放送) ※2019年10月現在、乳房再建で使用されるアラガン社の人工インプラントに関しては自主回収が行われており、番組制作時と状況が異なります。詳しくは日本乳癌学会HPをご覧ください。	25

◆コード04◆ 障害福祉・児童福祉など

コード	題名	内容	時間(分)
04 19 07	NHKスペシャル 自閉症の君が教えてくれたこと	重度の自閉症である東田直樹さんは、人と会話をすることはできないが、文字盤を使えば豊かな表現力を発揮する。世界的にもまれな存在である。24歳になり、プロの作家となった東田さんは今、自閉症のみならず、さまざまなハンディを抱える人たちがどう幸せを見つけていけばいいのか、エッセイや小説を書いている。前回の番組後、ガンを患い、自らもハンディを抱えることになったディレクターの視線で描く感動のドキュメンタリー。(2016年12月11日放送)	49
04 19 08	ありのままの最期 末期がんの“看取(みとり)医師” 死までの450日	始まりは2年前の12月。末期のすい臓がんで余命わずかだと宣告された医師がいると聞き、取材に向かった。田中雅博さん(当時69)。医師として、僧侶として終末期の患者に穏やかな死を迎えさせてきた「看取りのスペシャリスト」だ。これまで千人以上を看取った田中さんの「究極の理想の死」を記録しようと始めた撮影。しかし、次々と想定外の出来事が…。看取りのスペシャリストが見せてくれたありのままの最期、450日の記録。(2017年9月18日放送)	50
04 19 09	ハートネットTV シリーズ「子どものSOSの“声”」 「大人が聴き逃さないために」	子どもが発したSOSをどうすくい取れるのかを考える、シリーズ「子どものSOSの“声”」。本作では、虐待などで児童相談所に保護された子どもたちがそれまでの過程でどんな声を出したのか、当事者の声に耳を傾ける。さらに、子どもの意見を聞く仕組みが十分に保障されていないと指摘される日本で、子どもの声を聴く人を増やそうと模索する児童相談所を取材。日々変わる子どものSOSを逃さないための仕組みも紹介する。(2019年5月7日放送)	29
04 19 10	アニメ×パラスポーツ「アニメ×パラ」 (6)視覚障害者柔道(7)パラサイクリング(8)パラバドミントン	パラスポーツの魅力や、様々なコラボとともにアニメで伝えるプロジェクト。第6弾は「視覚障害者柔道」。全盲や弱視の選手たちが、組み合った手の感覚で相手の姿勢や動きを察知しながら技を掛け合う。コラボしたのは、リアルでわかりやすく柔道を描いた“帯をギュッとね！”を代表作に持つマンガ家・河合克敏。柔道を愛する少女が試練と向き合い成長していくストーリーを取材を元に書き下ろした。(2019年3月3日放送)第7弾は人気の自転車アニメ「弱虫ペダル」とのコラボで「パラサイクリング」を描く。様々な障害に応じた多様な種目があり、通常の2輪自転車だけでなく3輪自転車や2人乗り自転車なども使用される自転車競技。実在のパラサイクリング選手・川本翔大がアニメキャラとなって、小野田坂道と競い合う。(2019年7月20日放送)第8弾は『風夏』など、様々な人気ラブコメ作品で知られるマンガ家・瀬尾公治によるオリジナルストーリー。大きく分けて立位と車いすがあるパラバドミントンの中から、車いすバドミントンを取り上げる。主人公の翼と幼なじみの龍之介の関係性に注目！恋愛要素が盛り込まれた異色の作品、どんな展開を見せるのか？(2019年11月12日放送)	15
04 19 11	目撃！にっぽん せかいに1つだけの石けん	いま人気の、果物を模した色鮮やかな石鹸。小田原市の工場での石鹸を作るのは、全員が障害のある人たちだ。障害や個性も異なれば、仕事の理解度も人それぞれ。しかし得意なことを生かし、新たな仕事に次々と挑戦。個々が成長するとともに、ビジネスとしても成功している。従業員と真剣に向き合う神原会長、「彼らは生きることと真剣で、働く事に貪欲でひたむき」と語る。石鹸作りが教えてくれることは…。その日々を見つめる。(2019年8月18日放送)	34

◆コード05◆ 高齢者福祉、介護、認知症関係

コード	題名	内容	時間(分)
05 02 05	にんげんゆうゆう シリーズ「失語症・回復への道」 (1)ことばを取り戻す ※	脳梗塞などが原因で失語症になり、文字を見てもその意味がわからない、言いたいことが出てこない…失語症とは何か、回復する可能性はどこまであるのか、最前線を追う。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 02 13	にんげんゆうゆう 転ばない体づくり ※	転倒しそうな時に大事なことは、体を立て直す一歩の踏み出しを、スムーズにすること。ストレッチや筋トレなど必要最小限の体づくりのほか、眠っている反射神経・敏しょう性などを回復させる運動法を紹介する。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 03 01	福祉ネットワーク シリーズ「わが家で介護が始まった」 ・ベッド周りでこんな工夫 ※	初めて介護を経験することになった家族がスムーズな一歩を踏み出してもらいたいシリーズ。介護のツボは「寝返りのマスター」、介護保険講座は「申請書を出すときに」、介護リフレッシュ体操は「転ばぬ先の簡単筋トレ」。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 03 02	福祉ネットワーク シリーズ「わが家で介護が始まった」 ・ベッドから起き上がる ※	起こす作業というのは介護の中で一番の重労働。そこで介護のツボは、体重移動のポイント「ベッドから起き上がる」、介護保険講座は「調査員がやってくる！」。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 03 03	福祉ネットワーク シリーズ「わが家で介護が始まった」 ・毎日をさっぱりキレイに ※	介護のツボは「毎日をさっぱりキレイに」。お風呂に入れない場合でも、部分的に分けて1日がかかりで全部がきれいになる方法を紹介。また、寝たままの洗髪方法や先輩家族が「脱ぎ着が楽なパジャマの作り方」を伝授。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 03 04	福祉ネットワーク シリーズ「楽しい食事は元気の源！」 ・おいしい食事は姿勢から ※	正しい食事姿勢のとり方などを紹介。体格に合うテーブルやイスを使う必要性にも触れる。本人に対して周りの道具のほうを合わせることも大事。介護保険講座は「ケアプランを立てるときに」。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 03 05	福祉ネットワーク シリーズ「楽しい食事は元気の源！」 ・かみやすく飲み込みやすい料理の作り方 ※	介護食の主流はきざみ食。しかし高齢者には評判が悪い。そこで、フレンチシェフの力を借り、8年がかりで開発したソフト食が登場。おいしそうな形を保ちつつ、飲み込みやすい調理法。レシピも紹介。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 03 08	福祉ネットワーク めざせ介護の達人 わが町でいきいき介護 ・商店街パワーで施設に居酒屋開店(東京都) ※	入所者に家で暮らしていたときと同じような生活を。老人ホーム「きたざわ苑」では、近所の北沢五丁目商店街のおかみさんたちの協力のもと月1回施設内で居酒屋を開店。その取り組みを紹介。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 03 09	福祉ネットワーク めざせ介護の達人 着替えラクラク！ 着替えスムーズ おしゃれな介護術 ※	腕のまひで袖を通すことができない等の理由から、今まで着ていた服をあきらめ、パジャマを着せたままの介護家族が少なくない。機能と見た目を兼ね備えた介護服や、お気に入りの服のリフォーム技を伝授。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29

◆コード05◆ 高齢者福祉、介護、認知症関係

コード	題名	内容	時間(分)
05 04 09	福祉ネットワーク シリーズ・脳卒中 復帰への道(2) 三たびの出血を乗り越えて ～元医師・後遺症との闘いの記録～ ●字幕付 ※	『壊れた脳 生存する知』という本がある。著者は40歳にして3度の脳卒中に見舞われ、記憶や感情のコントロールができない後遺症が残った。「からっぽになった脳を少しずつ埋めていく成長のしなおいの記録！」とある著者の6年間の足跡を振り返りながら、脳卒中で後遺症をかかえた人の、その後の生き方を見つめる。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 04 11	福祉ネットワーク 国際アルツハイマー病協会・京都會議から ・こんなケアを受けてみたい ※	会議では、先進的な取り組みをしている4つの団体が表彰された。この4つの団体の活動から、地域で取り組むケアについて、私たちに何ができるかを考える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 04 12	福祉ネットワーク めざせ介護の達人 ショッピングセンターで楽しく介護 ※	ショッピングセンターの2階に、NPO法人によって運営されているデイサービス施設がオープンした。しかし中を見るとあるのは机といすだけ。ショッピングセンター全体をデイサービス施設だと思ってやっていると語る所長。どんな試みか尋ねた。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 05 01	福祉ネットワーク めざせ介護の達人 シリーズ 認知症の介護 (1)変化に“気づく”には？	160万人もの人が苦しんでいる認知症。最初のハードルは、周囲の家族が症状の始まりを見定められないこと。放置された結果、症状が悪化してしまうケースが多い。気をつけるべき兆候など、ポイントを紹介。	29
05 05 02	福祉ネットワーク めざせ介護の達人 シリーズ 認知症の介護 (2)早期診断 どこに？どうやって？	兆候に気づいたら次は早期診療。どの段階で病院に相談すればいいか。何科を受ければいいのか。また「自分は大丈夫」と思っているため、本人を病院に連れていくのが困難な場合も多い。診療前・診療時に知っておくべきポイントを紹介。	29
05 05 03	福祉ネットワーク めざせ介護の達人 シリーズ 認知症の介護 (4)妄想	ある調査によると、4人に1人が「被害妄想的な言動」で認知症に気づいたと言う。アルツハイマー病では、初期に「物盗(と)られ妄想」がしばしば起こり、介護者への心理的負担も大きい。再現ドラマをもとに、専門家に具体的な対処法を聞く。	29
05 05 04	福祉ネットワーク めざせ介護の達人 シリーズ 認知症の介護 (5)はいかい	鍵をかけるなどの対策もあるが、相手の気持を思いやらないと、かえって事態をこじらせることも。地域を巻き込むことが必要になる場合もある。対処法のヒントを、専門家がさまざまな角度から提案。	29
05 05 05	福祉ネットワーク めざせ介護の達人 シリーズ 認知症の介護 (6)排せつ	認知症の症状がかなり進むと見られる「尿失禁」に始まる排泄の失敗。この症状が起きると、家族・本人のプライドは大きく傷つく。しかし初期ならば、工夫次第で予防も可能。再現ドラマをもとに、対処法について詳しく解説。	29
05 05 06	福祉ネットワーク めざせ介護の達人 シリーズ 認知症の介護 (7)制度を使い負担を減らす	介護者の心身の負担を減らすための、介護サービスの上手な利用法を紹介。在宅介護を担う女性たちの重圧を減らす有効な手だてが“公的サービスの利用”である。そのノウハウを先輩の介護家族や専門家に聞く。	29

◆コード05◆ 高齢者福祉、介護、認知症関係

コード	題名	内容	時間(分)
05 05 07	福祉ネットワーク めざせ介護の達人 シリーズ 認知 症の介護 (8)介護者の心のケア	介護が長引くにつれ疲労で倒れたり、心を病んでしまう介護者も少なくない。そうならないためにはどうすればいいのか？どうすれば心のゆとりを生み出せるのか？介護者が心も体も元気で過ごせるための情報をお届けする。	29
05 05 08	福祉ネットワーク シリーズ あなたが選ぶ介護施設 (1)どう違う？サービスと費用 ※	民間企業参入により、有料老人ホーム、少人数でのグループホームが次々と誕生。一方、特別養護老人ホームでも個室・ユニット化が進んでいる。介護施設を利用しようとする人は、何を基準に選べばよいか。選択のポイントを考えていく。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 05 09	福祉ネットワーク シリーズ あなたが選ぶ介護施設 (2)認知症になった時 ※	進む介護施設の多様化。介護施設を利用しようとする人は、何を基準に選べばよいか。認知症の人のための施設の選び方を考えていく。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 06 01	福祉ネットワーク シリーズ 認知症をみつめる(1) “下宿”暮らし 笑いケンカで効果 あり	札幌市の木村美和子さんは、認知症のお年寄りが暮らす「高齢者下宿」を営む。知人からの依頼で認知症のお年寄りを預り、ご本人の希望でそこの生活が始まってしまったからだ。認知症の人たちと木村さん家族の共同生活を追い、認知症の人たちの暮らしを考える。	29
05 06 02	福祉ネットワーク シリーズ 認知症をみつめる(2) “その人らしいケア”を求めて～認知 症ケアマッピング～	認知症の人の行動を6時間かけて観察し、5分ごとに記録する「認知症ケアマッピング」。その結果から「地図を読むように」認知症の人の性質がわかるという。イギリスで開発されたこの方法を使って、その人にあった「良いケア」とはどんなものか考え、具体的に改善につなげる方法を紹介。	29
05 06 03	福祉ネットワーク シリーズ 認知症をみつめる(3) 手探りで始まった“ピック”病のケア	認知症の中でも特に症状が激しく、大声をだしたり、手をあげてさわいだりするピック病。医師や介護する人たちも対応に苦労している。原因は感情を抑える前頭葉に障害が起きるためだ。あまり知られることなかったその実態と治療・ケアのあり方を紹介する。	29
05 06 04	福祉ネットワーク 認知症 その人の心に寄りそう ～精神科医 小澤 勲～	精神科医・小澤勲さんは、20年以上前から認知症の人の言動に、一つの物語を読み取ろうとしてきた。認知症と診断された本人向けに本を書き、本人が直面する疑問や不安に一つ一つ答え、病気とどうつきあい、どう生きるかを示してきた。	29
05 06 05	福祉ネットワーク 認知症を生きる 元町長と家族の300日(前編)	北海道北竜町の元町長・一関開治さんは、在職中にアルツハイマー病と診断され、若手町長として期待を背負いながら無念にも辞任した。症状は進み変わりゆく自分、失われゆく記憶…。その恐怖と闘いながら過ごす開治さんを追う。(前編)	29
05 06 06	福祉ネットワーク 認知症を生きる 元町長と家族の300日(後編)	北海道北竜町の元町長・一関開治さんは、在職中にアルツハイマー病と診断され、若手町長として期待を背負いながら無念にも辞任した。症状は進み変わりゆく自分、失われゆく記憶…。その恐怖と闘いながら過ごす開治さんを追う。(後編)	29

◆コード05◆ 高齢者福祉、介護、認知症関係

コード	題名	内容	時間(分)
05 07 03	福祉ネットワーク なるほど！なっとく介護(1) イス・ベッドからの立ち上がり	介助で無理に立ち上げようとして腰を痛める人は多い。日常何気なくしている動作をもう一度見直し、「立ち上がりの生理的曲線」に沿った、ほとんど力を必要としない介助法をお伝えする。	29
05 07 04	福祉ネットワーク なるほど！なっとく介護(2) 寝返り	ずっと同じ姿勢で寝ていると皮膚や筋肉が崩れ、ただれてくる“褥瘡(じよくそう)”が起こる。褥瘡を防ぐには“寝返り”をし、「寝たきり」にならないことが大切だ。“ゴソゴソ”と動かせる力を最大限に引き出しながら“その人にできる寝返り”を考えていく。	29
05 07 05	福祉ネットワーク シリーズ 認知症(1) 訪問診療専門医の現場から～認知症と薬を考える ※	かつて「絶望の病」とされた認知症は、医療やケアの進歩により「サポート可能な障害」になった。認知症の訪問診療専門医・木之下徹さんの活動を追い、認知症の薬を通して、医師と患者、その家族の関係を考える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 07 06	福祉ネットワーク シリーズ 認知症(2) 見過ごされてきた認知症 ※	アルツハイマー病に次いで多いと言われるまでになったレビー小体型認知症や、若年認知症で多く診断されるようになってきたピック病について、病気の特徴、ケアの仕方、治療法などを、専門医が視聴者からの質問に答える形で分かりやすく解説していく。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 07 07	福祉ネットワーク 公開すこやか長寿 ウォーキングで体力づくり ※	生活のための「歩行」から、健康体力づくりのための「ウォーキング」へと運動効果を高めるにはどうしたらよいか。歩幅、速度、運動強度などを科学的に解説し、簡単にできる脚力強化法や、身の回りの物を使った歩行法などを紹介する。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 07 08	福祉ネットワーク なるほど！なっとく介護(3) ～起き上がり～ ※	寝たきりの人でも、握手をして痛くらい握り返せば起き上がれるだけの筋力が残っている。「起き上がりの生理的曲線」に沿った無理のない起き上がり方を、私たちが日ごろ無意識に行っている日常動作をヒントに考えていく。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 07 09	福祉ネットワーク なるほど！なっとく介護(4) ～床からの立ち上がり～ ※	日常生活に何も支障のないお年寄りでも、床から立ち上がるのは案外難しい。力のある若者の立ち上がり方とは少し違う、高齢者や片まひの人にもできる床からの立ち上がり方を考えていく。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 07 10	福祉ネットワーク シリーズ 認知症(2) ～“かかりつけ医”が暮らしを支える～ ※	“認知症”の人の在宅生活を支えるために必要な、医療と介護の連携。“認知症”の人と家族の暮らしを守るために、医療はなにができるか？その一つのモデルとして、“かかりつけ医”のサービスを取り入れた尾道市医師会の取り組みを紹介する。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
05 07 11	福祉ネットワーク シリーズ 認知症(3) ～早期発見で先手をうつ～ ※	医療技術の進歩により、“認知症”は顕著な症状が現れる前に診断が可能になりはじめている。しかしその一方で、精神科に対する抵抗感などから、なかなか病院を受診せず、手遅れになるケースが少なくない。そのため、健康診断のなかに認知症テストを盛り込む試みをはじめた病院もある。“認知症”の早期発見による治療の道筋や課題など、最新情報を伝える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29

◆コード05◆ 高齢者福祉、介護、認知症関係

コード	題名	内容	時間(分)
05 08 01	福祉ネットワーク 公開すこやか長寿 腰の痛みを予防する	高齢者にとって、腰の痛みは腹部から腰部・脚部の筋肉の衰えに起因する事が多い。特に、腰掛けたままの生活が長い現代社会では、運動量が少なく、それだけ脚部の筋肉が固形化し、腰の湾曲を促進する。その仕組みを解説しながら、腰痛予防の運動を紹介する。	29
05 08 02	福祉ネットワーク なるほど！なっとく介護(11) あきらめない！口から食べるための調理法	「やっぱり食事は口から食べたい」。ひとりでも多くの方に「口から食べる喜び」を味わってもらいたい。そのための調理法の紹介。「元気」だから「食べられる」ではなく、「食べる」ことにより「元気」になる。その目安となったのは、食べ物を食べやすい順にランク分けすることだった。	29
05 08 03	福祉ネットワーク なるほど！なっとく介護(12) 楽しみたい！目で味わう嚥下美食	「口から食べる」の応用編。食事は、単なる栄養補給でない。「食べる楽しみ」のためにひと手間かけた、人気の「チラン寿司」と「おはぎ」の作り方を紹介。見た目美しく、食欲をそそる、絶対覚えたい美食メニュー。	29
05 08 04	福祉ネットワーク なるほど！なっとく介護(13) ケアの基本！便秘と脱水の予防法	夏の大敵「脱水」、そして高齢者に多い「便秘」、この2つの予防法を紹介。排泄の仕組みをCG映像で再現、地球との引力とのかかわりを解説している。そして便秘解消に効果のある「五目ひじきゼリー」や脱水予防に最適な「すいかゼリー」の作り方も紹介。	29
05 08 05	福祉ネットワーク なるほど！なっとく介護(14) とっても大切！口腔ケア	口腔ケアとは単に口の清掃をして、虫歯や歯周病を予防するだけでなく、口が行う全ての機能維持、向上する為のケア。高齢者かかえる介護者の立場に立ち、歯ブラシの使い方や選び方、口の中のケア方法をアドバイスする。	29
05 08 06	福祉ネットワーク なるほど！なっとく介護(15) 言語障害を考える① 構音障害	まひ性構音障害と向き合って生活している御夫妻をスタジオに招き、デイサービスでの仲間とのコミュニケーションの様子を取材。また、絵や文字で気持ちを伝えることができる絵本やボタンを押せば機械がしゃべる特別な機器を紹介。	29
05 08 07	福祉ネットワーク なるほど！なっとく介護(16) 言語障害を考える② 失語症	人によって異なる失語症の特徴を知るとともに、相手と視線を合わせ、相手の発言に話の接ぎ目を見出しながら考えを引き出す傾聴法など、本人が意思表示しやすい具体的なコミュニケーション方法をお伝える。	29
05 08 08	福祉ネットワーク なるほど！なっとく介護(17) 脳卒中を生きる① ～同名半盲と空間失認～	脳卒中の後遺症の中でしばしば見られるにもかかわらず、なかなか理解されず、ケアも難しい「同名半盲」と「空間失認」について取り上げる。視覚障害の原因を解説し、ケアのノウハウを伝える。	29
05 08 09	福祉ネットワーク なるほど！なっとく介護(18) 脳卒中を生きる② ～失行・失認と性格変容～	脳卒中により脳の右半球にダメージを受けた場合、「自分勝手」「わがまま」「感情的」などの性格変容が起こることがある。また、失行・失認した人は、見え方(認識)が異なるために、ケアに困惑する場面がある。それぞれの原因を明らかにし、対応のポイントをお伝える。	29

◆コード05◆ 高齢者福祉、介護、認知症関係

コード	題名	内容	時間(分)
05 09 01	福祉ネットワーク 100歳 挑戦は終わらず	100歳の現役洋画家、豊田三郎さん。身近な自然を表した風景画は、「トヨタグリーン」と呼ばれ、作品は海外でも高く評価されている。豊田さんが画家として本格的なデビューを果たしたのは80歳を過ぎてからの異例の遅咲き。その生き方は、独特の画風と相まって、広く共感を呼んでいる。100歳を迎えた豊田さんの挑戦を続ける日々を見つめる。	29
05 09 02	福祉ネットワーク 介護保険10年目の検証(1) 「在宅」を支えられるのか	日本の高齢者は2800万人を超えた。そうした中、介護を社会で支えるためにスタートした介護保険は、2009年で10年目を迎えた。今抱える課題は何か、2回シリーズで検証する。1回目は、制度がどこまで在宅介護を支えていけるのかを考える。(2009年6月10日放送) ※内容は放送当時の情報であり、現在の制度とは異なる部分がございます。ご了承下さい。	29
05 09 03	福祉ネットワーク 介護保険10年目の検証(2) 「提言・どう改正するか」	介護を社会で支えるために始まった介護保険制度は10年目を迎えた。今抱える課題は何か2回シリーズで検証する。2回目は認知症の独居など新たな課題への対応を考える。(2009年6月11日放送) ※内容は放送当時の情報であり、現在の制度とは異なる部分がございます。ご了承下さい。	29
05 10 01	福祉ネットワーク 公開 介護百人一首(1) ～2010入選作品より～	NHKでは福祉キャンペーンの一環として、全国から介護にまつわる短歌を募集し、その中から100首を「NHK介護百人一首」として選定してきた。2010年は、昨年を上回り過去最高の7651首の短歌が寄せられた。NHKふれあいホール会場に作者たちを招き、介護の日常と短歌に込めた思いをうかがうイベントを開催。番組では介護体験のあるゲストのトークを交え、イベントのようを2日間にわたってお伝えする。	29
05 10 02	福祉ネットワーク 公開 介護百人一首(2) ～2010入選作品より～	NHKでは福祉キャンペーンの一環として、全国から介護にまつわる短歌を募集し、その中から100種を「NHK介護百人一首」として選定してきた。2010年は、昨年を上回り過去最高の7651首の短歌が寄せられた。NHKふれあいホール会場に作者たちを招き、介護の日常と短歌に込めた思いをうかがうイベントを開催。番組では介護体験のあるゲストのトークを交え、イベントのようを2日間にわたってお伝えする。	29
05 10 03	福祉ネットワーク わかさ春ものがたり ～87歳ケアマネ・ともに老いを生きる～	愛知県大府市の現役ケアマネジャー87歳の戸辺ひな子さん。戦中戦後の厳しい時代をともに生き抜いた「仲間」だからこそできる友達のような会話。それは認知症の進行を遅らせることにもつながると考えているからだ。ともに老いを生きるおばあちゃんたちの人生模様を描く。	29
05 10 04	福祉ネットワーク にっぽんリハビリ応援団(8) 復職したい どうすればいい?	脳卒中や交通事故による傷害のため、思いも寄らぬ障害を負いながらも、社会復帰を目指す人たちが多くいる。しかし、不況の中、実際に復職するには厳しい現実がある。番組では脳出血を発症し、リハビリの末に復職し、現在、電車通勤しながら働く女性を取材する。彼女の復職にいたるまでの過程を追いながら「復職のためのリハビリ」は、どのように取り組めばよいのかを考える。	29
05 10 05	福祉ネットワーク シリーズ 介護する人の“こころ”を支える(1)家族	「介護保険」のスタートから10年。介護を受ける高齢者のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)への関心が高まった一方で、介護者(介護をする家族や介護専門職)へのサポートは、置き去りにされてきたという。番組では2回シリーズで、介護者の“こころ”の負担に注目する。1回目は、介護者の精神的負担に焦点をあてた支援を始めている、岩手県花巻市の取り組みを紹介する。	29
05 10 06	福祉ネットワーク シリーズ 介護する人の“こころ”を支える(2)専門職	「介護保険」スタートから10年。介護を受ける高齢者のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)への関心が高まった一方で、介護者(介護をする家族や介護専門職)へのサポートは置き去りにされてきたという。番組では2回シリーズで、介護者の“こころ”の負担に注目する。2回目は、グループホームなどで働く専門職の精神的負担を、どうサポートすればいいのか、考えていく。	29

◆コード05◆ 高齢者福祉、介護、認知症関係

コード	題名	内容	時間(分)
05 11 01	福祉ネットワーク にっぽんリハビリ応援団(9) 心のリハビリ ピアカウンセリングを考える	脳卒中などの病で後遺症に悩む人たちの心のリハビリをテーマにする。病院から退院後、病気による障害をどう受け止めて生きていくのか。前向きな気持ちにさせる1つの方法が、ピア・カウンセリングである。ピアとは仲間という意味で、同じ病気や障害のあるもの同士が集まり、悩みや課題を相談し合う。同じ境遇の仲間の存在が心のリハビリにつながるというピア・カウンセリングについて考える。	29
05 11 02	福祉ネットワーク 公開・すこやか長寿 ひねって伸ばして体が目覚める！	公開すこやか長寿は、体の“ひねり”と“伸ばし”で老化を防ぐエクササイズを紹介していく。加齢とともに体力が低下し、日常生活での動作が乏しくなると、筋力や柔軟性が低下、可動域も狭くなってしまいが“寝たきり”にもつながるリスクになっていると専門家は指摘している。今回は、家でも外出先でもできる、上半身の“ひねり”と“伸ばし”を使った筋力アップの体操を紹介する。	29
05 11 03	福祉ネットワーク シリーズ 認知症と向き合う(2) 足立昭一さん “働きたい”を諦めない	認知症になっても“自分らしい暮らし”を送るには、どうしたらよいのか？当事者の声をもとに認知症という病を理解し、これからの介護や医療、そして支援のあり方を考えていく。シリーズ2回目は若年認知症と診断されてからも「働きたい」という思いを持ち続け、周囲を動かしながら続けている大分県在住の足立昭一さん(62)の日々を紹介。認知症の人にとって、働くということは、どのような意味を持つのか。今後、どのような支援が必要になるのか。介護サービスと地域の連携について、足立さんの姿を通して考えていく。	29
05 11 04	福祉ネットワーク シリーズ 認知症と向き合う(4) 本人交流会の現場から	シリーズ4回目は、認知症という同じ病を抱える者同士が集う「本人交流会」を取り上げる。2004年、京都で開催されたアルツハイマー病国際会議で、認知症の人がみずからスピーチしたことをきっかけに、当事者同士が集まって語り合う交流会が、全国各地で開かれるようになってきている。番組では、広島市内の「当事者交流会」の様子を取材。家族や主治医などにも言えない本音を、仲間と語り、分かち合う事で生きる意欲を取り戻す人々の姿を描く。また、当事者交流会で語られる声をもとに、その人にあったケアや支援につなげていこうと動き出した福岡県大牟田市の取り組みをあわせて紹介する。	29
05 11 05	福祉ネットワーク 公開すこやか長寿 中高年のための転倒予防簡単筋トレ	「老化は足から」と言われるように特に衰えやすいのが脚の筋肉である。筋肉の厚さは、上半身はそれほど変化しないが、脚は大きく減少することが分かっている。脚の筋肉が衰えると歩幅が狭くなり、すり足で歩くようになりがちだ。すると、ちょっとした段差でもつまづいて転倒し、骨折・寝たきりの原因となる。しかし筋肉は年をとってもからでも増やすことができるのだ。そこで、番組では中高年でも簡単に脚の筋肉が鍛えられる転倒予防の筋肉トレーニングを紹介する。	29
05 11 06	福祉ネットワーク にっぽんリハビリ応援団 シリーズ 被災地のリハビリ(1)	東日本大震災後の被災地でのリハビリの現状や、課題を伝えるシリーズ第1回。ボランティアの看護師が中心の団体「キャンパス」では、震災直後から宮城県石巻市に入り、リハビリが必要な人のニーズ調査を行った。しかし、理学療法士などのマンパワーの不足から、フォローが行き届かず、他の団体との連携を図った。また、ラジオ体操や散歩、手芸を行って、少しでも手足が動かせる機会を増やそうとした。避難所でのリハビリ支援の課題を探る。	29
05 11 07	福祉ネットワーク にっぽんリハビリ応援団 シリーズ 被災地のリハビリ(2)	東日本大震災後の被災地でのリハビリの現状や、課題を伝えるシリーズ第2回。宮城県石巻市雄勝町で7月から活動する「face to face」は、リハビリ専門職を中心とした90人のボランティア団体。仮設住宅を1軒ごと回り、高齢者を対象に、リハビリや集団体操などを行う一方、継続的に活動するため、資金面や地域の自立の問題にも取り組んでいる。彼らの活動を通し、在宅でのリハビリ支援の課題を探る。	29
05 11 08	福祉ネットワーク シリーズ 認知症と向き合う(1) 太田正博さん～いつまでも自分らしく～	認知症になっても“自分らしい暮らし”を送るには、どうしたらよいのか？当事者の声をもとに認知症という病を理解し、これからの介護や医療、そして支援のあり方を考えていく。シリーズ1回目は、認知症と診断されてから10年目を迎える長崎県在住の太田正博さん(62)の日々を紹介。「認知症になっても1人の人間として見てほしい」と語り続ける太田さんの思いを描く。	29
05 11 09	福祉ネットワーク シリーズ 認知症と向き合う(3) 本人の思いに応える医療	シリーズ3回目は、認知症の診断と治療を取り上げる。最近の研究では、認知症にもさまざまな種類があり、その疾患ごとに症状が違うということが分かってきた。実際に存在しないものが見える「幻視」の症状が現れる「レビー小体型認知症」。同じことを繰り返す「帯同行動」がみられる「前頭側頭型認知症」。どのような症状が現れ、どのような治療やケアが必要なのか。この病と向き合う当事者の体験談をもとに考えていく。	29

◆コード05◆ 高齢者福祉、介護、認知症関係

コード	題名	内容	時間(分)
05 12 01	ハートネットTV にっぽんリハビリ応援団 シリーズ 在宅リハビリの受け皿 第 1回 当事者グループ活動のすすめ	退院後自宅に戻った人のリハビリの受け皿作りを考える3本シリーズ。第1回は「当事者グループ活動」の先進的取り組みやその意義、立ち上げのノウハウなどを紹介する。横浜市の「泉睦会」ではハーモニカ教室や編み物教室など充実した11のサークル活動や、仮想納涼大会や文化祭などの全体イベントを行っており、それを運営する役員会などは、何よりのリハビリの場になっている。発足したばかりの当事者グループが、初めてパーベキュー大会に取り組む様子も取材した。	29
05 12 02	ハートネットTV にっぽんリハビリ応援団 シリーズ 在宅リハビリの受け皿 第 2回 家族会のすすめ	退院後、在宅リハビリを支える地域の受け皿づくりについて考えるシリーズの2回目は、「家族会」のすすめ。高次脳機能障害は見た目からは分かりにくく、支える家族も戸惑いやいら立ちが募りがちになる。脳卒中などの後遺症で高次脳機能障害を負った人の家族が立ち上げた「江戸川つつじの会」では、同じ悩みや課題を抱える人々と語り合い、情報交換することで、前向きに臨めるようになったという。「家族会」の運営や立ち上げのヒントも伝える。	29
05 12 03	ハートネットTV にっぽんリハビリ応援団 シリーズ 在宅リハビリの受け皿 第 3回 地域に理解者を増やすために	退院後、在宅でのリハビリを支える地域の受け皿づくりについて伝えるシリーズ3回目は、地域に理解者を増やす為の取り組みを紹介。事故で高次脳機能障害を負った息子を持つ母が立ち上げた団体「地域でともに生きるナノ」は、息子を連れて、さまざまな地域活動を続けてきた結果、医療関係者の勉強会にも呼ばれるまでになった。現在は県の委託を受けて、ピア・カウンセリング事業を行ったり、リハビリや交流の場となりカフェを開いたりしている。	29
05 12 04	ハートネットTV みつえとゆういち -親子で紡ぐ“認知症”漫画- ●字 幕付	「記憶を失うのは、悪いことばかりではない」。今、認知症の母親を介護する日々をユーモラスに描いた漫画「ペコロスの母に会いに行く」が、大きな反響を呼び映画化も決定した。認知症の親とどう向き合えばよいのか。記憶を失いながら生きるとは、どういうことなのか。漫画に込められた思いをひも解き、介護のあり方を考えていく。(2012年11月29日放送)	29
05 13 01	ハートネットTV シリーズ認知症“わたし”から始まる 第1回 462万人～自宅で暮らした いけれど～	6月、厚生労働省の研究班は、認知症高齢者とその予備軍が862万人いると発表した。そんな折、国は、従来の施設や病院でのケアから、在宅ケアに方針転換した。しかし、これまでの支援だけでは在宅生活を維持できない人は多い。認知症でも住み慣れた所で暮らすにはどうすれば良いのか？シリーズ1日目は、自宅で暮らす認知症の方や介護者取材し、日本の認知症施策の課題をあぶりだす。	29
05 13 02	ハートネットTV シリーズ認知症“わたし”から始まる 第2回 在宅を支えるケア～オランダ からの報告～	シリーズ認知症・第2回は、認知症政策の先進地・オランダの在宅ケアを紹介する。オランダでは、家族が、仕事や子育てを犠牲にせずに無理なく介護することで、認知症本人の不安も取り除かれ、暴力や徘徊などの症状が和らぐことに注目し、「家族支援・早期支援」に力を入れてきた。認知症患者の8割が自宅で生活、その半数が一人暮らしをしているという同国からヒントを探る。	29
05 13 03	ハートネットTV シリーズ認知症“わたし”から始まる 第3回 検証・オレンジプラン～在宅 支援の最前線～	シリーズ認知症・第3回は、日本で今年からスタートする認知症政策「オレンジプラン」について検証する。中でも特に注目されるのが、認知症の人の自宅へなるべく早い段階で訪れ、適切な支援を行おうという「初期集中支援チーム」。番組では、モデル事業に取り組む東京都世田谷区のあるクリニックに密着。この取り組みの普及へ向けた課題を考えていく。	29
05 13 04	ハートネットTV シリーズ認知症“わたし”から始まる 第4回 自分らしく生きよう	認知症をテーマにした話題のアニメーション映画「しわ」を制作したスペインのフェレーラス監督を迎え、認知症のお年寄りたちが通うデイサービス施設で「しわ」の上映会を開催。認知症になっても、自分らしく生きるにはどうすればよいのか。女優・赤木春恵さん、タレントのダンカンさんも交え、フェレーラス監督と認知症の人たちが語り合う。	29
05 14 01	ハートネットTV リハビリ・介護を生きる おひとりさま の自分介護 (1)要介護になってもひとりで暮らす	高齢者世帯に占める単身世帯の割合は3割を超え、「おひとりさま」の高齢者が増えている。「長生きをすれば最後はひとり」という状況は、だれもが直面しうる現実だ。「おひとりさまの自分介護」、1回目は「要介護になってもひとりで暮らす」。介護サービスの中から自分に合った上手な利用で、「おひとりさまの老後」を生き生きと生きる人々を見つめる。(●字幕付き⇒コード番号:051451)	29

◆コード05◆ 高齢者福祉、介護、認知症関係

コード	題名	内容	時間(分)
05 14 02	ハートネットTV リハビリ・介護を生きる おひとりさま の自分介護 (2)やがてくる時のために	平成22年に1620万世帯だった高齢世帯は、20年後には2000万世帯を超えと言われていた。そのうち「おひとりさま」(単身世帯)の割合は東京、大阪、北海道などの9都道府県では4割を超える見通しだ。「おひとりさまの自分介護」、2回目は「みんながおひとりさまになる時に」と題して、おひとりさまの老後を支えるネットワーク、社会のあり方を考える。(●字幕付き⇒コード番号:051452)	29
05 14 03	ハートネットTV リハビリ・介護を生きる 私のリハビリ 体験記 関啓子 ～言語聴覚士が脳梗塞になった時～	言語聴覚士の関啓子さん(62)は5年前に脳梗塞を発症、それまで30年間臨床研究してきた高次脳機能障害を自ら体験した。専門家が患者となり、初めて理解できたことがたくさんあるという。発語障害や運動障害による不能感や絶望、人の話についていけない寂しさも予想以上のものだった。懸命なリハビリで仕事に復帰した関さんの体験談に耳を傾ける。	29
05 14 04	ハートネットTV リハビリ・介護を生きる 私のリハビリ 体験記 桜金造 もう一度笑わせたい	コメディアンとして人気を得、俳優としても活躍していた桜金造さん(57)は去年脳出血で倒れ、左半身に麻痺が残った。「一体俺はどうなるのか」「生きていく意味があるのか？」一時は絶望にとらわれたが、リハビリ専門の病院に転院し、懸命にリハビリに励んだ。7か月で地元の寄席のステージに立ち、月に2回のお笑いライブも行っているという金造さんの体験談に耳を傾ける。	29
05 14 05	ハートネットTV リハビリ・介護を生きる 私の声で話 したい (1)自分の声を取り戻す	がんなどで喉頭を摘出、声帯を失った人の数は、全国でおよそ3万人と言われていた。自分の声を取り戻すにはどうしたらいいのか。食道を振るわせて声を出す「食道発声法」の訓練によって話せるようになったケースを紹介する。さらに近年注目されている「シャント発声法」も紹介。二つの違いや特徴も交えながら、実際に声を取り戻した人々の喜びと「声」に耳を傾ける。	29
05 14 06	ハートネットTV リハビリ・介護を生きる 私の声で話 したい (2)失った声を再現する	病気などで声を失っても、もともとの「自分の声」で意思を伝えたい。そんな思いに応える取り組みとして、事前に1000あまりの例文を読み上げ録音し、声を失った後も「本人の声」で会話が再現できる音声合成システムの提供が始まっている。こうした技術に加え、ボランティアの人々の声を集めて声のデータベースをつくる「ボイスバンク」プロジェクトも進められている。取り組みの現状と、将来の可能性を探る。	29
05 14 07	ハートネットTV シリーズ リハビリ・ケア新時代 脳か らの挑戦 第1回 心の声を届けたい BMI最 前線	脳科学の進歩により、障害や難病をかかえる当事者の生活の質を高める新たなケアや、リハビリの可能性が広がってきている。「福祉×脳科学」の可能性と、そこから見える課題を特集するシリーズ第1回は、BMI(脳と機械をつなぐ技術)を意思伝達困難なALS患者たちのコミュニケーション支援に活用しようという臨床研究の現場を紹介する。	29
05 14 08	ハートネットTV シリーズ どうなる？私の介護保険 第1回 サービスが使えない？～制 度改正の波紋～	2000年にスタートした『介護保険制度』。年々、サービスも広がり、500万人余りの高齢者の暮らしを支えている。今後ますます高齢化が進み、11年後の2025年には高齢者の数が3600万人を超える「超高齢社会」が到来する。国は、この『2025年問題』に向け、制度を見直そうとしている。シリーズ「どうなる？私の介護保険」、第1回は、今回の見直しで注目されている「要支援者」のためサービスや仕組みがどう変わるのかについて、詳しく伝える。(2014年5月6日放送) ※内容は放送当時の情報であり、現在の制度とは異なる部分がございます。ご了承下さい。	29
05 14 09	ハートネットTV シリーズ どうなる？私の介護保険 第2回 引き出せるか？“地域の力”	岐阜県大垣市では、NPOが主体となって、有償ボランティアが地域のお年寄りの「生活支援」に取り組んでいる。しかし、介護の専門職である“ヘルパーがやるべき仕事”と“ボランティアにもできること”の仕分け方や、地域格差の心配など、様々な課題がある。シリーズ「どうなる？私の介護保険」第2回は、国が「介護」の新たな担い手として期待しているボランティアなどの“地域の力”について、その可能性と課題を探る。(2014年5月7日放送) ※内容は放送当時の情報であり、現在の制度とは異なる部分がございます。ご了承下さい。	29
05 14 10	ハートネットTV シリーズ どうなる？私の介護保険 第3回 “地域包括ケアシステム”っ て何？	介護保険改正法が打ち出す「地域包括ケアシステム」では、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の5つのサービスを一体的に受けられる支援体制を整えるといわれている。シリーズ「どうなる？私の介護保険」、第3回は、「地域包括ケアシステム」の提唱者である元厚生労働省担当者に問題点や課題を問い、介護保険制度が私たちのために本当に機能するにはどうすればいいのかを考える。(2014年5月8日放送) ※内容は放送当時の情報であり、現在の制度とは異なる部分がございます。ご了承下さい。	29

◆コード05◆ 高齢者福祉、介護、認知症関係

コード	題名	内容	時間(分)
05 14 11	ハートネットTV シリーズ リハビリ・ケア新時代 脳からの挑戦 第3回 子どもの脳からのSOS 睡眠を守れ	「福祉×脳科学」の可能性と、そこから見える課題を特集するシリーズ第3回は、睡眠不足や睡眠リズムの崩れから日常生活が困難になった子どもたちに注目。不登校の児童や生徒たちを多く診察してきた医師は、彼らのほとんどがしっかり睡眠をとれておらず、脳機能のバランスが乱れた状態であると指摘。子どもの睡眠障害と脳への影響や、不調を未然に防ぐための方策を探る。	29
05 14 51	ハートネットTV リハビリ・介護を生きる おひとりさまの自分介護 (1)要介護になってもひとりで暮らす ●字幕付	高齢者世帯に占める単身世帯の割合は3割を超え、「おひとりさま」の高齢者が増えている。「長生きをすれば最後はひとり」という状況は、だれもが直面する現実だ。「おひとりさまの自分介護」、1回目は「要介護になってもひとりで暮らす」。介護サービスの中から自分に合った上手な利用で、「おひとりさまの老後」を生き生きと生きる人々を見つめる。(○字幕無し⇒コード番号:051401)	29
05 14 52	ハートネットTV リハビリ・介護を生きる おひとりさまの自分介護 (2)やがてくる時のために ●字幕付	平成22年に1620万世帯だった高齢世帯は、20年後には2000万世帯を超えと言われていた。そのうち「おひとりさま」(単身世帯)の割合は東京、大阪、北海道などの9都道府県では4割を超える見通しだ。「おひとりさまの自分介護」、2回目は「みんながおひとりさまになる時に」と題して、おひとりさまの老後を支えるネットワーク、社会のあり方を考える。(○字幕無し⇒コード番号:051402)	29
05 15 01	認知症キャンペーン 認知症介護 家族の悩みにこたえませす	「認知症の疑いがあるのに病院に行ってくれない」「暴力や暴言に苦しんでいる」など、認知症の家族を自宅で介護する方々の悩みは尽きない。そこで視聴者から認知症在宅介護の小さな疑問から大きな悩みまでを広く募集し、「あるある」を共有。そしてなぜそのような状態になるのかを知り、うまく乗りきる方法をVTRを交えて考える。Eテレ「ハートネットTV」とコラボし、認知症の本人も家族も穏やかに過ごせるヒントをお伝えする。(●字幕付き⇒コード番号:051551)	49
05 15 02	認知症キャンペーン 認知症 わたしたちにできること	「認知症ってなに?」「どんな症状があらわれるの?」「認知症と診断されたら?」など、専門家による「認知症のイロハ」をはじめ、ゲストの介護体験談や地域で支え合う新たな取り組み「認知症カフェ」も紹介。世界的な課題「認知症の予防」にも注目。なりにくい生活習慣や予防体操も解説。さらに認知症の人自身のお話も伺う。認知症について正しく知り、自分のこととして考えるヒントが満載。(●字幕付き⇒コード番号:051552)	49
05 15 51	認知症キャンペーン 認知症介護 家族の悩みにこたえませす ●字幕付	「認知症の疑いがあるのに病院に行ってくれない」「暴力や暴言に苦しんでいる」など、認知症の家族を自宅で介護する方々の悩みは尽きない。そこで視聴者から認知症在宅介護の小さな疑問から大きな悩みまでを広く募集し、「あるある」を共有。そしてなぜそのような状態になるのかを知り、うまく乗りきる方法をVTRを交えて考える。Eテレ「ハートネットTV」とコラボし、認知症の本人も家族も穏やかに過ごせるヒントをお伝えする。(○字幕無し⇒コード番号:051501)	49
05 15 52	認知症キャンペーン 認知症 わたしたちにできること ●字幕付	「認知症ってなに?」「どんな症状があらわれるの?」「認知症と診断されたら?」など、専門家による「認知症のイロハ」をはじめ、ゲストの介護体験談や地域で支え合う新たな取り組み「認知症カフェ」も紹介。世界的な課題「認知症の予防」にも注目。なりにくい生活習慣や予防体操も解説。さらに認知症の人自身のお話も伺う。認知症について正しく知り、自分のこととして考えるヒントが満載。(○字幕無し⇒コード番号:051502)	49
05 16 01	ハートネットTV 公開すこやか長寿 大分県日田市	大分県日田市に暮らすご長寿夫婦に長寿の秘けつをうかがう。今回は、かつて食堂を営み、得意の三味線と踊りで人を笑わせることが大好きな夫婦と、市の基幹産業日田杉の製材一筋、今でも製材所に足を運ぶおひとり夫婦にお話をうかがう。番組後半ではご当地ソング「日田ふるさと音頭」で、ダンスナビゲーターの南流石さんが、医師と開発した健康体操「ココロからダンス」を紹介。心と体を動かし、ステージと会場が一体となる。	29
05 17 01	ETV特集 認知症とともに よく生きる旅へ 丹野智文 42歳	旅をしたのは、仙台市の丹野智文さん(42)。英国は、医療や介護の専門家だけではなく、認知症の本人を「経験による専門家」と位置づけ、「本人にはどう見えるか」を重視するアプローチを続けてきた先進地。番組では、丹野さんが英国で17人の認知症の人びとを訪ねる対話の旅を追った。認知症の当事者たちが「声をあげられる」仕組みや、それに「耳を傾ける」文化に触れながら、自らの生きざまを問い返す旅ともなっていく。	59

◆コード05◆ 高齢者福祉、介護、認知症関係

コード	題名	内容	時間(分)
05 17 02	人生デザイン U-29 介護福祉士・シンガー	今回の主人公は、香川県高松市の特別養護老人ホームに勤める介護福祉士、管納めぐみさん・25歳。仕事の傍ら、歌のライブ活動をしている。曲の主人公はお年寄り。日頃お世話をしている老人たちと交わすやりとりの中で、心に浮かんだことを曲にしている。今や管納さんにとって介護と音楽は切っても切れないもの。だが、実は一度介護の仕事を辞めたことがあるという。お年寄りの言葉を紡ぐ介護福祉士・シンガーの人生デザインとは。	24
05 18 01	ハートネットTV シリーズ 認知症 当事者をつくる新時代 第1回 絶望から権利へ	65の国と地域からおよそ4000人が参加した国際アルツハイマー病協会国際会議。日本での開催は2回目。前回2004年には、認知症の当事者が語ったことが、日本社会の認知症に対する見方を大きく変えるきっかけになった。「何もわからない人」から「人生を生き続ける人」へ。きっかけを作ったオーストラリアのクリスティーン・プライデンさん(68)が、何が変わり、何が課題として残されたのかを語った。(2017年06月27日放送)	29
05 18 02	ハートネットTV シリーズ 認知症 当事者をつくる新時代 第2回 パートナーと見つけた希望	国際アルツハイマー病協会国際会議から、認知症とどう向き合うか考えるシリーズの2回目。番組では、国際会議で脚光を浴びる当事者を支える人々を通じて、認知症とともに前向きに生きることはどこまで可能か、周囲はどう関わることができるのか、これから多くの人々が避けて通れない問題を解く手がかりを探る。(2017年6月28日放送)	29
05 18 51	ハートネットTV シリーズ 認知症 当事者をつくる新時代 第1回 絶望から権利へ ●字幕付	65の国と地域からおよそ4000人が参加した国際アルツハイマー病協会国際会議。日本での開催は2回目。前回2004年には、認知症の当事者が語ったことが、日本社会の認知症に対する見方を大きく変えるきっかけになった。「何もわからない人」から「人生を生き続ける人」へ。きっかけを作ったオーストラリアのクリスティーン・プライデンさん(68)が、何が変わり、何が課題として残されたのかを語った。(2017年06月27日放送) (○字幕無し⇒コード番号:051801)	29
05 18 52	ハートネットTV シリーズ 認知症 当事者をつくる新時代 第2回 パートナーと見つけた希望 ●字幕付	国際アルツハイマー病協会国際会議から、認知症とどう向き合うか考えるシリーズの2回目。番組では、国際会議で脚光を浴びる当事者を支える人々を通じて、認知症とともに前向きに生きることはどこまで可能か、周囲はどう関わることができるのか、これから多くの人々が避けて通れない問題を解く手がかりを探る。(2017年6月28日放送) (○字幕無し⇒コード番号:051852)	29
05 19 01	クローズアップ現代+ 親のおカネ “もしも”に備える最前線	親が亡くなったり、認知症になって判断能力が低下したりして、親の口座から必要なお金を引き出せなくなる人が続出している。こうした事態に陥らないために、どんな対策をしておけばいいのか？親に判断能力があるうちに家族で契約を結び、預金などの名義をあらかじめ書き換えておく「家族信託」という仕組みや、親が認知症になった後でも活用できる「成年後見制度」について詳しく解説。そのメリットや注意点などをわかりやすく紹介する。(2019年4月16日放送)	30
05 19 02	ハートネットTV シリーズ 平成がのこした“宿題” 超高齢社会を生きる一安心して年をとれる社会へ	平成の30年間で積み残された“宿題”に向き合い、未来への提言につなげるシリーズ。今回は『超高齢社会』。平成に入り『介護保険制度』を設けるなど介護の“社会化”を進めてきた日本。しかし今や保険はひっ迫、セーフティネットからこぼれ落ちる高齢者も…。そうした中、「制度」に頼らない独自の取り組みが始まっている。高齢者のしたいことを地域住民が応援する場作りや“家事代行サービス”など、各地の動きを追った。(2019年2月6日放送)	29

◆コード06◆ みんなの手話

コード	題名	内容	時間(分)
06 08 01	みんなの手話ー1	おはよう！ごめんなさい。	25
06 08 02	みんなの手話ー2	わぁ～、今日も快晴。ところで、今 何時？	25
06 08 03	みんなの手話ー3	そうなの。いつも日曜日は洗濯して掃除して買い物して、やることがいっぱいよ。	25
06 08 04	みんなの手話ー4	しかたないわね。もういいわよ。	25
06 08 05	みんなの手話ー5	今週は忙しいわね。毎日残業が続くわ～。もうぐったり。	25
06 08 06	みんなの手話ー6	休暇なんてまったくとれないわ～。	25
06 08 07	みんなの手話ー7	これから会議。この会議、多分2時間はかかると思うわ。	25
06 08 08	みんなの手話ー8	君。どうして出席しなかったんだ。きのう会議時間変更のメールを出しておいただろう。	25
06 08 09	みんなの手話ー9	ああ！気持ちいい。最高の気分ね。	25
06 08 10	みんなの手話ー10	うん！運動は健康にもダイエットにもピッタリね。	25
06 08 11	みんなの手話ー11	家から駅までいつも歩いているわよ。	25
06 08 12	みんなの手話ー12	でも本当においしいそう。やっぱり私も食べる。	25
06 08 13	みんなの手話ー13	芸術の秋、美術展に来られてうれしいわ。	25
06 08 14	みんなの手話ー14	この青や赤の色の使い方、とても美しいわね。	25
06 08 15	みんなの手話ー15	う～ん、抽象画はわからない。私嫌い。	25
06 08 16	みんなの手話ー16	疲れたから少し腰掛けましょう。	25
06 08 17	みんなの手話ー17	ガイドブックのアイデアを、発表してください。	25

◆コード06◆ みんなの手話

コード	題名	内容	時間(分)
06 08 18	みんなの手話-18	「幼児も一緒に入れる一流店の紹介」なんてどうでしょう。	25
06 08 19	みんなの手話-19	なるほど、良いね。人気が出るかもしれないな。	25
06 08 20	みんなの手話-20	バリアフリーのためにも紹介したいな。	25
06 08 21	みんなの手話-21	手話、ペット、う〜ん、迷ってしまう。	25
06 08 22	みんなの手話-22	今日は豚肉が特売だったわ。	25
06 08 23	みんなの手話-23	私の得意料理を作るわ。任せておいて！	25
06 08 24	みんなの手話-24	ガイドブックの売れ行きは好調ね。	25
06 08 25	みんなの手話-25	亜矢が取材を手伝ってくれたからよ。	25
06 13 01	NHKみんなの手話 第1回～第3回 ●字幕付(各25分)	第1回 あいさつの表現 第2回 天気／季節の表現 第3回 家族の表現 (2013年4月7日・4月14日・4月21日放送)	75
06 13 02	NHKみんなの手話 第4回～第6回 ●字幕付(各25分)	第4回 質問の表現 第5回 好き／嫌いの表現 第6回 数／月日に関する表現 (2013年4月28日・5月5日・5月12日放送)	75
06 13 03	NHKみんなの手話 第7回～第9回 ●字幕付(各25分)	第7回 時間の表現 第8回 現在／過去／未来の表現 第9回 動きを表す表現 (2013年5月19日・5月26日・6月2日放送)	75
06 13 04	NHKみんなの手話 第10回～第11回 ●字幕付(各25分)	第10回 食べ物／味覚の表現 第11回 形容の表現 (2013年6月9日・6月16日放送)	50
06 13 05	NHKみんなの手話 第12回～第13回 ●字幕付(各25分)	第12回 気持ちの表現 第13回 思考に関する表現 (2013年6月23日・6月30日放送)	50
06 13 06	NHKみんなの手話 第14回～第16回 ●字幕付(各25分)	第14回 可能／必要の表現 第15回 ～する／～されるの表現 第16回 比較の表現 (2013年7月7日・7月14日・7月21日放送)	75
06 13 07	NHKみんなの手話 第17回～第19回 ●字幕付(各25分)	第17回 強い／弱いに関する表現 第18回 学校生活に関する表現 第19回 買い物の表現 (2013年7月28日・8月4日・8月11日放送)	75
06 13 08	NHKみんなの手話 第20回～第22回 ●字幕付(各25分)	第20回 健康／医療の表現 第21回 旅行に関する表現 第22回 仕事の関する表現 (2013年8月18日・8月25日・9月1日放送)	75
06 13 09	NHKみんなの手話 第23回・第24回 ●字幕付(各25分)	第23回 スポーツに関する表現 第24回 レジャーに関する表現 (2013年9月8日・9月15日放送)	50

◆コード06◆ みんなの手話

コード	題名	内容	時間(分)
06 13 10	NHKみんなの手話 第25回・第26回 ●字幕付(各25分)	第25回 いろいろな行事の表現 第26回 手話で話しかけられたら (2013年9月22日・9月29日放送)	50

◆コード08◆ その他(性同一性障害、依存症など)

コード	題名	内容	時間(分)
08 05 01	福祉ネットワーク 仕事への一歩を踏み出せ ～富山 若者自立支援の試み～ ※	社会問題とされるニート(若年無業者)。働くチャンスがないとらわれがちだが、実際には対人恐怖やひきこもりなど、心の問題を抱え働くことができない若者も多い。富山で合宿生活をしながら就職を目指す若者たちの姿を伝える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
08 05 02	福祉ネットワーク こころの相談室 母親を“産後うつ”から救え ※	出産後の子育ての悩みから発症する産後うつ。今、体験者がうつに苦しむ子育て中の母親を支えようという動きが各地で始まっている。体験者が始めたサポート活動の現場を取材。広がり始めたネットワークの動きを伝える。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
08 05 03	福祉ネットワーク ともに死に向かう ～鳥取・ホスピスケアの現場から～ ※	「亡くなりつつある人と手を握る仕事をしよう」。内科医の徳永さんは、鳥取に診療所を開いた。以来、多くの患者の死に立ち会ってきた。その著作も紹介しながら、お話を伺う。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
08 06 01	ハートをつなごう 性同一性障害(1) ※	“カラダ”と“ココロ”の性がくい違う性同一性障害。当事者とその家族がスタジオに集まり、本音で悩みをぶつけ合う。“自分らしく生きる”ために、必要なことは何なのか? (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
08 06 02	ハートをつなごう 性同一性障害(2) ※	“カラダ”と“ココロ”の性がくい違う性同一性障害。当事者とその家族がスタジオに集まり、本音で悩みをぶつけ合う。“自分らしく生きる”ために、必要なことは何なのか? (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
08 06 03	福祉ネットワーク ハンセン病 終わらない“隔離” ～退所者たちの日々～ ※	「らい予防法」の廃止から10年。国の「隔離収容政策」は終わったが、療養所を出て地域で暮らす元ハンセン病患者は、後遺症や根強い差別に苦しんでいる。どうすれば彼らが心安らかに暮らせる日があるのか? (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
08 06 04	福祉ネットワーク 生活保護が受けられない ～ワーキングプアの苦闘～	生活保護の受給世帯が100万を突破した。働いても低い賃金しか得られない「ワーキングプア」の増加が目立つ。格差社会が広がりを見せるなか、生活保護の役割を検証する。 ※内容は放送当時の情報であり、現在とは異なる部分がございます。ご了承下さい。	29
08 06 05	福祉ネットワーク 生活保護が減らされる… ～誰が高齢者を守るのか～	生活保護の受給世帯が100万を突破した。半数近くが、老後の生活が立ち行かなくなった高齢者。そんななか国は支給額の削減に踏み切った。高齢者の生活を誰が守るのか? ※内容は放送当時の情報であり、現在とは異なる部分がございます。ご了承下さい。	29
08 08 01	ハートをつなごう 性同一性障害・第5弾(1)	カラダとココロの性がくい違う「性同一性障害」の第5弾。1日目に登場する杉山文野さん(26)は、心は男性だが、身体は女性。新たな環境で自分を見つめ直すため留学を決意し、世界中を旅して回った。異なる文化の中で、改めて自分のカラダとココロについて考えぬいた杉山さんが至った境地とは?	29
08 08 02	ハートをつなごう 性同一性障害・第5弾(2)	カラダとココロの性がくい違う「性同一性障害」の第5弾。2日目に登場する渡邊圭さん(26)は、自分のセクシャルティアーがどこにも当てはまらないと悩み続けていた。この春就職した渡邊さん。社会に出るにあたって、自分のセクシャルティアーについて深く考えたという渡邊さんの揺れ動く「性」について、語り合う。	29
08 08 03	ハートをつなごう 依存症(1)	アルコール依存、ギャンブル依存、買い物依存、恋愛依存、摂食障害…。依存症は、モノや行為にのめり込み、コントロールできなくなってしまう「心の病」。しかし周りから「だらしない」「意志が弱い」と非難され、病状を深刻化させる悪循環に陥ってしまうことも少なくない。番組では、依存症を経験した当事者が集まり、その切実な声に耳を傾け、依存症をどう理解し、周囲がどう関わっていけばよいかを考えた。	29

◆コード08◆ その他(性同一性障害、依存症など)

コード	題名	内容	時間(分)
08 08 04	ハートをつなごう 依存症(2)	アルコール依存、ギャンブル依存、買い物依存、恋愛依存、摂食障害…。依存症は、モノや行為にのめり込み、コントロールできなくなってしまう「心の病」。しかし周りから「だらしない」「意志が弱い」と非難され、病状を深刻化させる悪循環に陥ってしまうことも少なくない。番組では、依存症を経験した当事者が集まり、その切実な声に耳を傾け、依存症をどう理解し、周囲がどう関わっていけばよいかを考えた。	29
08 08 05	ハートをつなごう ゲイ/レズビアン 特集(1)	これまで番組では、性同一性障害などの性に関する話題を取り上げ、視聴者から同性愛に関する悩みや体験談が多く寄せられた。新たなテーマ「ゲイ/レズビアン」を取り上げ、思春期のころ、周囲の人たちに自分の性的指向を打ち明けることができないつらさなどについて、当事者がスタジオで語り合う。	29
08 08 06	ハートをつなごう ゲイ/レズビアン 特集(2)	これまで番組では、性同一性障害などの性に関する話題を取り上げ、視聴者から同性愛に関する悩みや体験談が多く寄せられた。新たなテーマ「ゲイ/レズビアン」を取り上げ、思春期のころ、周囲の人たちに自分の性的志向を打ち明けることができないつらさなどについて、当事者がスタジオで語り合う。	29
08 08 07	ハートをつなごう ゲイ/レズビアン 第2弾(1)	2008年4月にスタートした新テーマ「ゲイ/レズビアン」の第2弾。「同性婚が法的に認められない日本で、パートナーとどう暮らしていけばいいのか？」という悩みが数多く番組に寄せられた。メールを寄せていただいた当事者取材し、スタジオでVTRのドキュメントを見た後、本人たちを交え、より深く、より熱く語り合う。	29
08 08 08	ハートをつなごう ゲイ/レズビアン 第2弾(2)	2008年4月にスタートした新テーマ「ゲイ/レズビアン」の第2弾。「同性婚が法的に認められない日本で、パートナーとどう暮らしていけばいいのか？」という悩みが数多く番組に寄せられた。メールを寄せていただいた当事者取材し、スタジオでVTRのドキュメントを見た後、本人たちを交え、より深く、より熱く語り合う。	29
08 09 01	ハートをつなごう 摂食障害(1)	食べることを拒否する「拒食」。大量に食べてしまう「過食」。食べては吐くことを繰り返す「過食嘔吐(おうと)」。こうした「摂食障害」に陥るのはなぜなのか。ダイエットとは何が違うのか。どうすれば回復できるのか。番組では10年以上「食べ吐き」に苦しんでいる女性を取材。本人が語る言葉にじゅくりと耳を傾け、摂食障害の悩みの本質とは何なのか、徹底的に語り合う。	29
08 09 02	ハートをつなごう 摂食障害(2)	摂食障害シリーズ、2回目のテーマは「どうやって“回復”するか」。東京に暮らすある男性は、長年「食べ吐き」で苦しんだのち、自助グループに巡り合った。そこで「自分自身の考え方が自分を苦しめていた」ことや「食べ吐きをしてもいい」ということに気づき、しだいに症状は治まっていったという。当事者の話から、回復のためのポイントを探る。	29
08 09 03	ハートをつなごう 今夜はもっとつながりたい(1)	うつ病、発達障害、摂食障害など、さまざまな「生きづらさ」を抱える人たちの思いを取り上げてきた「ハートをつなごう」。これまでに番組に寄せられた視聴者からのメールは、7000通近く上がる。今回は、自分も「生きづらさ」に悩んだ著名人をスタジオに招き、視聴者のメールを紹介しながら、自らの体験を語る。悩みを克服する為には何が必要か。2回にわたって徹底的に語り合う。	29
08 09 04	ハートをつなごう 今夜はもっとつながりたい(2)	うつ病、発達障害、摂食障害など、さまざまな「生きづらさ」を抱える人たちの思いを取り上げてきた「ハートをつなごう」。これまでに番組に寄せられた視聴者からのメールは、7000通近く上がる。今回は、自らも「生きづらさ」に悩んだ著名人をスタジオに招き、視聴者のメールを紹介しながら、自らの体験を語る。悩みを克服する為には何が必要か。2回にわたって徹底的に語り合う。	29
08 14 01	ハートネットTV シリーズ 依存症 第1回 治療・支援への長い道のり	「アルコール依存」109万人、「ギャンブル依存」536万人、「ネット依存」421万人。今年、厚生労働省が公表した衝撃的なデータにより、「依存症」をめぐる問題が日本社会に深く浸透している実態が浮き彫りとなった。「依存症」から回復するヒントを探る1日目は、事態が深刻化する一方で、なかなか治療や支援につながっていない実態とその背景を検証する。	29
08 14 02	ハートネットTV シリーズ 依存症 第2回 どうすれば“回復”できるか?	「アルコール依存」109万人、「ギャンブル依存」536万人、「ネット依存」421万人。今年、厚生労働省が公表した衝撃的なデータにより、「依存症」をめぐる問題が日本社会に深く浸透している実態が浮き彫りとなった。「依存症」から回復するヒントを探る2日目は、徳島の病院で始まった新たな取り組みや、自助グループとつながったことで自らを見つめ直した男性の事例を紹介する。	29

◆コード08◆ その他(性同一性障害、依存症など)

コード	題名	内容	時間(分)
08 17 01	目撃！日本列島 ずっと誰にも言えなかった 大阪 夜の精神科クリニック	日本有数の歓楽街、大阪・ミナミに夜間だけ開いている全国でも珍しい精神科のクリニックがある。人々はさまざまな悩みや事情を抱えてここを訪れる。厳しい成果主義の職場で上司のパワハラに苦しむ20代の男性。シングルマザーの母親の過干渉に悩む20代の女性。いま日本でうつ病などの精神疾患を抱える人は約390万人。20年前に比べ1.8倍に増えている。3畳ほどの診察室にカメラをすえ、現代社会の“痛み”を見つめる。	23
08 18 01	ハートネットTV 故郷の言葉を守りたい ～日本の“消滅危機言語”～	今、世界中で多くの言葉がなくなる危険があるという。日本も例外ではなく、昨年8月の日本学術会議の提言では、話し言葉も、ろう者にとっての言語である手話も、消滅の危険性があると指摘されている。瀬戸内海に浮かぶ愛媛県大島の漁師町で、聴者もろう者も使ってきた宮窪手話、鹿児島県の南に位置する沖永良部島の方言など、故郷の言葉を守る人々の取り組みを紹介し、言語の未来について考えていく。(2018年10月17日放送)	29
08 19 01	ハートネットTV シリーズ “ゲーム障害” LIVE相談 治療と対策	オンラインゲームなどに熱中し生活に支障をきたす症状「ゲーム障害」。WHO(世界保健機関)は新たな病気として国際疾病分類に加える見通しだ。番組では、生放送で視聴者からの相談に応える。「ゲーム障害」で苦しんでいる当事者や家族の悩み、疑問、体験談を募集。治療の現場を紹介しながら、当事者の思いを受け止め、ゲーム障害とどう向き合うべきか、対策や予防について徹底的に考える。(2018年5月30日放送)	29
08 19 02	クローズアップ現代+ ひきこもりルネサンス ～生き抜くためのヒント～	かつて、ひきこもりといえば、「いじめや不登校などが理由で、若い男性が部屋に閉じこもる」と考えられてきた。しかし今、実態が多様になっているとされ、この秋から国も本格的な調査に乗り出す。一方、生き抜くために、ひきこもり自身による取り組みも始まっている。当事者同士が集まって情報交換の場を作ったり、山間の集落で共同生活し、新たな生き方を模索したり…。増え続けるひきこもりの人々の実態に迫るとともに、未来を描いていくための方策を探る。(2018年8月29日放送)	25
08 19 03	クローズアップ現代+ 人工呼吸器を外すとき ～医療現場 新たな選択～	いま高齢者医療の現場で“新たな選択”が実践され始めている。それは「延命中止」。患者や家族の希望に添って一度始めた医療から撤退し、最期を迎えるというものだ。「救急医療」「人工透析」「肺炎治療」など様々な医療現場で、新たなガイドラインが出され、医療の中止が選択肢として示されるようになっていく。「延命中止」を実践する現場に密着し“命をめぐる選択”の日々を記録。長寿社会のあるべき医療について考える。(2017年6月5日放送)	25

◆コード09◆ ボランティア

コード	題名	内容	時間(分)
09 08 01	生活ほっとモーニング ボランティアはこんなに楽しい！	ボランティアに関心があるシニア層はおよそ7割。しかし経験者は少ない。理由は様々だが「ボランティア＝堅いイメージ」から脱出できないのが最大の理由。しかし、一歩先には新しい毎日が待っているかも！ボランティアの「楽しさ」と踏み出すノウハウを伝える。	50

◆コード10◆ NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ

コード	題 名	内 容	時間(分)
10 07 01	NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ 知的障害や自閉症等の障害のある 人たちをトラブルから守る ～自分で守る・みんなで守る～ (DVD3枚)	<p>【第1巻:77分】「トラブルの現状と予防法」 ■知的障害や自閉症などの発達障害のある人たちは、なぜトラブルにまきこまれやすいのかについて の解説と、まきこまれるのを予防する方法を紹介。参加・体験型授業(ワークショップ)の実例と、街の 人々の意識を変えることでトラブルを予防しようとするとりくみの実例を、映像で紹介する。</p> <p>【第2巻:25分50秒】「ワークショップ・ドラマ～消費トラブル・性トラブル・社会的トラブル～」 ■キャッチセールスや職場のセクシュアル・ハラスメントなど、6つのトラブルを選び、ドラマを制作。実際 にワークショップで使っていただき、どこでどのように行動すればトラブルを防げたのか、話し合いながら学 習することができる。「ここでこうすれば被害を防げた」というサブストーリーも収録。</p> <p>【第3巻:67分10秒】「知っておきたいトラブルの知識～消費トラブル・性トラブル・社会的トラブル～」 ■知的障害や自閉症などの発達障害のある人たちがまきこまれやすいトラブルについて、最近の傾向 と、トラブルに巻き込まれてしまった場合の対処法について、専門家が解説。 (2007年度制作)</p>	170
10 08 01	NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ 統合失調症の人の回復力を高める 家族のコミュニケーション(DVD3枚)	<p>監修は、SSTリーダーの高森信子さん。 ※SST=Social Skills Training(社会生活技能訓練)</p> <p>【第1巻:86分】「回復力を高める接し方」 ■解説「統合失調症を知る」:精神科医の白石弘巳さんが、症状、治療、再発予防について、わか りやすく解説する。 ■家族教室:「わかりやすい」「元気になる」「明日からでも実行しなくなるヒントがたくさん」と評判 の、高森信子さんの家族教室を収録した。</p> <p>【第2巻:66分】「ドラマで学ぶ 回復力を高める会話」 ■家族と患者さんの会話を、8編、ドラマにした。家族がついてしまいがちな会話の例と、回復力を 高める上で望ましい会話の例を並べて見ることで、よりよいコミュニケーションのコツを学ぶことができる。 ドラマのテーマは、「話を聞き、共感する」「頼みごとをする」「意見を言う」など。</p> <p>【第3巻:46分】「家族SSTの進め方」 ■家族の悩み事について、どのように対応すればよいか、参加した家族全員が考え、ロールプレイで対 応法を練習する「家族SST」について、高森さんがリーダーとなって実施した例を紹介。 (2008年度制作)</p>	198
10 11 01	NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ 高次脳機能障害のリハビリテーショ ン(DVD3枚)	<p>【第1巻:31分】「高次脳機能障害とは何か」 ■厚生労働省による「高次脳機能障害」支援モデル事業の中心となった、このDVDの監修者・中島 八十一(国立障害者リハビリテーションセンター学院長)が、「高次脳機能障害」の行政的な定義、 原因、症状、診断基準、リハビリテーションなどについて解説する。</p> <p>【第2巻:80分】「高次脳機能障害を生きる」 ■「高次脳機能障害」受傷後5年間の経験を、本人、家族、関係者の証言でたどる。「高次脳機 能障害」を生きることがどういことか、どのようなリハビリテーションが有効かが見えてくる。</p> <p>【第3巻:54分】「就労支援の現場から」 ■交通事故から1年7ヶ月をかけて職場復帰をした人のリハビリテーションの経過を見ていく。本人も職 場も、ただ「職場に戻る」というだけではすまない、さまざまな苦労と工夫を重ねながら、願いをかなえて いく。 (2010年度制作)</p>	165

◆コード10◆ NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ

コード	題名	内容	時間(分)
10 12 01	NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ 認知症ケア(DVD3枚)	<p>【第1巻:74分】「手探りで切り開いた認知症ケア きのこエスポワール病院の30年」 ■1984年につくられた日本で初めての認知症専門病院、きのこエスポワール病院。まだ「認知症ケア」という言葉がなかった時代から、ケアの方法を求めて、挑戦と失敗、反省と改革を重ね、自ら映像で記録してきた。開院直後から30年間の稀有な映像記録によって明かされる「認知症ケア誕生」の物語。</p> <p>【第2巻:92分】「自分らしく生きぬために 小規模多機能拠点 大畑の家」 ■今、認知症ケアは何を目指すのか？ケアをつまらなくするものは何か？そして面白くするものは何か？これは長野県上田市真田町で、自分らしく生きぬこうとするお年寄りと家族、ケア職員たちが織りなす3つの物語。本人の声に耳を傾けることからケアの目標が見えてくる。</p> <p>【第3巻:105分】「早期診断そして人生は続く 太田正博さんの10年」 ■52歳でアルツハイマー型認知症と診断された太田正博さんは、自らの経験を語る講演活動に踏み出した。それから10年、道なき道を歩み続けてきた太田さんと家族、医師、ケア職員たちの模索の足跡をたどる。 (2011年度制作)</p>	271
10 13 01	NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ うつ病(DVD3枚)	<p>監修は、精神科医の大野裕さん。 【第1巻:71分】「うつ病って何だろう 精神科医 大野裕さんにきく」 ■うつ病を病む人のつらさとは？健康な人の気分の落ちこみとうつ病とはどう違うのか？「うつ病を治す」とはどういう事なのか？現在の医学で何が出来て、何がわからないのか？うつ病についての大切な事柄について、監修者・大野裕さんがわかりやすく解き明かす。</p> <p>【第2巻:104分】「うつを生きる ある会社員の17年」 ■19歳の時うつ病と診断され、うつとともに生きてきた、ある会社員の17年間を証言によってたどる。うつ病を病む事の苦しさは人にわかってもらいにいが、完全にうつがなくならなくても、その付き合いを見つけて道が開けていく。その葛藤の軌跡を、本人、家族、専門家等が語る。</p> <p>【第3巻:82分】「ふたたび職場へ 復職支援の現場から」 ■うつ病は一度治った後でも半数以上が再発する。治療を受けて仕事に戻り、再び休職に追い込まれる人が少なくない。では、再び安心して職場に戻るため、有効な方法はないか？川崎市の武田病院のリワークプログラムを、復帰を目指す一人の会社員の視点で紹介する。 (2012年度制作)</p>	257
10 14 01	NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ 発達障害の子どもたち ～“自立”をめざして～(DVD3枚)	<p>監修は鳥取大学教授・井上雅彦さん(第1巻・第3巻)と星槎大学准教授・阿部俊彦さん(第2巻) 【第1巻:86分】「就学前の支援」 ■発達障害がある子どもと親にどんな支援が必要なのか。公的な療育センターや家庭における個別療育、幼稚園における「ユニバーサルな支援」など、様々な現場の取り組みから考えていきます。</p> <p>【第2巻:93分】「小学校における支援」 ■発達障害の可能性があり、支援を必要としている子どもたちが通常学級のなかに6.5%いることが明らかになりました。小学校にはどんな支援の仕組みがあり、大切なことは何か、現場の実践や支援者の声から探ります。</p> <p>【第3巻:46分】「我が子と歩んだ20年」 ■まだ「発達障害」という言葉が知られるようになる以前から、我が子に寄り添い、育て上げてきた母親の歩みを通じて、発達障害のある子どもと向き合うヒントを探ります。 (2013年度制作)</p>	225

◆コード10◆ NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ

コード	題名	内容	時間(分)
10 15 01	NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ “依存症”からの回復(DVD3枚)	監修は国立精神・神経医療研究センターの松本俊彦さん。 【第1巻:60分】「“依存症”とは何か」 ■アルコールや薬物、ギャンブル、買い物、インターネットなど様々な“依存症”が問題となっています。“依存症”とはいったいどんな病気なのでしょうか。実際に依存症で苦しんだ人の経験をVTRで紹介しながら、正しい理解について解説します。 【第2巻:68分】「回復への道」 ■依存症からの「回復」のためには、どんな支援が必要なのでしょうか。治療に取り組む病院や、リハビリテーション施設の取り組みをVTRで紹介しながら、依存症からの回復について解説します。 【第3巻:64分】「家族を支える」 ■我が子の依存症と20年にわたって格闘してきた父親の歩みをもとに、家族が陥りがちな悪循環の構造を読み解き、回復への道筋を探ります。さらに近年広がりつつある家族支援のプログラムについても紹介しています。 (2014年度制作)	192
10 16 01	NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ 大人の自閉症スペクトラム(DVD3枚)	監修は信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部長の本田秀夫さん。 【第1巻:84分】「自閉症スペクトラムの理解と支援」 ■自閉症スペクトラムとは何か。どんな支援が必要とされているのか。その基本を解説するとともに、現場の相談事例やデイケアの実践を通じて、具体的な課題と対応を考えます。 【第2巻:70分】「就労への道」 ■自閉症スペクトラムの人にとって、就労は大きな課題です。就労を支援する福祉事業所の取材から、就職のために必要なことを解説するとともに、長期間働いているケースを通じて、安定した就労継続のためのポイントを浮き彫りにします。 【第3巻:66分】「様々な現場の課題」 ■映像化することが難しい現場の問題や悩みの声について、専門家や家族、支援者、当事者がそれぞれの立場から対応のヒントを話し合います。 (2015年度制作)	220
10 17 01	NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ ひきこもりからの回復(DVD3枚)	監修は筑波大学・教授の斎藤環さんとKHJ全国ひきこもり家族会連合会・共同代表の中垣内正和さん。 【第1巻:92分】「私がひきこもった理由 回復へのヒントを探る」 ■ひきこもりになる理由は十人十色。けれども、その声にじっくりと耳を傾けると回復の足がかりとなるヒントが見えてきます。当事者へのインタビュー、専門家の知見、国のガイドラインの解説を織り交ぜ、回復に効果のある支援方法について考えます。 【第2巻:73分】「我が子がひきこもったとき 家族の役割と支援」 ■ひきこもる息子を回復へと導いたある夫婦のケースを通して、家族の役割について考えます。孤立する家族の“心の抛りどころ”となる『家族会』の支援、家族が直面する様々な課題「子どもを医療につなぐ方法」などについて解説します。 【第3巻:72分】「あなたは一人じゃない 様々な支援の形・地域編」 ■地域でできる支援とは。国が進める『ひきこもり地域支援センター』、ひきこもりの“高齢化”と向き合う小さな町の挑戦、当事者と《対話》を行う交流会を通してユニークなプロジェクトを次々と生み出している新世代の試みを紹介します。 (2016年度制作)	237
10 17 02	NHK厚生文化事業団・NHK制作 1964年東京パラリンピック大会記録 映画 日本語版45分	1964年東京パラリンピックの記録映像。選手たちの到着、選手村の様子から、開会式、皇太子ご夫妻のお言葉、各種競技、閉会式など。当時NHKの協力で、NHK厚生文化事業団が制作し、全国に配布したフィルムをビデオ化したもの。	45

◆コード10◆ NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ

コード	題名	内容	時間(分)
10 17 03	NHK厚生文化事業団・NHK制作 1964年東京パラリンピック大会記録 映画 日本語版ダイジェスト11分45秒	1964年東京パラリンピックの記録映像のダイジェスト。視聴しやすいように、選手たちの到着、選手村の様子から、開会式、皇太子ご夫妻のお言葉、陸上、車いすバスケット、卓球、玉突き、フェンシング、水泳、洋弓、閉会式などを短く編集。	12
10 18 01	NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ 優しい認知症ケア ユマニチュード (DVD3枚)	監修は、ユマニチュード考案者のイヴ・ジネストさんと東京医療センター・総合内科医長の本田美和子さん。 【第1巻:112分】「ユマニチュードって何だろう 入門編」 ■ユマニチュードを初めて学ぶ人に向けて、分かりやすく解説する入門編。イヴさんが認知症の人の介護に悩む家族を訪問し、『特別講義』を行いました。自身の介護体験も交えて、ユマニチュードユマニチュードが生まれた背景や哲学、基本の技術について語り尽くします。 【第2巻:68分】「ユマニチュードをやってみよう 実技編」 ■家庭で「ユマニチュードを実践してみたい」という人のために、基本の技術をインストラクターによるお手本の映像と解説で伝える実技編です。認知症の介護でよくある困った状況はなぜ起きるのか、ユマニチュードユマニチュードを使った対応をミニドラマを交えて解説します。 【第3巻:52分】「私のユマニチュード 家族の実践編」 ■地域の介護力を上げるためにユマニチュードの普及に乗り出した福岡市の取り組みや、自宅での介護に取り入れている家族の実践を紹介しします。また、イヴさんが家庭を訪問し、介護の悩みに答えました。 (2017年度制作)	232
10 19 01	NHK厚生文化事業団 福祉ビデオ 新しい絆の作り方 特別養子縁組・ 里親入門 (DVD2枚)	監修は、早稲田大学・教授の上鹿渡和宏さんとNPO法人CAPNA・理事長の萬屋育子さん。 【第1巻:132分】「特別養子縁組で“家族”になる」 血のつながりを超えて子どもを迎えた夫婦には、どのような決意や想いがあったのでしょうか。複数の家族の映像を通して伝えます。また、『アタッチメント理論』とともに子どもが家庭で育つことの意味を解説します。家族が直面する様々な課題「真実告知」や「試し行動」について、その意味や対応の工夫を紹介しします。後半は、大人になった3人の養子当事者と女優サヘル・ローズさんが真実告知・思春期・ルーツをテーマに語り尽くします。 【第2巻:123分】「里親家庭で“絆”を育む」 赤ちゃんを預かる里親やベテラン里親、里親家庭で育ち大人になった当事者の映像やインタビューを通して、里親の役割や里親にできることについて考えます。また、里親が増えている町・静岡市や福岡市の実践など里親家庭を支える地域の仕組みについて紹介しします。後半は「里親と子どもの関係がよくなる」と注目されているイギリスの研修『フォスターリングチェンジ・プログラム』の理論と代表的な技術についてスキットを交えて楽しく解説しします。 (2018年度制作)	255

◆コード11◆ 点字をはじめよう

コード	題名	内容	時間(分)
11 11 01	点字をはじめよう (1)50音のきまり	わずか6つの点の組み合わせで、仮名や数字、アルファベットなどを表す点字。シンプルでありながらすべてを表現できる魔法の文字である。点字をこれから学びたいという人のために、魔法の文字を読み解くノウハウを4回シリーズで伝える。1回目は「あいうえお」から「ばびぶべぼ」まで“50音の仕組み”を学ぶ	28
11 11 02	点字をはじめよう (2)数字とアルファベット	6つの点で、全ての文字を表す「点字」。日本の点字が生まれてから、2010年で120年がたつ。「点字」の読み方・書き方を基礎から学ぶシリーズ。2回目は、「数字」「アルファベット」の“読み方の決まり”を学ぶ。	29
11 11 03	点字をはじめよう (3)文章の読み書き	目の見えない人のために生み出された「点字」は、6つの点で「ひらがな」から「アルファベット」「音符」まで、すべての文字を表し、世界中で使われている“魔法の文字”。シリーズの3回目は、「分ち書き」など、文章の読み書きのルールを学ぶ。	29
11 11 04	点字をはじめよう (4)点字とくらす	目の見えない人のために生み出された「点字」は、6つの点で、すべてを表す“魔法の文字”。シリーズ4回目は、暮らしのさまざまな場面で使われている点字を紹介する。	29

◆コード12◆ きらっといきる・カラフル！など

コード	題名	内容	時間(分)
12 03 05	きらっといきる 一人暮らしのお助けマン ～自立生活センター職員・玉木幸 則さん～ ※	脳性まひのある玉木さんは、部屋探しの手伝いから、生活の知恵を教えるなど、当事者ならではのサポートで周囲から厚い信頼を得ている。玉木さんの支えで一人暮らしをする障害者を紹介する。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
12 03 07	きらっといきる 今、この瞬間が幸せです！ ～記憶障害・鈴木悠紀子さん・元 さん夫妻～ ※	悠紀子さんは、脳疾患の後遺症により新しいことを記憶できない。現在は日常に起きたことは全て書きとめている。6年かけてようやく「今を大切に生きたい」という考え方になった。暮らしぶりや支援者との交流を紹介。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
12 04 01	きらっといきる いっしょに街に出よう！ ～介助犬グリフと和田隆正君～ ※	介助犬は、身体に障害がある人の動作の手助けをするために特別な訓練を受けた犬。名古屋市にお住まいの和田君は、胸から下にまひがあり車いすで生活しているが、介助犬のグリフが彼の日常生活をサポートしている。グリフと一緒に街に出る姿を追う。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
12 04 02	きらっといきる 「働きたい」を応援します ～障害者の仕事を支えるジョブコー チ～ ※	ジョブコーチは、障害者が働く会社と相談しながら、仕事の内容や手順を考え、障害者との接し方などをアドバイスしたり、障害のある人たちと職場との橋渡し役となる仕事。ジョブコーチのサポートを受けながら仕事をする2人に密着した。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
12 04 05	きらっといきる 施設よ、さようなら ～長野・西駒郷の取り組み～	利用者を地域へ帰す取り組みが行われている。長野県では、施設で暮らしている人の生活の場を、地域にあるグループホームに移そうとしている。ある施設ではおよそ400人の知的障害のある人たちが暮らしているが、5年間で250人を地域へ帰すことを目標にしている。その取り組みを取材する。	29
12 04 06	きらっといきる わが家は200人の家族です！ ～藤本隆二さん・弘子さん夫妻～	重度の脳性まひの夫妻。ヘルパーとボランティアを自分たちで調整して24時間の介助体制をつくっている。二人の生活を支援するために1か月にのべ200人を超えるヘルパーやボランティアが家を訪ねてくる。そんな“大家族”の様子を伺う。	29
12 04 07	きらっといきる 発信したい！わたしの熱い思い ～ALS患者・佐々木公一さん～ ※	全身の筋肉が萎縮していく進行性の難病・ALS(筋萎縮性側索硬化症)を抱えながらも、佐々木さんは障害者や高齢者の生活を支援するNPOを立ち上げたり、若いヘルパーとの勉強会を主催するなど様々な活動をしている。思いを発信し続ける活動的な姿を追う。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
12 05 01	きらっといきる ヘルパーが僕の天職！ ～介護職員として働く江口裕介さん ～	知的障害者でダウン症の江口さんは、老人デイサービスセンターで介護職員として働いている。上司や家族に支えられながら働く様子を通し、知的障害者が働くことについて考える。	29
12 05 03	きらっといきる 人工呼吸器は人生のパートナー ～佐藤喜美代さん～ ※	佐藤さんは、せき髄性進行性筋いしゆく症で、動かせるのは顔と手だけ。「人工呼吸器をつけると病院から一生出られない」という常識をくつがえし、15年前に病院を出た。自ら人生を切り開く佐藤さんの姿を描く。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29

◆コード12◆ きらっといきる・カラフル！など

コード	題名	内容	時間(分)
12 05 10	きらっといきる 注射もう怖くない ～小児糖尿病・徳永巴ちゃん～ ※	1歳の時、難病の小児糖尿病を発症し、毎日3回のインシュリン注射が欠かせない。いま、腕に注射針を刺す恐怖心を克服しようと毎日努力している。家族や友だちに支えられながら、難病と向き合う日々を追う。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
12 06 01	きらっといきる ずっと一緒に笑いたい ～若年性認知症・井上公恵さん、 正さん夫妻～	京都府の井上公恵さん(57)は、重度の認知症のためことばがほとんど話せない。夫の正さんは介護に専念しながら公恵さんとの日々を克明に日記に記している。進行する若年性認知症に向き合う夫婦の心の軌跡を追う。	29
12 06 09	きらっといきる ここから始まる第2の人生 ～頸椎損傷・井谷重人さん～ ※	井谷重人さん(28)は事故で頸椎を損傷し、首から下にまひがある。家にこもりがちだった井谷さんは、旅行をきっかけに前向きに。事故以来ともにくらしていた親元を離れ、一人暮らしを決心する。人生の転機となる引越しまでの日を追う。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
12 07 04	きらっといきる 私の小さなハンドル 視覚障害・天川頼子さん ※	7年前に緑内障で視力のほとんどを失った天川頼子さん(43)。夫で全盲の敬史さんと共に子育ての真ん中で。4歳の息子の敬太郎くんは、親の目が不自由であることを少しずつ理解し始め、両親の手をとって誘導したり、ものを教えてくれたりするようになった。夫婦の子育て奮闘記。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
12 07 05	きらっといきる 自分の家が生きる場所 ～がん患者・町田耕造さん～ ※	“がん”で余命一か月と診断された元大工の町田耕造さんは、残りの人生を自分らしく過ごすため、病院での闘病生活をやめ、在宅医療の道を選んだ。築50年になる家の修理をしながら、“頑固な大工であり続けること”を心の支えに闘病を続ける町田さんの姿を見つめた。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
12 07 07	きらっといきる 父の遺言は“邁進(まいしん)”せよ ～人工呼吸器とともに・平本歩さん ～ ※	筋肉の力が低下する難病で、人工呼吸器をつけて生きる平本歩さん。2006年、歩さんの自立を支えていた父が亡くなった。その父の遺言である「自立に向かって邁進せよ」という言葉を胸に、新たな自立に向け進む歩さんの日々を見つめる。 (※ このDVDはVHSテープをDVD化したものです)	29
12 07 08	きらっといきる スペシャル いっしょにいると何かが生まれる	障害のある子どもとない子どもが“ともに学ぶ”教室が少しずつ増えている。ある小学校では、ダウン症の生徒がリレーの選手に立候補。しかし、全く練習しない。クラスメートがとった行動は、代役を立てず、ともに走りきることだった。いっしょにいることで子どもの心に芽生える“何か”を見つめる。	54
12 08 01	きらっといきる 今度は私が社会に貢献したい ～下肢機能全廃 石垣まりやさん ～ ●字幕付	大学4年生の石垣まりやさん(21)は、右手にまひがあり、両足はまったく動かない。猛勉強を重ね、倍率10.8倍の難関を見事突破、札幌市の公務員として採用が決まった。春からの仕事にける思いを、石垣さんの学生生活最後の日々を通して見つめる。(2008年2月16日放送)	29
12 08 03	きらっといきる 波に乗り世界へ ～聴覚障害・竹本裕行さん～	聴覚障害で両耳がほとんど聞こえない竹本裕行さん(16)の夢は、聴覚障害者のサーフィン、デフサーフィンでプロのサーファーになること。健常者と同じ条件で行われるプロテスト突破を目指し特訓を始めた竹本さん。波の音が聞こえないインディをどう克服するのか？竹本さんの挑戦を追う。	29

◆コード12◆ きらっといきる・カラフル！など

コード	題名	内容	時間(分)
12 08 04	きらっといきる 車いすが私を変えた ～脊髄性筋萎縮症・西脇正和さん～	10年ほど前から脊髄性筋萎縮症で両足と左腕の自由がきかない西脇正和さん(49)は、車いすの小学校教諭だ。かつてはスバルタ教師だった西脇さん。車いすに乗るようになって目線が低くなり、物事を優しく見られるようになった。西脇先生と子どもたちの日々を見つめる。	29
12 08 05	きらっといきる 障害がわかって前向きになった ～アスペルガー症候群・近藤己順さん～	近藤己順さん(25)は人とのコミュニケーションが苦手なで悩んできた。しかし、アスペルガー症候群と診断されて以来、人間関係がなぜ上手くいかないのか、その理由がわかり前向きになれたという。専門家のサポートを受け、工夫を凝らしながら働く近藤さんの姿を見つめる。	29
12 08 06	きらっといきる 電車の“顔”を描きたい ～自閉症・本岡秀則さん～	兵庫県神戸市に住む自閉症の本岡秀則さん(30)は、電車の正面、いわば顔ばかり描き続けている。「できるだけ多くの電車を一枚の紙に描きたい」という強い思いが、ほかにあまり見られない独特の世界を誕生させた。独創性溢れる本岡さんの絵の世界を見つめる。	29
12 08 07	きらっといきる お母さんに夏休みを ～網膜色素変性症・田淵3姉妹～	京都府に住む田淵ふづきさん(15)、あづきさん(10)、ゆづきちゃん(5)は、網膜色素変性症。いつも大忙しのお母さんに夏休みをプレゼントしよう！と長女の提案で3姉妹の挑戦が始まった。初めての挑戦は、はたしてうまくいくのか？	29
12 08 08	きらっといきる エイサー夏物語 ～知的障害・知花未来世さん～	沖縄県読谷村に住む知花未来世さん(22)。知的障害でほとんど話すことはできないが、人なつこい笑顔で単語を連発し、なんとか自分の気持ちを伝えようとする。沖縄の夏、エイサーが一番彼女の笑顔を輝かせる。知的障害のある人が地域で生きていく意味をあらためて見つめる。	29
12 09 01	カラフル！ 千恵のまいにち日記 ●字幕付	ダウン症の千恵さん(小5)は2年前から日記をつけている。毎日必ず書く日記には大好きな兄や友達のこと、うれしいことや悔しいこと、千恵さんの気持ちがあふれている。千恵さんは日々何を感じ、どのように成長してきたのか？周りの人たちのあたたかな日常をドキュメントする。(2009年6月18日放送)	15
12 09 02	きらっといきる 感動するな 笑ってくれ！ ～お笑いコンビ・脳性まひブラザーズ～	新潟を拠点に活動するお笑いコンビ「脳性まひブラザーズ」の木原大吾さん(35)と周佐則雄さん(34)。これまで自分たちの障害をネタにしたコントを売りにしてきたが、今、お笑い芸人としての根本的な問題に直面している。「笑わせたい」のに、観客から「感動」されてしまうのだ。障害を売りにせず、“芸”で笑わせたいと奮闘する二人の本音に迫る。	29
12 09 03	きらっといきる “すれ違い”からはじまったけど・・・ ～聴覚障害・私たちのシューカツ～ ●字幕付	主人公は大学4年生の大畑明子さん。生まれつき、耳がほとんど聞こえない。「卒業後はスポーツを教える仕事につきたい」と就職活動をはじめ、子ども向けのスポーツ教室で実習にのぞんだ。初めて経験した、聞こえる人ばかりの中で働くということ。その中でつかんだものとは？スタジオに大畑さんを含め就職活動中の聴覚障害のある大学生3人を招き、社会へ出ることの不安や期待、周りの人たちに望むことなど、本音を語ってもらう。(2009年4月17日放送)	29
12 09 04	きらっといきる わたし流で一歩ずつ ～統合失調症・市川愛弓さん～	市川愛弓さん(23)は、3年前に統合失調症と診断された。不安定になりやすい自分の心と向き合うために、さまざまな工夫をしている。その一つが、症状の悪かったころの自分をコメディータッチの漫画に描くこと。自分の心を客観的に見つめられるようになり、そして何よりも今までうまく表現できなかった自分の気持ちを周囲の人たちに伝えることができるようになったという。市川さんの日々を見つめる。	29

◆コード12◆ きらっといきる・カラフル！など

コード	題名	内容	時間(分)
12 09 05	きらっといきる わたしミスしてしまうんです ～発達障害・真山千秋さんと当事者の会～	大阪府に住む真山千秋さん(35)。発達障害の一つ、ADHDと診断されたが、職場にも親しい友人にもずっと言えずにきた。不用意に話して冷たい目でみられるのが嫌だったからだ。しかし、同じ発達障害のある仲間たちと出会い、話すことで、自分の障害についてもっと知りたい、そして障害を隠さずオープンに生きていきたいという思いが芽生え始めた。自分を見つめ、障害を語り始めた女性の物語。	29
12 09 06	カラフル！ 学校にもどる日	子どもの言葉のみで構成する、新しいドキュメンタリー番組。大阪の病院に8か月入院している健太郎君(9)。退院が決まったが、楽しみにしていたはずなのに、なぜか複雑な気分…。同じ病室でともに過ごし、一緒に病氣と闘った仲間との別れ、もとの学校に戻る喜びと不安。闘病から復学までの健太郎君の心の中を彼自身の言葉で描く。	15
12 09 07	きらっといきる おじいちゃん 僕らがついてるで ～統合失調症・有村宗広さん～	神戸市に住む有村宗広さん(38)は統合失調症。20歳のころ、対人関係のつまずきをきっかけに幻聴が聞こえるようになり、家に引きこもる生活が続いた。治療を続けながら、精神障害や知的障害のある人たちが働く事業所に通っている。お年寄りとの交流を通じて、少しずつ自信を取り戻しつつあるという有村さんの日々を見つめる。	29
12 09 08	きらっといきる 僕はせんせい1年生！ ～全盲・大前雅司さん～	和歌山県の公立中学校につとめる全盲の教師・大前雅司さん(24)。2009年4月、長年の夢だった教師になり、パートナーの先生と組んで社会科の公民を教えている。大前さんにとっていちばんの悩みは、生徒の表情が見えないこと。模索を続ける新人教師・大前さんの姿を見つめる。	29
12 09 09	きらっといきる 僕、空気読めないんです・・・ ～自閉症・中村徹さん～	神戸市の中村徹さん(26)は自閉症。現在、音楽大学で作曲を専攻している。中村さんは相手の気持ちを察することが苦手。“うそ”と“冗談”の区別もつきにくい。大学の友人といるときに、突然話の流れに関係のない発言をしてしまい、「場の空気を読めない」と言われたり、“勘違い”からけんかになってしまったり。秋の発表会に向けて、自分が作った曲を演奏してくれる人を探すことになった中村さん。はたしてうまくいくのか。	29
12 09 10	きらっといきる ぶつかったとき、そこがゴール ～頸椎損傷・横山直生さん～	東京都に住む横山直生(28)は、事故でけいっついを損傷し、首から下が動かない。しかし、もともとアウトドアが大好きだった横山さんは、今も電動車いすでアウトドアを楽しんでいる。でこぼこの道をあえて選び、五感を使って自然とたわむれる。ときにはバリアだらけの山にも挑戦。バリアに行く手を阻まれたとき、一体どうするのか。「バリアとわかりあっていく」という、横山さん流のアウトドアの楽しみ方をじっくりと聞く。	29
12 10 01	きらっといきる “いいちゃ”で支え 支えられ ～統合失調症・清水崇宏さん～	富山県に住む清水崇宏さん(35)は、統合失調症。発病後、妻の利恵さんと仕事や住まいを転々としてきたが、2006年からお年寄りや障害者、子どもたちが集う富山型デイサービス「いい茶家(いいちゃ)」でヘルパーとして働いている。「いいちゃ」は富山弁で「いいよ」の意味。体調が悪いときには仕事を離れて休むときもあるが、お年寄りは「そのままいいちゃ」と声をかける。地域で高齢者や障害者の暮らしを支え、また支えられながら生きる清水さんの姿を見つめる。	29
12 10 02	きらっといきる こうすれば大丈夫！ ～ADHD・あーささん～	愛媛県に住むあーささん(29)は発達障害の一つ、ADHD。注意力・集中力が続かず、ミスやもの忘れをよくしてしまう。試行錯誤の末、自分なりの解決法を編み出し、マンガに描いている。がんばるのではなく、知恵と工夫で上手にADHDと付き合っていくことが大切だと言う。最近、教育委員会からの依頼で学校現場をまわり、発達障害について教師や保護者の相談にのる活動も始めた。あーさんの取り組みを紹介する。	29
12 10 03	きらっといきる “劣つとる”って思わんでいいよ ～過食症・安本ちひろさん～	石川県に住む安本ちひろさん(31)さんは、高校生のときから過食症に苦しんできた。無理なダイエットがきっかけで、その反動から大量に食べずにはいられなくなったのだ。自分の気持ちを見つめる中で気づいたのは「人より劣っている」という思いにとらわれてきたこと。つらい気持ちや自分を励ます言葉をノートに書き続けた。そして今、回復に向けホームページを通じて、仲間とともに新たな活動を始めた彼女の姿を見つめる。	29

◆コード12◆ きらっといきる・カラフル！など

コード	題名	内容	時間(分)
12 10 04	きらっといきる 洗ってるねえ！ ～自閉症・西畠義浩さん～	愛知県に住む西畠義浩さんは自閉症。子供のころから水に強いこだわりがあり、それを活かして、知的障害のある人たちが働くラーメン店で食器洗いの仕事をしている。言葉で気持ちを伝えたり、予定外のことに対応したりするのは苦手。でも、仕事の見通しをたてやすいよう、スタッフがサポートすることで、洗い場以外の仕事もこなせるようになった。ときには、屋台での出張販売にも出かける。西畠さんの生き生きと働く姿を見つめる。	29
12 10 05	道徳ドキュメント 自分の仕事を見つけるまで	東京都福生市のある介護・自立支援施設「ウイステリア福生」で働くヘルパー、進藤さんには知的障害がある。養護学校卒業後、鉄工所に就職したが、仕事のスピードについていけず、7年後に退職。進藤さんは人生の目標を失い、引きこもりがちになってしまった。しかし、その後、自分らしい生き方、自分を生かせる仕事とは何だろう？ 障害を持ちながらも、自立をめざし奮闘する若者の姿を追うことで、あきらめないことの大切さを伝える。	15
12 10 06	道徳ドキュメント なにを優先するの？ 優先席	電車やバスの「優先席」がテーマ。席の譲り合いは一人一人のマナーに頼るべきか？ それとも、厳しいルールを設定するべきか？ 日本で大規模に優先席が導入されたのは1973年。以来、優先席の是非をめぐる議論が絶えない。優先席が導入された経緯や、横浜市営地下鉄が行う「全席優先席」の試みをもとに、車内で席の譲り合いが自然に行われるためにはどうしたらよいかを考える。	15
12 10 07	カラフル！ 今日も もちろん がんばっています！	自閉症がある真優くんは、感じ方や考え方が、ほかの子どもと少し違う。国語の授業、物語の主人公の気持ちを想像することが苦手だが、漢字を覚えるのは得意。ある日漢字のテストが行われることになり、真優くんはひとつひとつ漢字を練習してテストに備える。何事にも一生懸命取り組む真優くんのひたむきな姿を描く。	15
12 10 08	バリバラVol. 4 ～バリアフリー・バラエティー～	バラエティーをとおしてバリアフリーを考える「バリバラ」第4弾。新企画「バリバラ新百景」では「階段付きスロープ」「渡れない橋」など、街中のちょっと不思議なバリアフリーを検証する。また、ヘルパーを志す若者たちが、重い言葉障害のある人の言葉を聞き取るクイズに挑戦する。	29
12 10 09	バリバラVol. 5 ～バリアフリー・バラエティー～	バラエティーをとおしてバリアフリーを考える「バリバラ」第5弾。漫才、コント、一発芸など、おもしろい芸ができるお笑いパフォーマーを発掘する。第1回は、脳性マヒの男性とヘルパーという異色の漫才コンビ「ゆうじーず」、統合失調症の経験語る「シツパイターマン」が登場。そしておなじみ桂福点さんも、テレビの解説放送をネタにした新作「ノリコの部屋」を披露する。	29
12 10 10	きらっといきる バレーボールと出会ったから ～気分障害・ドンさん～	徳島県に住むドンさん(43)は、4年前「気分障害」と診断された。人とかわかるのが怖くなり、家に引きこもっていたが、2年半前、精神保健福祉士のサポートで一人暮らしを始めた。精神障害者のソフトバレーボール練習に参加するようになり、悩みを打ち明けられる仲間もできた。周囲に支えられ、心の病とのつきあい方を模索し始めた、ドンさんの日々を見つめる。	29
12 10 11	きらっといきる 「本当の会話」ってなに？ ～聴覚障害・今村彩子さん～	名古屋市の今村彩子さんは、ろうの映像作家。ろう者のありのままの姿を伝えたいと、自らカメラ片手に、手話と口話で作品を作り続けている。言葉の壁を越えるコミュニケーションの秘訣を探りたいと、ろうのサーフショップの店長を題材にした新たな作品づくりを始めた。試行錯誤する今村さんの日々を見つめる。	29
12 11 01	カラフル！ お兄ちゃんといっしょに	京都に住む七海さん(小5)の兄は、自閉症で時々コミュニケーションがうまくとれない。でも七海さんは、兄が大好き。頼りにはならないが、一緒にいると元気になれるという。それに、苦手なことを失敗しても、決してあきらめない兄を尊敬している。この冬、七海さんは、兄と一緒にロードレースに参加することにした。2人は別々に、同じゴールを目指して走る。兄と妹の心の交流を描く。	15

◆コード12◆ きらっといきる・カラフル！など

コード	題名	内容	時間(分)
12 11 02	道徳ドキュメント “ちがう”ことを“ふつう”に	顔に大きなアザがある為に、幼稚園の頃からいじめられていた中谷全宏さん。小学校・中学校と孤立感の深まり、一時は自殺さえ考えたという。ある日、同じようにアザがある人が書いた本と出会い徐々に人生が開き始める。偏見によるいじめ・差別の悲惨さを描くとともに、それに悩みながらも、前向きに生きる人たちの人生を描く。	15
12 11 03	道徳ドキュメント 家族ではないけれど	“住民のほぼ半数が高齢者”といわれる横浜市寿町。孤独に死んでゆく人もいる。この実態に立ちあがった一人の医師と、それに賛同する若者たちの活動を追う。診療所を営む中山修医師は、独り暮らしのお年寄りのための「みまわりボランティア」の活動を始めた。訪問するのは、さまざまな理由で家族と暮らせない人たちだ。年齢も、生きてきた環境も、まったく異なる人々の交流の様子を通して、「つながる」ことの大切さをかみしめる。	15
12 11 04	カラフル！ 毎日 平和ですごしたい	千葉県に暮らす小学3年生の亮輔くんは“高機能自閉症”という障害により、感情をコントロールするのが難しい。ちょっとしたことで突然暴れだしたり、暴言や文句を言っただけで、家族や友達を困らせてしまう。「ぼくだって、やりたくて、やっているわけじゃないんだよ。でもどうしてもやっちゃうの」と亮輔くん。両親の根気強いサポートのもと、自分の障害に向き合い、懸命に生きる亮輔くんの日々を追った。	15
12 11 05	きらっといきる イギリス人障害者 マット・フレイザーが見た被災地	イギリス・BBCの障害者番組のキャスター、マット・フレイザーさん(49)はサリドマイドによる身体障害がある。2011年9月に来日したマット・フレイザーさんは、東日本大震災被災地の障害者の声を聞きたいと、宮城・福島の仮設住宅者や支援団体などを訪ね歩いた。各地で目の当たりにしたのは、震災直後から過酷な生活を強いられてきた障害者たちの現状だった。マットさんの旅を通して、障害者が災害にどう立ち向かうべきかを考える。	29
12 11 06	きらっといきる 最高のゴールを目指して ～上肢切断・木村祐樹さん～	山口県の木村祐樹さん(27)は5年前、仕事中の事故で左腕を失った。皮膚や神経の移植手術で足にまひが残り、リハビリのため障害者陸上のチームに入った。2010年、障害者陸上の全国大会の1500m競技で金メダルを獲得。陸上を通して、出来ることと出来ないことを見極めること、諦めずに努力すれば成果が得られることを知った。仲間と記録の更新を目指す木村さんの日々を見つめる。	29
12 12 01	きらっといきる コロッケで広がる ぼくの世界 ～自閉症・木下堅太さん～	大阪市に住む木下堅太さん(26)は自閉症。就労支援施設で、手作りコロッケの製造と販売をしている。こだわりが強く、新しいことが苦手な木下さん。以前は「できない、無理」が口癖だったが、この仕事を始めてから、新しいことにも積極的に取り組むようになった。地元の商店街で親しくなったお得意さんとも、木下さんなりの方法で会話を楽しむ。コロッケを通して新しい世界が広がり始めた木下さんの日々を見つめる。	29
12 12 02	カラフル！ 見えなくても おもしろい	新潟市の盲学校に通う加藤健太郎くん(12)は、「たら福亭美豚(ヴィトン)」という芸名を持っている。6歳の頃から落語を覚え、今では人前で披露できるほどの腕前だ。芸名はぼちゃりしたルックスから盲学校の先生がつけてくれた。そんな彼が老人ホームで独演会をやることになった。難しいのは人の表情。一度も見たことがないから、人は困った時どんな顔をするのか、よく分らない。独演会の日には近づき…。	15
12 12 03	バリバラ 大人の発達障害(1)	シリーズ「大人の発達障害」1回目は家庭での悩み。あるアスペルガー症候群の夫は、2つのことが同時にできないため、食事中に会話もなく、妻は言いたい事が伝わらず不満が募っている。またある家庭では、妻が発達障害のため家の中が片付かず大混乱に。しかし長年の葛藤の末、結婚20年目にして家族で居心地良く暮らす方法を見出した。夫婦で発達障害とどう向き合うか考える。	29
12 12 04	バリバラ 大人の発達障害(2)	シリーズ「大人の発達障害」2回目は、仕事での悩み。職場でミスを連発、人間関係もうまく作れず転職を繰り返してきたアスペルガー症候群の女性。ついに意を決して障害を告白し、自分の障害を理解してもらったため、「私の取扱説明書」を提出した。発達障害の当事者がいかに仕事をしていくのか、それぞれの悩みと工夫を紹介する。	29

◆コード12◆ きらっといきる・カラフル！ など

コード	題名	内容	時間(分)
12 13 01	バリバラ 東日本大震災から2年 ～被災地の障害者はいま～	東日本大震災から2年。ある障害者は仮設住宅で孤立し、人とのつながりを失った。一方、福島県の障害者は原発事故でヘルパーが県外に避難、十分な支援を受けられなくなった。バリバラレギュラーの山本シュウと玉木幸則が被災地を訪ね、未だ困難を極める障害者の暮らしについてレポートする。また、岩手県宮古市にある障害者支援施設に特設スタジオを設け、障害者が抱える問題について地元の人たちと語り合う。	29
12 13 02	バリバラ 盲ろうワールド	“見えない、聞こえない”盲ろう。コミュニケーションのバリアに囲まれて引きこもる人が多いが、中には、バリアを取り払い、たくましく生きる人たちがいる。主婦のプライドにかけて毎日料理を作る70代の女性。妻の指文字でプロ野球のTV観戦を楽しむ40代の男性。ハンディをもるともしいベテラン当事者の生活に密着し、あなたの知らない“盲ろう”の世界を紹介する。	29
12 13 03	バリバラ イクメンになれる？ 発達障害児の子育て	突然、大声を出したり、泣いたり。自分の感情をうまく伝えられない発達障害の子どもの子育ては大変だ。父親が子どもの障害を認めない、問題行動を母親のせいにする…など、母親から父親への不満も多く、夫婦の間には溝が深くなる。どうすればスムーズな育児ができるのか？今回は発達障害の子の父親をクローズアップ。仕事に追われて時間のない父親に可能な子育ての方法を考える。	29
12 13 04	バリバラ 高次脳機能障害	今回のテーマは高次脳機能障害。事故や脳出血などで脳が損傷し、さまざまな症状が出る障害で、忘れっぽい、怒りっぽい、やる気が出ないなど、健常者にも起こる症状が多い。そのため周囲からも理解を得られず、当事者は大きなジレンマを抱えている。朝仕度に時間がかかり遅刻を繰り返したり、友達がほしいのに作れなかったり。どこまでが本人の責任で、どこからが社会が配慮すべきなのかを考えていく。	29
12 13 05	バリバラ “てんかん”を知っていますか	100人に1人が発症するとされる“てんかん”。脳波の異常により、さまざまな症状が現れる病気だ。ありふれた病気の一つだが、社会からの偏見は根深く、イジメのきっかけや、就労で苦労するケースが少なくない。病気を隠して独りで苦しんできた人など、悩みを抱えながら生きてきた当事者たちがスタジオに登場し、本音トークを繰り広げる。知っているようで知らない“てんかん”について考える。	29
12 14 01	バリバラ コドモ×バリバラ 夏休みスペシャル 学校デザインプロジェクト 前編	障害のある子どもたちが学校を楽しくするデザインに挑戦するシリーズの前編。「黒板を写すのが苦手」「階段の段差が苦手」「落ち着ける狭い場所が欲しい」「好きな服で通いたい」など、障害によって学校で困っていることもさまざま。前編では学校を探検しながら普段見落としがちな問題点を浮かび上がらせる。COWCOWと子どもたちが学校の「あたりまえ」に立ち向かう！	29
12 14 02	バリバラ コドモ×バリバラ 夏休みスペシャル 学校デザインプロジェクト 後編	障害のある子どもたちが学校を楽しくするデザインに挑戦するシリーズの後編。前編で浮き彫りになった問題点について、学校を誰にでもバリアのない空間にするためにはどうしたらいいかアイデアを出し合っていく。飛び出したのは「目から鱗」のアイデアや奇想天外で自由な発送の数々。子どもたちのSOSから、果たしてどんなデザインが生まれるのか？	29
12 14 03	道徳ドキュメント あきらめたことをあきらめない	北海道に住む辰己博実さんは、6年前にスノーボードで大事故に遭い、足が不自由になった。もう二度と雪の上を滑ることはない、とあきらめていたが、1枚の写真がその気持ちを変えることになる。家族や仲間を支えてもらいながら、自分で「チェアスノーボード」を作り、再びゲレンデを滑るようになったのだ。今では障害者にこそアウトドアを楽しんでほしいと、活躍の幅を広げる辰己さんの日々を見つめる。	15
12 18 01	バリバラ バリアフリーへの道	日常の思わぬところに存在するバリアを、ちょっとした配慮や工夫で解決していく「バリアフリーへの道」。1つめのテーマは、多くの視覚障害者が感じている外出時の恐怖。全盲の落語家・桂福点率いる「ミエンジャー」が商店街をパトロールし、改善に向けたアイデアを生み出す。後半では、身体の不自由な人の生活を支える「自助具」の世界を紹介。この道30年のプロフェッショナル集団が、新たな自助具の開発に挑戦する。(2017年11月12日放送)	29

◆コード12◆ きらっといきる・カラフル！など

コード	題名	内容	時間(分)
12 18 02	バリバラ 震災からいのちを守る	東日本大震災から7年。災害時、障害者など支援が必要な人たちへの対策は、どこまで進んでいるのか？南海トラフの巨大地震で大きな被害が予想される高知市では、支援が必要な人の個別計画の策定率はまだ1%未満。待ってられないと、自力で避難計画を作り始めた人もいる。大阪では、「外出先で被災したらどうしよう？」という当事者の声をもとに、ユニークなプロジェクトが始まった。いざというとき、どう命を守るか、考える。(2018年3月4日放送)	29
12 18 03	バリバラ 密着！盲ろうライフ	「目が見えず、耳も聞こえない」視覚と聴覚に重複障害のある人は「盲ろう者」と呼ばれ、全国に少なくとも1万4千人いるとされる。自力では情報入手や外出が困難で、多くは自宅や障害者施設で引きこもりがちな生活を送っている。そんな盲ろう者が地域で暮らす拠点として、2017年3月に日本初の盲ろう者グループホームが大阪に開設された。自立生活への一歩を踏み出した「見えない聞こえない」住人たちの暮らしに密着する。(2018年9月2日放送)	29
12 19 01	バリバラ ●“きょうだい”の悩み ●“きょうだい”の悩み 第2弾	【※2番組をDVD1枚に収録。】 今回は、障害のある兄弟姉妹を持つ人たち、“きょうだい”の悩みがテーマ。お便りを募集したところ150通を超えるメールが寄せられた。そこには、兄弟姉妹への複雑な感情や、将来への不安など、多くの人が悩みを抱えながら誰にも相談できずにいる姿が浮き彫りに。番組では、“きょうだい”当事者で、これまで障害のある姉へのわだかまりを拭えずにいたという若手ディレクターが、姉と向き合う姿をドキュメントする。(2018年12月16日放送) “きょうだい”の悩み、第2弾は、番組ディレクターが、知的障害のある姉を理解したいと大阪二人旅。障害のある兄弟姉妹を介助している人や、互いに自立して暮らしている人など、さまざまな立場から、障害のある兄弟姉妹との距離や自立の可能性など、「きょうだいの悩み」解消をテーマに大激論。「きょうだい」たちの悩みの根幹にある「情報がない」「世間の目」「社会資源につながらない」などの問題を浮き彫りにする。(2019年6月13日放送)	58